

問い合わせ電話番号と関連記事

■ 後援会については 2～14頁	後援会事務局	03-3264-9350・4120
■ 学費については		
・学費の納付 22頁	財務課	03-3264-9270
・奨学金 23～28頁		
市ヶ谷キャンパス	学生センター-厚生課	03-3264-9486
多摩キャンパス	学生センター-多摩学生生活課	042-783-2151
小金井キャンパス	学生センター-小金井学生生活課	042-387-6011
■ 学生生活については 19～34頁		
・診療所 29頁		
市ヶ谷キャンパス		03-3264-9503
多摩キャンパス		042-783-2161
小金井キャンパス		042-387-6051
・学生相談室(学生の悩み事相談) 30頁		
市ヶ谷キャンパス		03-3264-9493
多摩キャンパス		042-783-2158
小金井キャンパス		042-387-6050
・障がい学生支援室 31頁		
市ヶ谷キャンパス		03-3264-6718
多摩キャンパス		042-783-4038
小金井キャンパス		042-387-4556
・ハラスメント相談室 31頁		
市ヶ谷キャンパス		03-3264-4409
・父母・保証人・住所の変更 22頁		
市ヶ谷キャンパス	各学部	下記*印電話番号参照
多摩キャンパス	各学部	下記*印電話番号参照
小金井キャンパス	学生センター-小金井学生生活課	042-387-6010
■ 学業については 16～18頁		
・成績、進級・卒業要件、資格		
市ヶ谷キャンパス	法学部	*03-3264-9323
	文学部	*03-3264-9324
	経営学部	*03-3264-9332
	国際文化学部	*03-3264-9345
	人間環境学部	*03-3264-9327
	キャリアデザイン学部	*03-3264-9341
	デザイン工学部	*03-5228-1347
	グローバル教養学部	*03-3264-5805
多摩キャンパス	経済学部	*042-783-2503
	社会学部	*042-783-2379
	現代福祉学部	*042-783-2806
	スポーツ健康学部	*042-783-3003
小金井キャンパス	理工学部	*042-387-6033
	情報科学部	*042-387-6023
	生命科学部	*042-387-6026
・講座 40・41頁	公務人材育成センター	03-3264-6285
	高度会計人育成センター	03-3264-9330
・海外留学・派遣留学制度 66～68頁	グローバル教育センター-国際交流課	03-3264-9662
・SAプログラム 67頁		
市ヶ谷の学部のSA	グローバル教育センター-国際交流課SA担当	03-3264-9408
多摩・小金井学部のSA	各学部(*印)	
・大学院 77頁		
■ 就職については 36～44頁		
市ヶ谷キャンパス	キャリアセンター-市ヶ谷事務課	03-3264-9604
多摩キャンパス	キャリアセンター-多摩事務課	042-783-2173
小金井キャンパス	キャリアセンター-小金井事務課	042-387-6045

保存用



子どもの母校は、我が母校 会員のための 大学ガイドブック

2024

後援会は学部学生すべての父母・保証人が会員です

 法政大学後援会



「会員のための大学ガイドブック」発行にあたって



法政大学後援会会長
地頭江 正美

ご子息・ご息女の法政大学へのご入学を心よりお慶び申し上げます。

保護者の皆さまにおかれましては、法政大学後援会の会員となられましたことを嬉しく思います。

法政大学後援会は、本学にご子息・ご息女が在籍される父母・保証人の皆様により構成されています。その活動は、首都圏及び全国33支部を通じて組織されており28,000名を超える会員数となっております。

発足78年目を迎えます本会は1947年に保護者自らが立ち上げ、物心両面で学生と大学を支援し、戦後の教育環境整備を行うと共に会員相互の親睦を図ってまいりました他大学には類をみ

ない組織です。設立時の理念を大切に受け継がれて、大学が行う教育事業や課外活動への助成、学生が行う活動への物心両面での支援を活動の第一としております。コロナ禍でのワクチン接種支援や地震等自然災害での学生への経済的支援も後援会の活動です。

「会員のための大学ガイドブック」は、大学と連携して本会会員に対しての情報冊子として発行いたしました。大学と後援会の歴史と概要の情報ならびにご子息・ご息女の学びと学生生活についてまとめられています。本冊子をご覧いただきご子息・ご息女の学生生活へのご理解を深めていただけますと幸いです。また、隔月発刊の広報誌「HOSEI」や本会公式HPにおいても随時情報を発信してまいりますのでご覧ください。

本年度の活動は、コロナ禍での制限を受けることなく行われる予定です。

後援会活動精神の「子供の母校は、我が母校」を念頭に置き活動してまいります。

会員のみなさまには本会へのご理解をいただきますと共に後援会活動へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

法政大学後援会事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4F
TEL : 03-3264-9350・4120 FAX : 03-3264-9367 E-mail : koenkai@hosei.ac.jp

【後援会ウェブサイト】
<https://www.hosei-koenkai.org/>



後援会への感謝とお願い



法政大学総長
廣瀬 克哉

法政大学後援会の歴史は1947年に遡ります。現在では多くの大学に在る学生の父母組織の中でも、最も歴史あるもののひとつです。その頃の法政大学は、戦災の甚大な影響によって大変厳しい状況の中がありました。当時の学生の父母のみなさんが、子どもの学びの環境を少しでも良くしようと立ち上がってくださったと伝えられております。そして、学園の復興のために大きなご貢献をいただきました。

その後、1970年代からは留学プログラムの充実支援をはじめとする国際交流にご支援をいただき、近年ではコロナ禍に対応したオンライン教育設備の緊急整備にご協力いただくなど、その時期ごとの課題に対応したご支援をいただけてきました。あらためて感謝申し上げます。

後援会のもう一つの大事な役割は、大学と父母のみなさんとのコミュニケーションのチャンネルです。大学自体でも様々な窓口を用意しておりますが、「大学に直接は言いにくいことも、同じ父母同士の関係の中なら発言しやすい」という声も耳にします。後援会というチャンネルがもっている特別な役割を示すものと受け止めています。後援会会員のみなさまには、それを引き続き活用していただければ幸いです。

今後も法政大学における教育と学生生活の充実のためのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

CONTENTS

法政大学後援会について	2
事業	3
2023年度収支予算	6
法政大学後援会組織図/法政大学後援会の運営諸機関	8
法政大学後援会寄贈	9
法政大学後援会会則	10
法政大学後援会個人情報保護ガイドライン	11
法政大学後援会の歴史	12

●学びと学生生活	15
授業の種類/シラバス/履修登録	16
試験と成績(成績評価/GPA)/単位/進級/卒業要件	17
法政大学の学習環境/学習支援	18
法政大学ピアニット/大学で行われる行事	19
クラブ・サークル活動	20
学費と休学・退学について/各種の届・願の提出先	22
奨学金制度	23
診療所/健康診断	29
学生相談室・障がい学生支援室・ハラスメント相談室	30
法政大学生教育研究災害傷害保険(略称:学研災)について	32
トラブルに巻き込まれないために	33
防災面での危機管理について	34

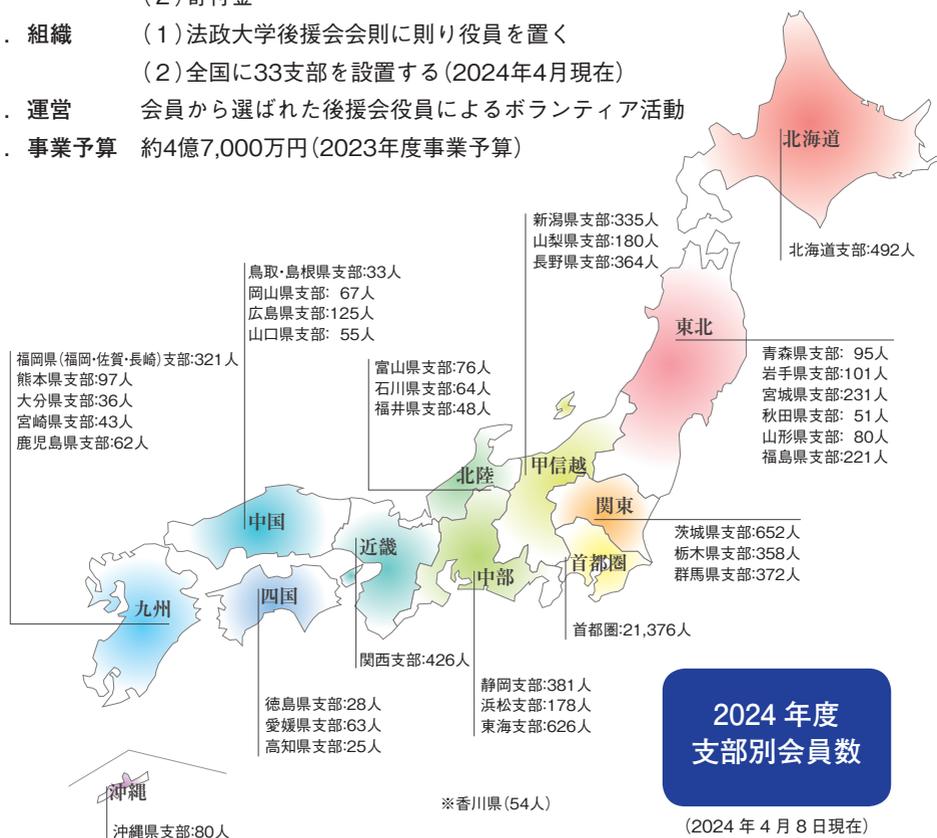
●就職	35
就職	36
理系の就職活動	38
教職・資格	39
講座	40
公務員	42
学部別の主な就職先	43
就職に関するQ & A	44

●大学情報	45
法政大学の歴史・草創期の功労者	46
著名出身者	48
校旗・校章	49
校歌・応援歌・学生歌・法政大学行進曲	50
市ヶ谷キャンパスMap	52
多摩キャンパスMap	56
小金井キャンパスMap	60
オレンジネットワーク事業	64
国際教育交流	66
海外交流大学	68
一般社団法人法政大学校友会(卒業生組織)	69
学校法人法政大学データ一覧	70
大学院	77
図書館	78
2024年度年間スケジュール	79
法政オリジナルグッズ	80
法政スポーツコミュニティ「HSC」/法政大学後援会クラブについて	81
問い合わせ電話番号と関連記事	裏表紙

「子どもの母校は、我が母校」

～学生の学問と学校生活に対する満足度向上のために～

1. 会員 法政大学に在籍する学部学生すべての父母・保証人 全国約28,000人
2. 目的 大学の教育方針に則り、大学と学生、家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的とする。
3. 発足 1947年
4. 主な事業 (1) 学生と大学への助成
(2) 広報関係への助成
(3) 支部総会・父母懇談会・首都圏父母懇談会の開催
(4) 後援会奨学金の策定と運用
5. 経費 (1) 会費(毎年度授業料納入時に大学が代理徴収)および入会金(新会員のみ)
(2) 寄付金
6. 組織 (1) 法政大学後援会会則に則り役員を置く
(2) 全国に33支部を設置する(2024年4月現在)
7. 運営 会員から選ばれた後援会役員によるボランティア活動
8. 事業予算 約4億7,000万円(2023年度事業予算)



1. 学生と大学への助成

課外活動・学生行事・各種講座、スーパーグローバル大学に対する支援、奨学・奨励金などの学生支援を行うとともに、図書・備品等の大学への助成・寄贈を行います。



備品の寄贈・図書購入の補助・各種講座の助成等、学生と大学への支援は多岐に渡ります

2. 会員向け企画の充実

父母懇談会は保護者が教育環境や学生生活を知る機会として首都圏と各支部で、新入生父母の集いは新入生保護者の不安解消を目的として支部の任意性の下で、それぞれ行なわれております。

今後も大学と連携協力することにより、一層の充実を図ります。また、首都圏及び全国の支部では、校友会との交流も積極的に行います。



首都圏父母懇談会

3. 広報活動の推進

広報誌「HOSEI」の制作費等の補助を行い、「後援会だより」のページを充実させていきます。また、「会員のための大学ガイドブック」を作成するとともに、後援会ウェブサイトを増強させ、各活動報告やスポーツ応援などの情報発信を行います。



4. 自然災害等被災(含むコロナ困窮) 学生への支援

自然災害等に被災(含むコロナ困窮)した学生への就学特別支援を実施します。



支援学生からは感謝の言葉が寄せられています

■後援会の主な事業

2024年度(2024年4月～2025年3月)の主な事業計画は以下のとおりです

事業項目	主な事業	主な活動内容
1.父母懇談会	支部	・「支部総会」を33支部、「父母懇談会」を13支部、10ブロックで開催(7/1～8/27)
	首都圏	・「東京・神奈川・千葉・埼玉」の父母を対象に3キャンパスで開催 市ヶ谷キャンパス(10/6) 小金井キャンパス(10/13) 多摩キャンパス(10/19)
2.後援会活動の活性化と適正化	・各種会議へ参加 ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議	・幹事会、常任幹事会、父母懇談会、支部長会議、運営会議などの各種会議を活用し、活動のあり方について意見交換を行うとともに、後援会活動の活性化と適正化に向けた検討を行う。 ・後援会総会(報告会)の参加者数増大への取り組みを行う。 ・新入生歓迎の集いの開催の検討。
3.支部における諸活動(任意)	・新入生父母の集い ・キャンパス見学や会員相互の親睦を図るための企画及び実施 ・支部による学生課外活動の支援	・新入生父母の集いの開催については、各支部に一任する。 ・学生生活を中心とした情報を提供するとともに、新入生父母の疑問や質問に答え、不安解消に努める。 ・支部の活動情報を後援会ホームページで情報発信する。 ・支部会員によるスポーツ応援やキャンパス見学会などの実施。
4.支部向けサポートの拡充	・後援会本部にて「支部活性化プロジェクト」を作り大学と協力して支部活性化の施策実施	・支部の作業負担軽減。 ・支部活動費の適正化。 ・後援会の認知度向上。 ・支部活動の参加者増大サポート。 ・支部活動の好事例展開。 ・支部間のコミュニケーション拡充。
5.学生・大学への助成	・自然災害、新型コロナウイルス感染症などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・広報活動などへの補助 ・その他、学生・大学活動への助成	・自然災害、新型コロナウイルス感染症などの影響によって困窮した学生への学習特別支援。 ・「法政大学後援会特別支援費」の積立。 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動/インターシップ手帳作成、その他の助成。 ・海外留学奨学金の助成。 ・体育会助成やピアサポートなどの課外活動支援。 ・後援会奨学基金経費負担助成の継続。 ・各キャンパス自主法政祭補助など学生行事支援。 ・広報誌「法政」の作成費用補助。
6.広報活動	・広報誌「法政」掲載の「後援会だより」、後援会ホームページの活用 ・スポーツや文化活動の情報発信 ・「会員のための大学ガイドブック」の作成	・後援会ホームページを活用し、会員向け情報や後援会の活動状況を配信。 ・広報誌「法政」の誌面を利用し、後援会活動や体育会スポーツ応援情報を紹介。また会員が参加できる機会の案内をする。 ・「会員のための大学ガイドブック」の改訂。
7.大学関係者との連携強化	・大学との各種懇談会の実施 ・校友会との相互連携	・後援会と「総長・常務理事」、「常任参与」との各種懇談会の実施。 ・校友会との懇談会を実施するほか、校友会主催の諸行事や会議などへ参加。
8.HSC(HOSEI SPORTS COMMUNITY)・学生支援(※1)	・学生スポーツ応援と文化系学生の課外活動のサポート	・大学や校友会、後援会クラブとのスポーツ支援に関する連携。 ・HSC(HOSEI SPORTS COMMUNITY)への財政・活動支援。 ・東京六大学野球、ラグビー、アメフト、駅伝などの競技応援。 ・文化系活動の発表会などに関する情報発信について検討。
8.学生との協働	・学生による各種活動と後援会の連携検討	・学生による各種活動と後援会の連携を図り、学生及び保護者に対して後援会活動の更なる理解促進を図ることを検討。
9.その他	・対外組織との連携	・後援会クラブとの交流及び連携。 ・関西大学教育後援会などとの交流及び連携。 ・「東京私立大学父母・保護者の会」事務局連絡会への参加。

※1 各種団体の応援ガイドラインなどに基づきサポートを行う。

■2024年度後援会の主な年間行事

月	日	曜日	行事	内容
4月	3日	水	入学式	大学行事、後援会会長が後援会の活動について説明
5月	18日	土	幹事会	後援会の役員会。決算報告、予算案等を審議
6月	8日	土	支部長会議	後援会事業と支部総会・父母懇談会について打ち合せ
			総会(WEB表決)	2023事業年度事業報告・決算報告案、2024年度事業計画・予算案、2024年度役員を審議決定
			講演会	本学出身者による講演会
7月	23日	火	校友会との懇談会	大学発展のために、校友会と後援会が年1回行う懇談会
7月～8月		土・日	支部総会・父母懇談会	全国の支部および地域ブロックで開催(地域ブロックの総会はWEB表決。父母懇談会は支部総会総長、常務理事、学部長、就職関係職員が講演や説明を行う。)
10月	6日	日	首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の会員を対象に各キャンパスごとに開催。講演、キャンパスツアー、学部別懇談会等が行われる。(多摩キャンパスは多摩祭と同日開催。)
	13日	日	首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)	
	19日	土	首都圏父母懇談会(多摩キャンパス)	
11月			支部長会議	支部総会・父母懇談会の報告、活動の情報交換
	16日	土	大学最新状況報告会	学生センター長による、大学の最新情報報告
	27日	水	総長・学内理事との懇談会	総長・学内理事と後援会運営委員が会談
1月	11日	土	オール法政賀詞交歓会	総長をはじめとする法政関係者が集う新年会
3月	8日	土	幹事会	後援会の役員会。暫定予算などを審議
			後援会賞/外国人留学生表彰	難関試験を突破した学生などを表彰/国際交流に尽くした外国人留学生を表彰
	24日	月	学位授与式	大学行事、日本武道館にて開催



支部長会議



父母懇談会(ブロック開催)

経常費

【収入の部】

(単位：万円)

科目(款)	2023年度予算額
1.一般収入	22,959
2.雑収入	79
3.積立金・引当資産からの繰入	2,600
4.預り金収入	0
5.期末未収入金	0
当年度収入合計(A)	25,638
前年度繰越金	22,178
収入合計(B)	47,816

【支出の部】

科目(款)	2023年度予算額
1.自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費	2,000
2.学生支援費	9,876
3.会員情報費	3,017
4.会員行事費	4,766
5.役員活動費	2,066
6.企画運営費	1,781
7.人件費	1,198
8.学生支援積立金	3,100
9.後援会積立金	0
10.引当資産	100
11.未払金支払	0
12.前払金	0
13.予備費	1,000
14.期末未払金	0
15.前期末前払金支払	0
16.預り金支払	0
当年度支出合計(C)	28,904
当年度収支差額(A)-(C)	△ 3,266
次年度繰越金(B)-(C)	18,912
支出合計(D)	47,816



六大学野球応援



六大学野球応援



甲子園ポウル(アメフト)



箱根駅伝

(注) 上記の表の金額は万円未満を四捨五入しているため、合計の数値が計算上一致しない場合がある。

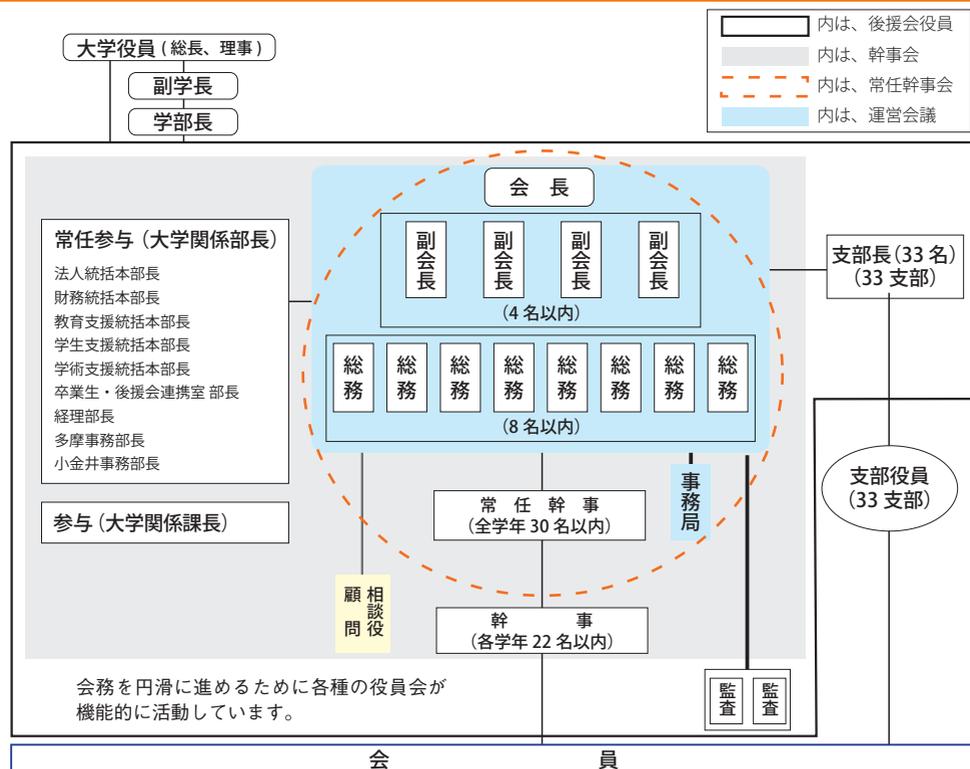
■大学および学生への支援費・会員への情報費(2023年度予算)

(単位：万円)

1) 自然災害等被災(含むコロナ困窮)学生のための学生支援費 2,000万円	2,000	自然災害等(含むコロナ困窮)の被災学生を支援
自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費 2,000万円	2,000	
	0	コロナ禍経済困窮学生支援に寄付
2) 学生支援費 9,877万円	9,877	学生や大学への助成費
後援会賞 201万円	175	後援会賞 201万円 後援会が学生を表彰。対象一難関試験等の合格者、スポーツで顕著な活躍をした学生を対象
	26	外国人留学生表彰 対象一国際交流に貢献した外国人留学生を対象
後援会特別支援費 2,100万円	2,000	後援会特別支援費 2,100万円 LU基金に積立
	100	支部学生支援費 地方支部出身学生に特化した支援
寄贈品 930万円	220	寄贈品 930万円 多摩キャンパスマイクロバス購入、学生団体高額機材購入支援
	678	寄贈図書 学習用・視聴覚教材・開架図書・電子図書購入補助
	32	寄贈消耗品 図書館タブレット端末寄贈
奨学・奨励金 2,000万円	2,000	奨学・奨励金 2,000万円 派遣留學生奨学金経費一部補助
学習・就職支援 42万円	42	学習・就職支援 42万円 教員採用試験二次対策講座補助、自主マスコミ講座合宿費用一部補助
課外活動支援 2,868万円	450	課外活動支援 2,868万円 ピアサポート助成費 課外活動助成費 各サークルの運営活動の補助、契約宿舎利用補助(ゼミ)の一部補助他
	915	課外活動助成費
	1,483	体育会助成費 体育会クラブ活動の助成
	20	グローバル(留学)助成費 留学生スピーチコンテストへの補助、総留学生会活動補助
学生行事支援 379万円	105	学生行事支援 379万円 新入生歓迎会 学生が主催する3キャンパスの新入生歓迎会に補助
	114	卒業祝賀会 各学科ごとに30,000円補助
	127	大学祭 法政祭(市ヶ谷)環境対策費補助、多摩祭環境対策費補助、小金井祭環境対策費補助
	33	各種大会補助 多摩スポーツフェスティバル補助、小金井スポーツ大会補助
記念品代 1,227万円	1,227	記念品代 1,227万円 学生記念品費 新入生向け校歌・応援歌配信、大学ホームページ用動画作成補助。学生手帳作成費。就職活動手帳作成補助
祝金 110万円	110	祝金 110万円 祝金 大学関係行事・祝賀会祝金
弔慰金 20万円	20	弔慰金 20万円 弔慰金 学生の死去に香典2万円
3) 会員情報費 3,017万円	3,017	会員への情報発信のための費用
広報誌「法政」 2,663万円	1,653	広報誌「法政」 2,663万円 広報誌「法政」作成補助 大学が制作し、年8回発行している広報誌「法政」の作成および会員への郵送代の補助
	1,010	広報誌「法政」郵送費
大学ガイドブック 274万円	193	大学ガイドブック 274万円 大学ガイドブック作成費 新入生父母保証人に送付する「会員のための大学ガイドブック」の作成と郵送代
	81	大学ガイドブック郵送費
ホームページ 80万円	80	ホームページ 80万円 ホームページ維持費 後援会ホームページ維持、運用費用

(注) 上記の表の金額は万円未満を四捨五入しているため、合計の数値が計算上一致しない場合がある。

法政大学後援会組織図



法政大学後援会の運営諸機関

後援会は、次の機関で運営しています。

機関名称	構成員等	機能・役割等
運営会議	会長、副会長4名以内、総務8名以内 会長、副会長は常任幹事より、 総務は幹事または常任幹事より選出	会長は本会の代表 副会長は会長を補佐 会務の企画・実施
監査	2名を相談役・顧問経験者より選出	会務および会計を監査(5月、12月)
常任幹事会	運営委員、常任幹事 常任幹事は幹事より30名以内を選出	会務に参画し、常時会務を掌理し、予算その他重要事項を審議
幹事会	運営委員、常任幹事、幹事、相談役、顧問、 常任参与、参与 幹事は各学年会員より22名以内を選出	決算・予算・事業計画、その他重要事項を審議 暫定予算の審議決定 年2回開催(3月、5月)
支部長会議	運営委員ならびに各支部より支部長と支部役員1名	後援会事業および支部総会・父母懇談会等支部活動に関する事項を審議 年2回開催(6月、11月)
総会	全役員および父母保証人(会員)	決算、予算、その他重要事項を審議決定 定例年1回(6月)
支部総会	支部役員および支部会員	支部の決算、予算、その他重要事項を審議
支部役員会	支部長および支部役員	支部の運営を協議

*相談役、顧問は若干名を幹事会で推薦 *常任参与、参与は、若干名で大学の後援会関連事務部局の所属長、管理職

法政大学後援会寄贈

学生と大学への助成の一環としての機器備品等の寄贈の一例です



ロールバックチェア外濠校舎薩埵ホール
(市ヶ谷キャンパス)



富士見ゲート「オレンジホール」移動観覧席
(市ヶ谷キャンパス)



ロールバックチェア東館2階体育館
(小金井キャンパス)

応援旗



野外用テーブルチェア(多摩キャンパス)



チアリーディング部衣装



小金井キャンパス開設50周年記念時計塔
(小金井キャンパス)



構内循環バス(多摩キャンパス)



トレーニングマシン(多摩キャンパス)



テーブルとイス

法政大学後援会会則

1964年6月施行

一部改正	1967年6月	1969年6月	1971年6月	1972年6月
	1975年6月	1977年6月	1981年6月	1991年6月
	1993年6月	1994年6月	2001年6月	2007年6月
	2009年6月	2010年6月	2014年6月	2019年6月

第1条 本会は法政大学後援会と称し、事務所を法政大学内に置く。
第2条 本会の会員は法政大学学部学生の父母/保証人とする。

第3条 本会は法政大学の教育方針に則り大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第4条 本会は下記の事業を行なう。

- (1) 学生の学業徳操に関する事項。
- (2) 学生の体育保健に関する事項。
- (3) 大学の発展および施設の充実に関する事項。
- (4) 教授ならびに講師の研究補助に関する事項。
- (5) 会員の親睦に関する事項。
- (6) その他本会の目的達成に必要な事項。

第5条 本会の経費は会費、入会金および寄付金をもって充てる。

(1) 会員は別に定める会費を負担し、授業料と共に納めなければならない。

(2) 会員は新たに本学に入学した学部学生1名につき、会費と入会金を納めなければならない。

(3) 会費および入会金は総会において定める。

第6条 本会は支部を置くことができる。

第7条 本会に下記の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 4名以内
- (3) 総務 8名以内
- (4) 監査 2名
- (5) 常任幹事 全学年30名以内
- (6) 幹事 各学年22名以内
- (7) 支部長 各支部1名
- (8) 相談役 若干名
- (9) 顧問 若干名
- (10) 常任参与 若干名
- (11) 参与 若干名

第8条 第7条第1号から第6号までの役員については幹事会において役員の中から選出した選考委員をもって構成する選考委員会が次の各号により選出し、総会の議を経て決定する。

- (1) 会長および副会長は常任幹事より選出し、総務は常任幹事または幹事より選出する。
- (2) 常任幹事は幹事より選出する。
- (3) 幹事は会員より選出する。
- (4) 監査は相談役・顧問経験者より選出する。
2. 支部長は支部会員より選出する。
3. 相談役および顧問は幹事会で推薦する。
4. 常任参与は参与中より会長が委嘱する。
5. 参与は教職員中より幹事会の推薦により会長が委嘱する。

第9条 役員の任期は1か年とする。ただし重任を妨げない。

第10条 会長は会務を総理し、本会を代表する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を遂行できないときは、その職務を代行する。

3. 総務は会長の諮問に應ずるほか、運営会議に出席し、会務に参画する。

4. 常任幹事は会務に参画し、常時会務を掌理し、常任幹事会に出席して予算その他重要な事項を審議する。

5. 幹事は会務に参画し、幹事会に出席して付議事項および会長が必要と認める事項を審議する。

6. 監査は本会の会務および会計を監査する。

7. 相談役、顧問および常任参与は、会長の諮問に應ずるほか、幹事会その他の会合に出席し、会務に参画する。

8. 参与は幹事会その他の会合に出席し、会務に参画する。

9. 支部長は本会会則および支部会則により会務に参画する。ただし本部会務への参画は会長の要請に基づくものとする。

第11条 定時総会は年1回開催し、次の事項を審議する。

(1) 決算、予算の承認 (2) 役員改選 (3) その他重要事項

2. 次の場合、会長は速やかに臨時総会を開催しなければならない。

(1) 幹事の2分の1の要求があった時。

(2) 常任幹事会の決議があった時。

3. 定時総会及び臨時総会は、会長が招集する。

4. 定時総会及び臨時総会の議長には、会長がこれに当たり、その議事は、出席者の過半数をもって決する。可否同数の時は、会長がこれを決定する。

第12条 運営会議は、会長、副会長および総務で構成し、会長が招集する。

2. 常任幹事会は、会長、副会長、総務および常任幹事で構成し、会長が招集する。

3. 幹事会は、会長、副会長、総務、常任幹事、幹事、相談役、顧問、常任参与、参与で構成し、会長が招集する。

第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

2. 総会までの年度当初予算については、幹事会において暫定予算を決定し、支出することができる。

第14条 本会則は総会の議決によらなければ変更することができない。

第15条 本会に協力する卒業生父母/保証人をもって賛助員とすることができる。

附 則 1

(第二部在学生の父母加入に関する経過措置)

第1条 この改正会則の第二部在学生の父母等に対する適用は、1992年度以降とする。

但し、1991年度以前に入学した二部在学生の父母等については、入会金および会費を免除する。

第2条 会費等について

1. 新一年生より順次徴収する。
2. 入会金・会費については、第一部学生と同額とする。

附 則 2

第5条 (1)項の会費には広報誌「法政」購読料を含む。

附 則 3

この会則は、2014年6月7日から第2条を一部改正し施行する。

附 則 4

この会則は、2014年6月7日から第5条を一部改正し施行する。

第5条 入学する第二子目以降の学生について納入する入会金と同額の負担金を、会則では便宜的に「入会金」と称する。

附 則 5

この会則は、2014年6月7日から第15条を一部改正し施行する。

附 則 6

この会則は、2019年6月1日から第7条を一部改正し施行する。

以上

法政大学後援会個人情報保護ガイドライン

法政大学後援会では、個人情報保護に関する法律に則り、学生ならびに会員に関する情報の取り扱いについてガイドラインを定め、次のとおり取り扱います。

[利用目的の特定]

1. 大学と共同利用している情報は、後援会活動の目的にのみ使用します。

[情報提供者への事前告知]

2. 後援会(本部または支部)が独自に個人情報を取得する時は、取得の際に利用目的を特定し、特定した利用目的を本人に通知します。

[目的外利用の禁止]

3. 取得した個人情報は特定した利用目的の範囲内で利用します。

[情報の安全管理]

4. 取得した個人情報は安全に管理する。(例 パスワードの設定、ウィルス対策ソフトの導入、施錠できるところでの保管。盗難防止。)

[目的外利用時の事前本人同意]

5. あらかじめ定めた利用目的以外で個人情報を利用する場合、または他人(本人以外の第三者)に渡す場合は、あらかじめ本人の同意を得ることを前提条件とします。

[写真等メディアの扱い]

6. ホームページや広報誌へ個人が特定できる写真や情報を掲載する場合については、本人の承諾を前提とします。(個人が特定できない写真や情報で事前承諾が得難い場合は、承諾を得ずに使用することがあります)

[支部単位の情報管理]

7. 後援会本部は支部長を管理責任者として支部会員情報を期間を定めて提供します。支部長は支部会員情報を法律ならびに法政大学プライバシーポリシーに沿って取り扱い、期間満了後に本部へ返却します。

[情報利用の記録]

8. 後援会支部が年1回に後援会本部より受け取る当該支部会員名簿の他にあらためて会員情報が必要となる場合は、都度、本部へ利用目的を添えて情報利用申請を行い、後援会本部は情報利用の記録を残します。

以上

附 則

- (1) このガイドラインは、2020年4月1日から施行する。

年度 (4月～3月)	後援会関係事項	支部設立等	大学と学生への寄付・助成・寄贈
1947(昭和22)	6月28日、法政大学後援会の前身「法政大学父兄会」が、野上豊一郎総長が在京父母に呼びかけて学内で開催した「法政大学父兄懇談会」の席上で誕生 ・父母の教養講座の開講(美濃部亮吉氏や谷川徹三氏らが講師の人気講座で7回続く) ・「父兄会会報」発行		・「大学復興協力募金事業」に協力
1952(昭和27)			・後援会の全額助成により雑誌「法政」を刊行
1955(昭和30)	・元井上通信英語学校跡地に後援会事務所の開設		・診療所にレントゲン一式を寄贈
1961(昭和36)	・関西大学教育後援会との交流を開始		
1965(昭和40)	・第1回学生父兄欧州旅行団を実施	・岩手県	・「大学創立85周年記念事業」に寄付
1966(昭和41)	・後援会OBの会「法政大学後援会クラブ」の結成	・福島県、郡山、佐賀県、青森県	
1967(昭和42)	・法政大学後援会20年史「学生と共に」発刊	・新潟県	
1968(昭和43)	・「支部長会議」の開始		・川崎グラウンド土地買収費の一部を助成
1969(昭和44)		・静岡中部	・工学部入口にバス停を寄贈
1970(昭和45)		・山形県	
1971(昭和46)	・大学との定期連絡会の開始	・浜松	・「大学創立90周年事業」として、大学が取得した町田校地用に桜の苗木を寄贈
1973(昭和48)	・総長との新春座談会を開催		・「市ヶ谷体育館建設資金」第1回分を寄付
1974(昭和49)	・卒業式後に後援会主催「謝恩会」を開催。以後恒例となる		・「市ヶ谷体育館建設資金」第2回目を寄付
1975(昭和50)	・「大学との業務連絡会」を開催		・本校及び工学部体育館用体育器具購入資金を助成
1976(昭和51)		・茨城県、栃木県	
1977(昭和52)	・大学の「国際交流センター」開設に伴い、「海外研修セミナー」に助成を開始	・群馬県、福岡県、静岡中部支部を静岡支部に改称	
1979(昭和54)	・「東京地区父兄懇談会」を開催		
1980(昭和55)			・図書館建設助成積立金を大学に寄付
1981(昭和56)	・法政大学報を会員に郵送(～2001年度)		・「法政大学100周年記念事業」に寄付
1982(昭和57)	・「より良き学園をめざして/法政大学後援会35年史」の発刊	・北海道	・学生部に映写機を寄贈
1984(昭和59)	・父母懇談会で成績表を配付	・広島県	・市ヶ谷キャンパス、小金井キャンパスにトラックを寄贈
1987(昭和62)	・「法政」臨時増刊号の発刊	・愛知県	・応援団吹奏楽部の楽器購入補助
1988(昭和63)		・鹿児島県	・工学部技術連盟にトラック寄贈
1989(平成元)	・大学から大学職員が事務局長として出向		・スポーツ海外交流(招聘)の助成
1990(平成2)	・「総長との懇談会」開始	・長野県	・応援団に団旗を寄贈

年度 (4月～3月)	後援会関係事項	支部設立等	大学と学生への寄付・助成・寄贈
1991(平成3)	・「法政大学後援会寄付・学生事故災害補償基金」の覚書を締結	・石川県、宮城県	・「日中合同科学探検法政大学タクラマカン砂漠第1次調査隊」に寄付
1992(平成4)	・第二部在学生父母の後援会加入	・四国	・第二部学生父母の加入を記念した法政大学後援会 寄付・学生事故災害補償基金積立の開始 ・「日中合同科学探検法政大学タクラマカン砂漠第2次調査隊」に寄付
1993(平成5)	・「首都圏父母懇談会」の開始 ・「学部長懇談会」の開始		
1994(平成6)	・阪神大震災罹災者に対する減免措置を決定	・関西	・市ヶ谷・小金井キャンパスにトラック寄贈
1995(平成7)	・阪神大震災罹災者に会費・入会金の免除と見舞金の措置	・愛知県支部を東海支部に改組	・山岳部チョウ・ユ一遠征助成
1996(平成8)	・総長の支部父母懇談会への出席開始	・岡山県	
1997(平成9)	・後援会創立50周年記念式典・祝賀会開催 ・後援会50年史「より良き学園をめざして」の作成と配布 ・創立50周年記念事業として支部旗を作成し、祝賀会で支部旗贈呈を行う	・富山県、沖縄県	・多摩キャンパスに屋外ベンチ他寄贈 ・サッカー部トレーニング機器を寄贈
1998(平成10)	・「法政大学後援会賞」の発足(外国人留学生表彰)	・秋田県、山口県、熊本県	
1999(平成11)	・「後援会賞(学術・スポーツ部門他)」の制定	・鳥取・島根県、佐賀県支部を佐賀・長崎県支部に改組	・「法政大学後援会寄付・学生事故災害補償基金」の完成 ・チョモランマ登山隊に遠征資金寄付(1回目)
2000(平成12)	・事業と支部プロジェクトの発足 ・三宅島噴火罹災者に見舞い状と会費減免の措置	・大分県、山梨県	・「法政大学創立120周年記念」に学生貸出用ノートパソコンを約180台寄贈 ・チョモランマ登山隊に遠征資金寄付(2回目)
2001(平成13)	・「父母のための大学ガイドブック」を父母に郵送		
2002(平成14)	・履修成績通知書を大学から父母に送付		・応援団に団旗を寄贈
2003(平成15)	・後援会ウェブサイトの開設	・四国支部の4県分割	・「法政大学120周年記念事業・募金」に団体寄付 ・市ヶ谷、小金井キャンパスにトラックを寄贈
2004(平成16)	・災害救助法適用地域会員への会費・入会金の減免と見舞金の支給を決定 ・「新入生父母の集い(首都圏)」の開始	・福井県、宮崎県	・「多摩キャンパス開設20周年」にイルミネーションを寄贈 ・「工学部設立60周年・小金井移転40周年」に祝金
2005(平成17)	・「法政大学後援会奨学金制度」の発足 ・会員に分かりやすい後援会予算科目の開始		
2006(平成18)	・「臨時総会」を開催し、補正予算により外濠校舎にロールバックチェアの贈呈を決定	・大学主催法政フェア(広島、札幌)を大学、校友連合会と主催	・外濠校舎にロールバックチェアを寄贈 ・オレンジコミュニティネットワークシステム開発費用を補助
2007(平成19)	・法政大学後援会創立60周年式典・祝賀会開催 ・法政大学後援会60年史発行・後援会紹介DVD作成	・福岡県支部総会・父母懇談会を法政フェアと同日開催	・後援会創立60周年記念の桜を植樹 ・チャリーディング部にコスチューム寄贈
2008(平成20)	・支部新入生父母の集いに大学職員が出向 ・経団連に学生採用早期化に対する要望書を提出	・新潟県支部設立40周年総会・父母懇談会を法政フェアと同日開催	・各キャンパスにAEDを寄贈 ・小金井キャンパス東館竣工に体育館施設を寄贈

法政大学後援会の歴史

年度 (4月～3月)	後援会関係事項	支部設立等	大学と学生への寄付・助成・寄贈
2009(平成21)	<ul style="list-style-type: none"> • 大学に後援会業務を委託 • 学位授与式の二部制への移行により謝恩会取止め • 校友連合会との共同企画「特別講演会」を開催 	<ul style="list-style-type: none"> • 宮城県支部総会・父母懇談会を法政フェアと同日開催、佐賀・長崎県合併 10 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 「リーディング・ユニバーシティ法政」募金に積立開始
2010(平成22)	<ul style="list-style-type: none"> • 会則変更(総務の増員と監査の独立) • 経済的困窮学生に対する支援について大学・校友連合会に提案 	<ul style="list-style-type: none"> • 山梨県支部・大分県支部 10 周年、宮城県支部 20 周年、静岡支部・山形県支部 40 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 多摩キャンパス構内循環バスの寄贈
2011(平成23)	<ul style="list-style-type: none"> • 東日本大震災学生支援としての会費・入会金の免除と見舞金などの措置 	<ul style="list-style-type: none"> • 長野県支部・石川県支部 20 周年、浜松支部 40 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • ピアサポートや市ヶ谷ラーニング commons の助成 • エベレスト登山隊に遠征資金寄付
2012(平成24)	<ul style="list-style-type: none"> • 大学主催「首都圏新入生父母説明会」開催・協力 • 東日本大震災学生支援継続 	<ul style="list-style-type: none"> • 北海道支部 30 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 東日本大震災における被災学生への特別就学支援措置 • 法政大学後援会奨学金の継続
2013(平成25)	<ul style="list-style-type: none"> • 東日本大震災学生支援継続 	<ul style="list-style-type: none"> • 愛媛県支部・香川県支部・徳島県支部・高知県支部 10 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 東日本大震災における被災学生への特別就学支援措置
2014(平成26)	<ul style="list-style-type: none"> • 東日本大震災学生支援継続 	<ul style="list-style-type: none"> • 宮崎県支部・福井県支部 10 周年、関西支部 20 周年、広島県支部 30 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 東日本大震災における被災学生への特別就学支援措置 • 「小金井キャンパス50周年」時計を寄贈
2015(平成27)	<ul style="list-style-type: none"> • 後援会ウェブサイトのリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> • 栃木県支部 40 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 多摩キャンパスに野外用テーブルチェアを寄贈
2016(平成28)	<ul style="list-style-type: none"> • 自然災害などで被災した学生への修学特別支援 • 学生の食生活改善のため100円朝食の補助 	<ul style="list-style-type: none"> • 岩手県支部、福島支部、郡山支部、佐賀・長崎県支部 50 周年、茨城県支部 40 周年、岡山県支部 20 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 富士見ゲート竣工記念品寄贈(オレンジホール移動観覧席)
2017(平成29)	<ul style="list-style-type: none"> • 法政大学後援会創立70周年式典・祝賀会開催 • 法政大学後援会70年史発行 	<ul style="list-style-type: none"> • 青森県支部は 50 周年、群馬県支部、福岡県支部は 40 周年、東海支部 30 周年、沖縄県支部、富山県支部 20 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然災害などで被災した学生への修学特別支援措置 • 多摩キャンパス内循環用大型バス寄贈
2018(平成30)	<ul style="list-style-type: none"> • 後援会ウェブサイトのトップページのリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> • 新潟県支部 50 周年、鹿児島県支部 30 周年、秋田県支部、山口県支部、熊本県支部 20 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然災害などで被災した学生への修学特別支援措置
2019(令和元)	<ul style="list-style-type: none"> • 令和元年東日本台風で被災した学生への会費・入会金免除、修学特別支援 	<ul style="list-style-type: none"> • 鳥取・島根県支部 20 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • HOSEIミュージアムへの寄付
2020(令和2)	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、10月までの行事を原則中止とし、活動再開後、臨時総会を電子表決にて開催。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、支部総会を電子表決にて開催 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然災害等被災学生のための学生支援とし、「新型コロナウイルス感染症禍に伴う家庭急変等で困窮する学生への支援」を実施。
2021(令和3)	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、総会を電子表決にて開催。 • 後援会本部行事をオンライン、オンライン・会場併用で開催 	<ul style="list-style-type: none"> • 長野県支部 30 周年、石川県支部 30 周年、福島・郡山支部も福島県支部として合併。支部総会は電子表決、オンライン開催、オンライン・会場併用で開催 	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染症禍に伴う家庭急変等で困窮する学生への支援を実施。 • 地方支部出身学生らに特化した支援として『支部学生支援費』を創設
2022(令和4)	<ul style="list-style-type: none"> • 首都圏父母懇談会をハイブリットで開催 • 父母懇談会(ハイブリット)を全国8会場ですべてブロック開催 	<ul style="list-style-type: none"> • 終了支部 香川県支部 • 佐賀・長崎県支部が福岡県支部と合併へ向けて表決 	<ul style="list-style-type: none"> • 多摩キャンパス構内循環バスの寄贈 • 地方支部出身学生らに特化した支援として『支部学生支援費』を寄付
2023(令和5)	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染症拡大以前の活動が再開 • 支部活性化プロジェクトを発足 	<ul style="list-style-type: none"> • 佐賀・長崎県支部が福岡県支部と合併 • 高知県支部 20 周年 	<ul style="list-style-type: none"> • 地方支部出身学生らに特化した支援として「支部学生と支援費」を寄付

学びと学生生活



授業の種類／シラバス／履修登録／試験と成績（成績評価・GPA）／単位／進級・卒業要件／法政大学の学習環境／学習支援／法政大学ピアネット／大学で行われる行事／クラブ・サークル活動／学費と休学・退学について／各種の届・願の提出先／奨学金制度／診療所／健康診断／学生相談室・障がい学生支援室・ハラスメント相談室／法政大学学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）について／トラブルに巻き込まれないために／防災面での危機管理について

授業の種類／シラバス／履修登録

ここでは大学での学びについて、学生のみなさんに配布している「法政大学学習支援ハンドブック2024」から引用して会員のみなさんにお伝えします。

時間割をつくる

①授業の種類

大学での授業には、講義、実験・実習、ゼミ(演習・卒業研究)と大きく3種類あります。

【講義】

講義科目では、教員の講義を聞いてノートを取ることが授業参加の第一歩ですが、講義のスタイルは教員によって違いますし、板書のスタイルも十人十色です。学生にとってはノートの取り方が学びの基本技術です。多くの授業では総まとめとして、期末に試験やレポートなどが課されます。

【実験・実習】

実験・実習科目では、グループでのテーマに沿った実験と結果の分析、コンピュータや作品制作のワークショップ、社会調査のフィールドワークなどがあります。課題に挑戦して、講義だけでは知りえないことを探求します。

【ゼミ(演習・卒業研究)】

ゼミ(演習・卒業研究)では、指導教員の助言を受けながら、長い時間をかけて問題意識を深め研究に取り組みます。一般にはゼミの成果がゼミ論文ですが、それが卒業研究、卒業論文(卒論)となる学部もあります。ゼミとは大学での学びの到達点ともいえるでしょう。

②シラバス

それぞれの科目の内容を詳しく知るために、学生のみなさんはシラバスに必ず目を通します。シラバスには、その授業の目的、学習の到達目標、授業計画、成績評価の方針などが記載されています。

③履修登録

最良の履修計画は一人ひとり異なります。自分にとって何が最良かをよく考えて、どの科目を履修するか決めます。教職員や先輩にアドバイスをもらうのも参考になるでしょう。学部学科によっては、多くの必修科目が指定されているところもあれば、あらかじめ受講するクラスが指定されている科目もあります。「履修の手引き」と「シラバス」をよく読んで、学部の必修科目や選択必修科目、履修制限などをきちんと理解

することが大切です。

法政ポータルサイト(Hoppii)について

大学には学生が利用する様々なシステムやサイトがあります。

それら全てのリンク先をひとまとめにしたポータルサイトが「Hoppii(Hosei portal to pick up information)」です。授業や成績、大学からの情報を確認したい場合には、まず「Hoppii」にアクセスします。

トップページには各種システムやサイトのリンク先が掲載されており、キャンパスごとのお知らせ(災害等による全学一斉休講等の重要なお知らせも含む)も確認できます。

「Hoppii」からアクセスできる主なシステム及びサイトは以下のとおりです。

(1)情報システム

履修科目の登録や成績確認などができます。

(2)学習支援システム

授業教材、レポートや小テスト実施、授業に関する連絡を確認できます。

(3)Web掲示板

所属学部・研究科からのお知らせや大学からのお知らせが掲示されます。

(4)Webシラバス

各科目の授業内容(シラバス)をWeb上で公開しています。

(5)デジタルブックシステム「HONDANA」

大学・学部・研究科から発行される冊子をインターネットで閲覧できます。

(6)オンデマンドシステム

オンデマンドでの授業やガイダンス等の動画を視聴できます。

(7)学修成果可視化システム(Halo)

これまでの履修成績等の推移や在学中の活動履歴等を確認できます。

(8)授業改善アンケート

履修科目に関するアンケートに回答できます(毎学期末に実施)。

(9)法政大学専用メール

法政大学専用Gmailを利用できます。

(10)各種オンラインツール

ZoomやWebex等のオンライン授業ツールを利用できます。

試験と成績(成績評価・GPA)／単位／進級・卒業要件

試験と成績

- ①定期試験：春学期と秋学期の年2回(デザイン工学部は年4回)
- ②試験の種類：筆記試験、レポートなど
- ③追試験・再試験制度：学部によって制度の有無があります
- ④成績の発表：通常は春学期・秋学期の各学期が終了した後にWebで各自が確認します

成績評価

成績はS、A+、A、A-、B+、B、B-、C+、C、C-、D、Eによって表されます。各科目の担当教員が定期試験・レポート・出席などに基づいて成績評価します。各評価の+は特に留意すべき加点・減点があることを示します。素点評価する場合、素点に応じて+付きの各評価に対応しますが、素点評価しない場合は、+の使用は各教員の裁量に任せられます。グレード・ポイント(GP)は成績評価を4~0に置き換えたものです。

素点評価する場合	素点評価しない場合	評価	GP	可否
100~90点	学習目標を満たし卓越した成績をあげた	S	4.0	合格
89~87点	学習目標を満たし優秀な成績をあげた	A+	3.3	
86~83点		A	3.0	
82~80点		A-	2.7	
79~77点	おおむね学習目標を満たしている	B+	2.3	
76~73点		B	2.0	
72~70点		B-	1.7	
69~67点	最低限の学習目標を満たしたが不十分な点も見られる	C+	1.3	
66~63点		C	1.0	
62~60点		C-	0.7	
59~0点	学習目標を満たしていない	D	0.0	不合格
未受験、採点不能	未受験、採点不能	E		

※2019年度より、本表のとおりとなっています。

※2018年度以前に取得した単位の評価・GPは変更しません。

成績通知

毎年、春学期(4~9月)、秋学期(9~3月)各期の成績を、保証人宛に送付します。春学期の成績は10月末頃、秋学期の成績は4月末頃に発送します。新入生の保証人のみなさまには、前年度の成績がありませんので、当年度の春学期分(10月末頃発送)からのお知らせとなります。

ご不明な点がありましたら、各学部事務まで直接お問い合わせください。

GPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度

成績をより客観的に見るために、学習状況を把握し成績向上に役立てるための指標です。算出方法は、表のとおり換算したGPに、その科目の単位数を掛け、履修単位数の合計で割ります。0となるD・Eも算入されるため、学生個人の全体の成績評価をつかむことができます。

GPAは何のために？

学生自身が、自分の「学び」について振り返る上で、取得した単位の「量」のみでなく「質」も考慮することが容易になります。学生は学期ごとに算出されたGPAと、その時点までの通算GPAを見ることで、入学後の学年ごとや学期ごとの自分の「学び」のあり方について振り返ることが可能になります。

単位

大学では、それぞれの科目で合格または不合格となった場合、「単位が取れた」とか、「単位が取れなかった(または落とされた)」などと表現します。この単位とは、学修に要する時間を表す基準で、1単位は、①教室等で授業を行う時間及び②学生が授業時間外において準備学習・復習を行う時間の合計で標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成されています。

1科目あたりの単位数は、それぞれ科目により異なりますが、語学や実験・実習は半期1単位、講義や演習は半期2単位が一般的です。

進級・卒業要件

進級や卒業するためには、学部・学科が定めた進級・卒業要件を満たす必要があります(詳細は、各学部の「履修の手引き」を参照)。また、各年次の進級時にも一定の要件があり、学生は計画的に履修計画を立てる必要があります。これらの要件はとても厳密なもので、学部・学科ごと、あるいは入学年度やコースによっても異なることがありますので、注意が必要です。

ラーニングcommons

「ラーニングcommons」は、学生がノートパソコンや図書資料を用いながら、自発的に学習するための共有空間(アクティブラーニングスペース)です。市ケ谷・多摩・小金井の各図書館に設置されています。可動式の机や椅子、ホワイトボード等があり、ディスカッションを交えたグループ学習やグループ発表の準備などに活用されています。

ラーニングcommons内には、「Cultural Diversity Corner(多文化コーナー)」を設置し、多文化理解に役立つ資料を揃え、グローバル化における学習を支援しています*。多摩図書館の3階には、ソファやカウンター席のある「クリエイティブルーム」が設置され、多様なアクティブラーニングスペースがあります。いずれも、人気のスペースとなっており多くの学生に活用されています。

*多摩図書館では3階クリエイティブルーム内、小金井図書館では南館1階入館ゲート前に設置されています。



Cultural Diversity Corner (多摩図書館)

学習ステーション

学習ステーションは、学生・教員・職員が協働して、学生の学習活動をサポートすることを目的に活動しています。学内では「Lステ」として親しまれる学習サポート空間です。新入生サポートや、教員によるショートゼミ「Lステゼミ」、本学OB・OGと対話する「OB・OGトーク」、学生同士が学び合う学生企画プログラム等、学生目線を取り入れた各種プログラムを実施しています。

オフィスアワー

学生からの相談に対して、教員が特定の曜日・時間帯に研究室等で応じるようにしています。各学部の「履修の手引き」などに、対応する場所や曜日・時間帯を記載しています。

Gラウンジ(Global Lounge)

外国語コミュニケーション空間として、3キャンパスそれぞれに設けられています。英語強化プログラム(ERP)や有料語学試験講座・国際ボランティア・インターンシッププログラムの受付窓口である他、「英語学習アドバイザー」が待機し、英語で話したい、英語の上達方法を教わりたい、海外の文化を知りたいといった学生の希望に対応しています。また、留学生交流の場となっており、英語以外の言語を練習する場としても活用されています。

ピアネット

本学には、サークルやゼミの仲間が他の仲間のサポートをする、ピア(Peer:仲間)サポート活動の伝統があります。2007年度に文部科学省の学生支援GPに採択され、課外教養プログラムやボランティア活動などを中心に展開してきた活動は、現在では様々な部局にて700名超の学生スタッフが教職員と協働して活動しています。

各部局のピアサポートについて、学生スタッフの連携や情報の共有、プログラムの充実を目的として全学的に発展させて活動をしているのが「ピアネット」です。学生センター、ボランティアセンター、図書館、キャリアセンター、入学センター、多摩事務部多摩事務課、小金井事務部学務課、グローバル教育センター、教育開発・学習支援センター、学習ステーションが連携し合い、市ケ谷、多摩、小金井の3キャンパス体制で運営しています。

各部局のサポート活動の共通点は、学生が学生を支援する取り組みの中で、支援を受けた学生が、次は支援する側へと回る「循環」を生んでいる点です。学生スタッフはプログラムの企画や、教職員との議論、外部機関との折衝等を通じて主体的な役割を担い、チームワークやコミュニケーション力を身に付けています。

共通の研修会や合同企画を通じ、ピアネットの学生



ピアネット学生スタッフ合同研修会 学習ステーション学生スタッフ

スタッフ同士は学部やキャンパス、学年を超えて交流しています。

本学は今後も、ピアネットを通じた学生支援活動を進めることで、学生の成長と法政コミュニティの活性化につなげていきたいと考えています。ピアネットの活動の様子については、HPに掲載しておりますので是非ご覧ください。

<https://www.hosei.ac.jp/gakuseishien/>



*「課外教養プログラムプロジェクト」「ボランティアセンタープロジェクト」等については、本学後援会の財政援助を受けて活動しています。

大学で行われる行事

○新入生歓迎祭

毎年4月上旬に新入生を歓迎するための催しが学友会の主催で開催されます。さまざまなサークルが勧誘や入会説明をします。

○大学祭

学生の実行委員会が主催する形で市ケ谷、多摩、小金井キャンパスで「法政祭」が開催されます。各キャンパスではサークルが模擬店を出し、校舎内では講演会、自主映画の上映、音楽団体のライブ演奏などが行われ、1年間のサークル活動の集大成となっています。

多摩キャンパスで行われる大学祭最終日の花火大会は、近隣の皆様からも楽しみにいただいています。また、小金井キャンパスでは子どもたちを対象とした理科の実験教室が行われて、地域社会との連携にも貢献しています。多摩祭の花火購入費など各キャンパスの大学祭には法政大学後援会から助成が行われています。

【大学祭】(2024年度予定)

- *市ケ谷：11/1(金)～11/4(月)
- *多摩：10/19(土)～10/20(日)
- *小金井：11/1(金)～11/3(日)

○優勝パレード

春・秋に行われる東京六大学野球で優勝すると、学友会主催で優勝パレードが行われます。市ケ谷キャンパスから大学周辺を野球選手が乗ったオープンカーを先頭にして練り歩きます。

○卒業祝賀会

3月24日の学位授与式終了後、各学部や学科ごとに先生を囲んで卒業を祝います。

*学友会

法政大学の全学生が会員となっている組織で、各キャンパスの登録団体および応援団、体育会、第二体育会から選出された役員により運営されています。

授業時間割	月曜日～金曜日			土曜日
	市ケ谷キャンパス	多摩キャンパス	小金井キャンパス	全学共通時間割 (Saturday Timetable)
1時限目	8:50～10:30	9:20～11:00	9:00～10:40	9:00～10:40
2時限目	10:40～12:20	11:10～12:50	10:50～12:30	10:50～12:30
昼休み	12:20～13:10(50分)	12:50～13:40(50分)	12:30～13:20(50分)	12:30～13:10(40分)
3時限目	13:10～14:50	13:40～15:20	13:20～15:00	13:10～14:50
4時限目	15:00～16:40	15:30～17:10	15:10～16:50	15:00～16:40
5時限目	16:50～18:30	17:20～19:00	17:00～18:40	16:50～18:30
6時限目	18:35～20:15	—	—	18:35～20:15
7時限目	20:20～22:00	—	—	20:20～22:00

本学には非常に多くのクラブ・サークルがあり、それぞれ独自に活動しています。後援会は、体育会や登録団体に対し補助金交付等の便宜を供与しています。

なお、歴史が長く優れた成績を収めていても、活動の自主性を求め、敢えて登録申請を行わない団体もあります。

体育会

アメリカンフットボール部、ボクシング部、山岳部、自転車競技部、自動車部、サッカー部、水泳部、スキー部、スケート部(アイスホッケー部門、スピードスケート部門、フィギュアスケート部門)、相撲部、ハンドボール部、卓球部、テニス部、ソフトテニス部、野球部、準硬式野球部、馬術部、バレーボール部、陸上ホッケー部、ヨット部、バスケットボール部、ラグビー部、陸上競技部、フェンシング部、空手部、バドミントン部、柔道部、重量挙げ部、レスリング部、剣道部、航空部、ワンダーフォーゲル部、射撃部、ボート部、ゴルフ部、弓道部、少林寺拳法部、ラクロス部、洋弓部、モーターボート・水上スキー部

※体育会の活躍情報・試合レポート・インタビュー等は、法政大学Webサイトの体育会ページ、法政スポーツインフォメーション(<https://hosei-sports.jp/>)、スポーツ法政新聞会スポーツ法政Web版(<https://sports-hosei.net/>)でご覧になれます。

登録団体

●応援団

リーダー部、吹奏楽部、チアリーディング部

●第二体育会

ボクシング部、水泳部、準硬式野球部、空手部、卓球部、陸上競技部、柔道部、ソフトテニス部、剣道部、バスケットボール部、バドミントン部

●市ヶ谷キャンパス

【音楽系】アカデミー合唱団、アカベラサークル BeBap!、アコースティックギターサークル、With Heart、エレクトーンサークルCOSMOS、音楽企画倶楽部、カントリーレンジャースエリマ、ギター研究会サークル仲間、交響楽団、ジャズ研究会、II部モダンジャズ研究会、ニューオレンヂスウィングオーケストラ、New Sounds Project、ピアノの会、フォークソング研究会、HOME、マンドリンクラブ、民族音楽研究会、Musik、横浜シーバラダイスオーケストラ

【表現系】アナウンス研究会、I部演劇研究会、I部美術研究会、映画愛好会、映像研究会、お笑いサークルHOS、カメラ部、カレッジライフクラブ、イラスト研究会視芸、写真研究会、声優研究会、chumuly、つくりびと、デザイン工学研究会、II部映画研究会、II部演劇研究会、II部美術研究会、美術集団あ〜と、舞台技術研究会、

漫画研究会、YOSAKOIソーランサークル鳳遙恋

【出版・編集系】新聞学会、スポーツ法政新聞会、ミニコミ出版研究会

【語学系】英語研究会ESS、コズモラマ・ランゲージ・ソサイエティ

【趣味系】アイドル文化研究会、アイドルマスター研究会、囲碁研究会、市ヶ谷将棋部、かるた会、奇術愛好会、着物研究会、クイズ研究会HosmiQ、散歩サークル「散歩のド素人」、創作同盟くりめいと、宅録同好会、鉄道研究会、ドイツゲーム同好会、パフォーマンスサークルすだま、ポケモンだいすきクラブ、マジシャンズクラブ、料理サークル「わりばし」

【スポーツ系】合気道部、アクアダイビングクラブ、居合道部、esportsサークルHoppiGaming、キャラバン部、剣道会、剛柔流空手道部、サイクリング同好会、ジャズダンスサークルONE、女子サッカーサークルBelinda、体操競技部、躰道部、卓球同好会、旅ランサークルNOAH、探検部、チアリーディングチームGRANDS、軟式野球部、バスケットボール愛好会、バドミントンサークル La Strada、バドミントン同好会'72、バレーボール同好会、富士見サッカークラブ、フットサル同好会TOGETHER、舞踏研究会、レインディアスキークラブ、ローバース部

【古典芸能系】茶道研究会、三曲会、書道会、能楽研究会、落語研究会

【ボランティア系】IVUSA、ACIプロジェクト、キャンパス・エコロジー・フォーラム、児童文化研究会、手話サークル「わたがし」

【学術系・その他】広告研究会、志法会、志雄会、心理学研究会、戦史研究会、地学会、天文研究会、橙青会、日本文学研究会、Hi-C Orange、文学研究会、歴史研究会

●多摩キャンパス

ASA-MAC'S、エッグマガジン編集部、手話サークルちゅらたま、Jazz Study Club、水泳同好会マリンプルー、センギ、ソフトテニス同好会STLS、多摩演劇研究会、多摩茶道サークル、多摩中留会、たまばら、多摩モルックサークルグラフィティ、ダンスミュージック研究会、トライアスロンチームAfro-Q、はもるぶ、Film Making Club、FiTus、Free Music Society、弁論部、法政大学サーフライフセービングクラブ、HOSEIスポーツチャンバラ、Voice Of Winds、漫画美術研究会 白い家、よせがに

●小金井キャンパス

【技術系】機械研究会、計算技術研究会、航空工学研究会、自動車研究会、電気研究会、農業サークルめぐり

【スポーツ系】空手部、スキー部、剣道部、硬式野球部、柔道部、水泳部、ワンダーフォーゲル部、サッカー部、ボクシング部、ソフトテニス部、硬式庭球部、陸上競技部、卓球部、バスケットボール部、少林寺拳法部、バレーボール部、ラグビー部、アメリカンフットボール部、合気道部、アルティメット部

【文化系】ウェスタンプレイボーイズ、工学部マンドリンクラブ、小金井Groovy、サイクリング部、作曲研究会、写真技術研究会、将棋部、鉄道研究会、放送研究会、ポケモンだいすきクラブ(小金井)、漫画研究会、ロック研究会



アカデミー合唱団



スケート部(アイスホッケー部門)



応援団



ラグビー部



自転車競技部



フェンシング部



テニス部



野球部

(写真の一部はスポーツ法政新聞会から提供)

学費と休学・退学について／各種の届・願の提出先

学費と休学・退学について

学費の納付	春学期	納入期限 4月30日	財務課 03-3264-9270
	秋学期	納入期限 9月30日	

	「願」提出時期・期限		学費について	その他
	休学	年間	5月31日	休学在籍料 10万円
春学期		5月31日	休学在籍料の半額・5万円	
退学	秋学期	10月31日		
	各期学費納入者			退学許可日:前年度3月31日付
	春学期	5月31日		退学許可日:9月15日付
	秋学期	10月31日		

各種の届・願の提出先

事項	ひとこと	取扱窓口	電話番号
学生および保証人の住所、緊急連絡先の変更	情報システムから変更申請してください	学生証裏面シールは所属学部(小金井は学生生活課)窓口で変更してください。	市ヶ谷、多摩:所属学部事務課→裏表紙参照 小金井:042-387-6010
落とし物・拾い物盗難、被災事件・事故	各窓口申し出てください	各キャンパス学生生活課	市ヶ谷:03-3264-9476 多摩:042-783-2152 小金井:042-387-6010
学生証再発行	手数料2000円。悪用のおそれがあるため、紛失時は必ず警察に届けてください	所属学部事務課・担当	所属学部事務課 →裏表紙参照
休学・退学・復学	「願」を提出してください。		
学生の氏名変更・保証人の変更	必要書類を提出してください。		
健康診断証明書(大学診療所で健康診断受診済の学生のみ申請可)	1通 200円	4年:証明書自動発行機 1~3年:各キャンパス診療所	証明書自動発行機については下記参照

■証明書自動発行機

証明書の多くは、各キャンパスに設置されている証明書自動発行機で取得できます。利用には学生証が必要です。機能は各キャンパス共通のため、通学しているキャンパス以外でも利用できます。

キャンパス	設置場所	取扱時間
市ヶ谷	大内山校舎1階	月~金 9:00~21:00 土 9:00~17:00
	市ヶ谷田町校舎2階	月~金 9:00~17:00
	新一口坂校舎1階	月~金 9:00~18:40 土 9:00~17:00
	大学院棟1階	月~金 9:00~17:00 土 9:00~12:00
多摩	各学部事務室前	月~金 9:00~17:00 土 9:00~12:00
小金井	管理棟2階学部事務室前	月~金 9:00~17:00

上記の時間は、授業実施期間の取扱時間です。授業期間外の取扱時間や取扱停止日は、大学ホームページでご確認ください。

奨学金制度

I. 法政大学独自の奨学金(給付:返還不要)

1. 経済的支援を目的とした奨学金制度

奨学金の名称	金額(年額)	採用予定者数	採用学年	(募集予定期)問合せ先	応募・採用条件	
鈴木勝喜奨学金	50万円を上限	30名	2~4年生	(6月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	学業成績が極めて優れ、教育上経済的援助が必要な者(留学生を除く)。ただし株式会社エイチ・ユー奨学金は留学生も対象とする 修得単位数基準は、前年度の修得単位数が教職資格科目を除き35単位以上(ただし理工系学部の4年生は30単位以上の者)、その中でも特に成績が優れ(所属する学部科学年の中で前年度GPAが上位25%以内)、かつ経済的に非常に困難な者を採用	
福田明安奨学金	30万円を上限	若干名	2~4年生			
一般社団法人法政大学校友会奨学金	文系25万円 理工系30万円を上限	若干名	2~4年生			
学友会奨学金	文系25万円 理工系30万円を上限	若干名	2~4年生			
大成建設株式会社奨学金	文系25万円 理工系30万円を上限	若干名	2~4年生			
株式会社エイチ・ユー奨学金	文系20万円 理工系25万円を上限	40名程度	2~4年生			
法政大学後援会クラブ奨学金	25万円を上限	若干名	2~4年生			
桑田道子奨学金	25万円を上限	若干名	2~4年生			
法政大学サポーターズ奨学金	20万円を上限	120名程度	2~4年生			
新・法政大学100周年記念奨学金	文系20万円 理工系25万円	170名程度	1~4年生			(10月)厚生課 多摩・小金井学生生活課
法政大学評議員・監事奨学金	25万円を上限	若干名	1年生			
公益財団法人日本厚生文化振興財団記念奨学金	25万円を上限	若干名	1年生			
法政大学後援会支部出身学生支援奨学金	20万円を上限	若干名	1年生			
法政大学吉田育英会奨学金	文系20万円 理工系25万円	若干名	1~4年生			
法政大学後援会奨学金	文系25万円 理工系30万円	若干名	1~4年生	(6月・11月)厚生課 多摩・小金井学生生活課		
林忠昭奨学金	文系30万円 理工系35万円	若干名	1~4年生			
法政大学生協同組合奨学金	20万円	若干名	1~4年生			
法政大学家計急変学生支援奨学金	25万円	若干名	1~4年生			
新谷 皇奨学金	15万円	若干名	1~4年生			

*「株式会社エイチ・ユー奨学金」「新・法政大学100周年記念奨学金」について、留学生はグローバル教育センター事務部へお問い合わせください。

2. 学業、スポーツ、芸術、ボランティア活動など各分野で優秀な学生を奨励する制度

奨学金の名称	金額(年額)	採用予定者数	採用学年	(募集予定期) 問合せ先	応募・採用条件	
「開かれた法政21」奨学・奨励金	チャレンジ法政奨学金 (入試出願前予約採用型給付奨学金)	入学時 文系38万円 理工系43万円 2~4年生の継続時 文系20万円 理工系25万円	1年生 2~4年生は、継続のための審査あり	学生センター 厚生課	東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県以外の国内高等学校または中等教育学校出身者で、各申請資格を満たす者。入試出願前に採用が決定する。一般選抜の入学試験で合格し、入学した者に給付する。2年生以上は継続審査あり。	
	成績最優秀者奨学金	30万円	300名	2~4年生	—	
	認定海外留学奨学金	30万円	15名以内	2~4年生	グローバル教育センター	単位認定が受けられる大学の認定海外留学生。採用者には別途「後援会認定海外留学奨学金」10万円が支給されます。 ※半期留学の場合、半額となります。
	スポーツ奨励金	競技成績に応じて20万円または40万円	応募・採用条件を満たす者	1~4年生	(12月) 保健体育センター 市ヶ谷体育課	スポーツの分野において優秀な成績をおさめた者(主に体育会所属学生を対象。但し、オリンピック競技大会・パラスピックス競技大会の競技種目に限り、体育会に所属していない学生も応募可)。(注)法政大学学生特別表彰とは併給できません。
	学術・文化奨励金	30万円を上限	20名(団体)以内	1~4年生	(11月)市ヶ谷・多摩・小金井 学生生活課	学術・研究・ボランティア活動・文化・芸術・芸能・スポーツ等の分野で秀でた業績をあげた者または団体 スポーツ分野は体育会以外・オリンピック競技以外の者
指定試験合格者奨励金	40万円	応募・採用条件を満たす者	1~4年生	(11月)厚生課 多摩・小金井 学生生活課	当該年度中に司法試験予備試験、公認会計士試験、国家公務員採用総合職試験、税理士試験(全科目合格)、弁理士試験、司法書士試験に合格した者	
L・U奨学金	L・Uキャリア・アップ奨励金	5万円	応募・採用条件を満たす者	1~4年生	(6・1月) 厚生課 多摩・小金井 学生生活課	当該年度中に気象予報士試験、行政書士試験、高度情報処理技術者試験(プロジェクトマネージャ試験、システムアーキテクト試験、ITストラテジスト試験、ITサービスマネージャ試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、ネットワークスペシャリスト試験、システム監査技術者試験)、情報処理安全確保支援士試験、社会保険労務士試験、税理士試験(複数科目合格者に在学中1回のみ給付)、中小企業診断士試験、通訳案内士試験、不動産鑑定士試験に合格した者 高度情報処理技術者試験と情報処理安全確保支援士試験の両方に合格した場合でも在学中1回のみ給付です。
	団体スポーツ奨励金	20~100万円	応募・採用条件を満たす団体	1~4年生	(12月) 保健体育センター 市ヶ谷体育課	{体育会対象}団体スポーツにおいて優れた成績を収めた団体 ※団体競技の場合：全日本学生(大学)選手権レベル以上の大会で優勝または準優勝またはベスト4の成績をおさめたチーム ※個人競技における団体戦及び団体戦で種目別の場合：全日本学生(大学)選手権レベル以上の大会で優勝したチーム (注)対象の競技、大会は保健体育センターに問い合わせてください。
派遣留学奨学金	派遣先により A.100万円 B.70万円	応募・採用条件を満たす者	3~4年生	(6・10月) グローバル教育センター	派遣留学に関する詳細についてはグローバル教育センターに問い合わせてください。 ※給付金のうち20万円は法政大学後援会からの助成額です。 ※半期留学の場合、半額となります。	
法政大学グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金	50万円 (条件付入学者は25万円)	若干名	2~4年生	(5・12月) グローバル教育センター	認定海外留学に決定した者のうち、海外一流大学の正規課程に入学許可・条件付入学許可を受けた者 詳細はグローバル教育センターに問い合わせてください。 ※半期留学の場合、半額となります。	
法政大学海外留学ファースト・チャレンジ奨励金	5万円を上限	40名程度	1~2年生 (出願時)	(5月・9月・11月) グローバル教育センター	夏季、冬季及び春季休業期間中に学外機関主催の海外留学・研修プログラム(オンライン形式含む)に参加・修了した者	
法政大学グローバル奨学支援金	文系20万円 理工系25万円	3名程度	2~4年生	(9月) グローバル教育センター	経済的な事情により、学業の継続が困難である在留資格「家族滞在」を有する外国籍学生	

3. 各学部独自の奨学・奨励金

奨学金の名称	金額(年額)	採用予定者数	採用学年	応募・採用条件
文学部英文学SA奨学金	(夏期)5万円程度 (秋学期)20万円程度 SA先年の人数やその他の奨学金の受給状況により変動あり	(夏期)25名 (秋学期)28名	(夏期) 1~4年生 (秋学期) 2~4年生	SA参加決定者で、審査の結果承認された者
文学部哲学科「国際哲学特講」履修に伴う海外体験学習実習費補助金	5万円を上限に 実習費等の25%まで	20名以内	2~4年生	哲学科生のうち、「国際哲学特講」海外研修参加者 (「国際哲学特講」は定員制で20名まで履修可能)
経営学部SA奨学金				2025年度以降プログラム再開予定のため、留学先・費用については未定です。
経営学教育・研究振興資金 成績優秀者奨励金	10万円	3名	4年生	経営学部3年次修了時点で120単位以上(教職・資格科目を除く)を修得した東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県以外の道府県出身の累積成績優秀者【指名制】
国際文化学部SA奨学金	(A)25万円 (B)(C)60万円を上限にSA先毎に決定	(A)全員 (B)68名 (C)5名 (2023年度実績)	当該年度 SA参加者	(A)SA参加決定者全員 (B)(A)のうち特に学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者((A)に加算) (C)(A)のうち特に教育上経済的援助が必要な者((A)に加算)
国際文化学部SJ奨学金	10万円を上限に実費支給	全員	当該年度 SJ参加者	SJ参加決定者全員 (SJとは国際文化学部の外国人留学生を対象にした国内研修制度です。)
人間環境学部SA奨学金	SA費用総額の30%程度	10名程度	当該年度 SA参加者	SA参加決定者で、審査の結果承認された者
人間環境学部社会人奨学金	当該年度の授業料半額相当額	5名	1~4年生	社会人入学者のうち、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者
人間環境学部 海外フィールドスタディ奨励金	9万円を上限とし、 研修費等の50%まで	55名	当該年度 海外FS参加者	海外フィールドスタディへの参加に強い意志を持ち、選考により決定した者 本奨励金の給付は、在籍中1回限りとする。
井上春生記念 国内フィールドスタディ奨励金	4,500円を上限	応募資格を満たすもの	1~4年生	人間環境学部内に在籍し、国内フィールドスタディに参加した者
キャリアデザイン学部 キャリアアップ奨励金	受講料等の補助：区分A上限20万円 / 区分B上限5万円 受講料等の補助：上限2万円	40名程度	1~4年生	給付対象となる講座・資格等を修了もしくは取得した者 (左記、上限の範囲内で一部又は全部を補助)
キャリアデザイン学部 「海外キャリア体験学習」 実習費補助金	20万円を上限とし、 実習費等の50%まで	各コース10名	2~4年生	「キャリア体験事前指導(国際)」履修者
キャリアデザイン学部 体験型実習費科目に係る実習 費補助金	上限2万円(詳細はキャリアデザイン学部へ問合わせのこと)	100名程度	2~4年生	「キャリア体験学習」「キャリアサポート実習」「地域学習支援II」履修者
キャリアデザイン学部SA奨学金	旅費総額の30%程度	10名程度	2~4年生	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
GIS OAS奨学金	(A)短期：50万円 長期：100万円 (B)短期：10万円または20万円 長期：10万円または40万円	(A)全員 (B)20名程度	当該年度 OAS参加者	(A) OAS参加決定者全員 (B)(A)のうち特に学業成績が優れている者((A)に加算)
経済学部SA奨学金	前年度旅費総額の30%程度を上限とする金額	42名程度	当該年度 SA参加者	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
社会学部SA奨学金	旅費総額の30%程度を上限とする金額	30名程度	当該年度 SA参加者	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
現代福祉学部国内研修奨励金	3万円を上限に交通費等の相当額	約30名程度	1~4年生	研修計画が学部審査を通過した者。研修終了後、レポート提出あり
現代福祉学部海外研修奨励金	20万円を上限に研修費等の60%まで	30名	2~4年生	研修参加への強い意志を持つ者のうち、学業成績が優れ、選考試験により参加が決定した者
理工系学部教育・研究振興基金 奨学金	5万円	各学科1名	3年生	理工系学部の2年次までの累積成績優秀者【指名制】
理工学部SA奨学金	10万円または15万円	30名程度	1~4年生	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
生命科学部SA奨学金	10万円または15万円	20名程度	1~4年生	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
スポーツ健康学海外演習奨励金	研修費等の30%まで	22名	2・3年生	スポーツ健康学海外演習参加決定者

※募集、選考等については各学部事務に直接お問い合わせください。

4. 冠奨学金(寄付者の名称を冠して設立された給付型の奨学金制度です)

奨学金の名称	金額(年額)	採用予定者数	採用学年	(募集予定期) 問合せ先	応募・採用条件
牧野奨学金	25万円	若干名	2~4年生	(10月) 厚生課	文学部に在籍し、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者
法政大学経営学部 赤坂優奨学金	25万円	若干名	2~4年生	(4月) 経営学部	経営学部に在籍し、起業に強い関心を有する、学業成績が優秀な者
法政大学現代福祉学部 和ちゃん奨学金	15万円	若干名	2・3年生	(7月) 現代福祉学部	現代福祉学部に在籍し、学業成績が優れ、障がい福祉に強い関心を有する者
法政大学大成建設株式会社 ベトナム友好奨学金	授業料相当額等	若干名	1年生	(4月) グローバル教育センター	デザイン工学部(建築学科・都市環境デザイン工学科)に入学するベトナム国籍の留学生
株式会社エイチ・ユー 航空操縦学専修奨学金	35万円	6名	3年生	(10月) 理工学部 航空操縦学担当	航空操縦学専修3年で事業用課程の訓練を受ける教育ローンを借用している者。支給、申請条件は航空操縦学担当に問い合わせください
人間環境学部井上春生記念 国内フィールドスタディ 奨励金	1,500~4,500円 国内フィールドスタディの各コースの研修費等の額に応じた額を給付する。	約200名	1~4年生	人間環境学部	人間環境学部に在籍し、国内フィールドスタディに応募する者。修了者に対し、研修費の一部を給付する。

※P.23に掲載の鈴木勝喜奨学金、福田明安奨学金、一般社団法人法政大学校友会奨学金、大成建設株式会社奨学金、株式会社エイチ・ユー奨学金、法政大学後援会クラブ奨学金、桑田道子奨学金、法政大学サポーターズ奨学金、法政大学評議員・監事奨学金、公益財団法人日本厚生文化振興財団記念奨学金、法政大学後援会支部出身学生支援奨学金、法政大学吉田育英会奨学金、法政大学後援会奨学金、林 忠昭奨学金、法政大学生協同組合奨学金、新谷 皇奨学金、P.25の井上春生記念国内フィールドスタディ奨励金も冠奨学金です。

5. 私費外国人留学生対象の奨学金

奨学金の名称	金額(年額)	採用予定者数	採用学年	(募集予定期) 問合せ先	応募・採用条件
法政大学国際交流基金(HIF) 外国人学部留学生奨学金	文系20万円 理工系25万円	15名程度	2~4年生	(4月) グローバル教育センター	学部に入学者・在籍する学業・人物ともに優秀な私費外国人留学生 ※人数および金額は予定です。
法政大学指定国留学生 奨学金	30万円	10名程度	1年生	(9月) グローバル教育センター	ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムのいずれかの国からの優秀な私費外国人留学生

II. (独)日本学生支援機構奨学金(貸与：卒業後に返還必要)

URL <http://www.jasso.go.jp/>

国の奨学機関である「(独)日本学生支援機構」が、有為な人材の育成と教育の機会均等をはかることを目的とした貸与型奨学金制度です。卒業後に返還が義務付けられています。春(4月)と秋に申し込みができます。日本学生支援機構奨学金についての詳細は、ホームページも参照してください。

1. 定期採用奨学金

種類・貸与額(月額)

奨学金の種類	金額(月額)
第一種奨学金(無利子)	自宅通学者：月額20,000円・30,000円・40,000円・54,000円から選択(*貸与額変更可) 自宅外通学者：月額20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・64,000円から選択(*貸与額変更可) ただし、2017年度以前入学者は、下線の月額から選択
第二種奨学金(有利子)	通学形態を問わず、 *利率は年3.0%を上限(利率固定方式、利率見直し方式のいずれかを選択) *在学期間中は無利息です 月額20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円から選択 (*貸与額変更可)

【参考】2024年3月貸与終了時利率(利率固定方式0.940%、利率見直し方式0.400%)
※2018年度以降入学者について、第一種の最高貸与月額は第一種・第二種併用貸与の基準を満たした者のみ対象

2. 緊急採用・応急採用奨学金(貸与型)(随時受け付け)

対象は、家計急変の事由が発生してから12カ月以内の方(外国人留学生を除く)で、随時受け付けています。

【緊急採用奨学金(無利子)】

貸与額は日本学生支援機構奨学金の「第一種奨学金」と同一です。貸与開始月は、家計急変の生じた月以降で、申込者が希望する月とし、卒業時まで貸与可能です。

【応急採用奨学金(有利子)】

貸与額は日本学生支援機構奨学金の「第二種奨学金」と同一です。貸与開始月は、家計急変の生じた月以降で申込者が希望する月とします。ただし、家計急変の事由が生じた月が5月以降の場合は、同じ年度の4月までさかのぼることができます。卒業時まで貸与可能です。

3. 留学時特別増額貸与奨学金(一時金)

本学のSA、OSAプログラムや派遣留学などの短期留学(3カ月以上1年以内)に行く場合に、申請によって受給できる奨学金(一時金)です。ただし、申請できるのは日本学生支援機構奨学金の第一種または第二種を受給中の方に限りますので、「留学時特別増額貸与奨学金」の受給希望者は、留学前に定期採用で貸与奨学金を申請してください。

※単位認定のない私費留学は申請の対象外です。

4. 学部卒業後の海外留学用奨学金

大学を卒業後、海外の大学院へ学位取得を目的とした進学を希望している人を対象にした第二種奨学金(有利子)の予約も扱っています。詳細は各キャンパスの奨学金担当窓口へお問い合わせください。

III. 高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金と授業料・入学金減免)

URL <https://www.jasso.go.jp/>

日本学生支援機構奨学金の給付奨学金と、国からの授業料・入学金の減免の両方が受けられる国の支援制度で、春(4月)と秋に申し込みができます。ただし、予期せぬ事由により家計急変が生じた場合は、随時相談を受け付けています。採用されるには、学業基準、収入基準など、いくつかの基準を満たす必要があり、採用後も資格審査があります。

学校種	区分※1	給付奨学金(月額)		入学金減免(入学時のみ)	授業料減免(年額)※3
		自宅通学※2	自宅外通学		
私立大学	第I区分	38,300円(42,500円)	75,800円	240,000円	700,000円
	第II区分	25,600円(28,400円)	50,600円	160,000円	466,700円
	第III区分	12,800円(14,200円)	25,300円	80,000円	233,400円
	第IV区分(多子世帯)	9,600円(10,700円)	19,000円	60,000円	175,000円
	第IV区分(理工農系)	0円※4	0円※4	86,700円	233,400円

※1 区分は世帯構成や年収によって変わります。第I区分は住民税非課税世帯が対象です。
 ※2 生活保護(扶助の種類は問いません)を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人は上表の()内の金額となります。
 ※3 国際文化学部2年生は授業料減免額が異なります。
 ※4 第IV区分(理工農系)は授業料減免のみの支援で、給付奨学金の支給はありません。

IV. 民間奨学財団奨学金(給付または貸与)・地方公共団体奨学金(貸与)

【民間奨学財団奨学金】

民間奨学財団が募集する奨学金で、給付型(返還不要)と貸与型(返還必要)があります。

【地方公共団体奨学金】

地方公共団体の教育委員会等が募集する貸与型奨学金(返還必要)です。大学を通さず、個人で申請できるものもありますので、出身地の教育委員会などへお問い合わせください。

※募集は4月上旬に集中しますので、希望者は法政ポータルサイトHoppiiのWeb掲示板「その他のお知らせ」で確認し早めにお申込みください。閲覧には、学生本人の統合認証によるログインが必要です。

V. 国の教育ローン

日本政策金融公庫が取り扱う融資制度です(年利2.25% 2024年3月7日現在)。銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協の窓口でも取り扱っています。詳細については、以下の教育ローンコールセンターに直接問い合わせてください。保護者(家計支持者)の方が各金融機関などに直接申し込み・契約をします(随時)。大学への連絡は不要です。

日本政策金融公庫
教育ローン
コールセンター

ナビダイヤル 0570-008656 TEL 03-5321-8656

※日曜日・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)はご利用いただけません。

受付時間 月～金 9:00～19:00

URL <http://www.jfc.go.jp/>

VI. 短期貸費金

財布を紛失するなどの緊急時のための貸費制度です(大学院・通信教育部生は除く)。所定の申請書および誓約書の提出が必要です。貸費金額は10,000円以内で、返済期限は貸費を受けた日から1カ月以内です。詳細は各キャンパスの奨学金担当窓口へ問い合わせてください。

VII. 奨学金を受給する上での注意事項

各種奨学金を受給中または貸与中に学籍異動(休学・退学・除籍・留級・停学など)が生じた場合、奨学金の全額または一部を返金していただくことがあります。学籍異動が生じた場合は、各キャンパスの奨学金担当窓口まで必ず申し出てください。

奨学生として採用された後も各種手続きが必要です。HoppiiのWeb掲示板「その他のお知らせ」や情報ポータルサイトの見落としに気をつけてください。

VIII. 奨学金担当窓口

奨学金制度についてご不明な点は、下記の担当窓口までお問い合わせください。

対象	担当窓口	連絡先
法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン・デザイン工・グローバル教養学部 に所属する学生	学生センター 厚生課 (市ヶ谷キャンパス外濠校舎1階)	03-3264-9486
経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部 に所属する学生	学生センター 多摩学生生活課 (多摩キャンパスEGG DOME2階)	042-783-2151
情報科・理工・生命科学部に所属する学生	学生センター 小金井学生生活課 (小金井キャンパス管理棟2階)	042-387-6011
外国人留学生	(市ヶ谷キャンパス) グローバル教育センター (大内山校舎2階)	03-3264-5475
	(多摩キャンパス) 多摩事務課グローバル担当 (総合棟地下1階)	042-783-2130
	(小金井キャンパス) 学務課グローバル担当(管理棟3階)	042-387-7018

診療所／健康診断

診療所

充実した学生生活を過ごすために、健康管理は不可欠です。本学の各キャンパス設置の診療所は、医師、看護師あるいは保健師が常駐し、診療、健康診断、健康相談等を実施しています。

体調不良時、けがをした時あるいは健康についての

相談がある時は、診療所を利用してください。

●授業期間外(夏休み等)は、診療時間等が短縮になります。法政大学ホームページなどでご確認ください。

●市ヶ谷診療所と多摩診療所の診療受診時には、「健康保険証」が必要ですので、必ず持参してください。

診療所	診察受付時間 (授業期間外は短縮)	場所	電話番号
市ヶ谷	月～金 10:00～11:15 12:30～16:45	ボアソナード・タワー2階	03-3264-9503
多摩	月 13:00～15:45	1号館(総合棟)1階	042-783-2161
	火～金 10:00～11:15 12:30～15:45		
小金井	月～金 12:30～16:45	管理棟4階	042-387-6051



市ヶ谷キャンパス



多摩キャンパス



小金井キャンパス

健康診断

毎年春学期ガイダンス期間中に、健康診断を実施しています。年に一度の健康チェックの機会ですので、必ず受診してください(所属キャンパスでの受診となります)。当該年度に体育実技科目受講予定の場合、とくに受診を勧めます。

この健康診断により、病気の早期発見をはかり、病状等に応じて健康指導・検査・専門病院紹介などを行っています。過去、自覚症状のない病気がこの健康診断で発見されたケースもありますので、充実した学

生生活を過ごすためにも、この機会をぜひ上手に活用してください。

また、健康診断を受けた方は、「健康診断証明書」の発行が可能になります(1通につき発行手数料200円)。この証明書は、就職活動、実習参加、合宿等各種プログラム参加に必要な場合がありますので、発行希望者は必ず健康診断を受診してください。

学生相談室

法政大学 学生相談室



学生相談室は、学生が大学生活で直面する様々な問題について、解決の糸口を探し、よりよい「次の一步」を踏み出せるようお手伝いをしています。各キャンパスに

設置され、相談したいことがあって困っているとき、気軽に利用できるようになっています。

【学生相談室よりご家族の方へ】

大学生になるということは、お子さんにとって、自らの時間やお金の使い方・生き方、人付き合いで何を大事にしていくかなどについて考え、自律性を獲得する機会であり、知的な刺激を受けて見識を広げ、より多様で豊かな人間関係に入って行く経験を通し、成長するチャンスでもあります。

一方で、大きな環境変化を体験するときには、誰もストレスを感じるものです。自立を目指す過程で、自分が何にストレスを感じやすく、それにどう向き合っていくかを学ぶのは大切なことですが、青年期においては、その対処法を身につける前に混乱に陥ったり、現実への適応が困難になることもあります。そのような時に、親としてどこまで、どのように手を貸したらいいのか、悩まれる方も多いのではないのでしょうか。

例えば、食欲がない、眠れない様子、口数が少なくなる等、今までとの変化に注意し、「普段と違う様子かも」と気づいたら、ご本人に声をかけ、話を聞いてあげてください。ご家族の関わりだけではご本人の状況が改善しないときや、ご本人についてご家族として心配ごとがあるときは、保護者が学生相談室を利用することもできます。

法政大学では、年間約700人の学生(3キャンパス合計)が、学生相談室を利用しています。お子さんの大学生活がより豊かで充実したものになるように、どのようにサポートしていくのがよいか、一緒に考えていきましょう。

■家族の方の学生相談室利用について(Q&A)

Q. 学生の家族も相談できますか？

A. 学生に関する相談内容であれば、保護者の方も相談可能です。

Q. 利用の仕方を教えてください。

A. 電話で予約していただきます。

予約時にご利用の仕方をご案内いたします。学生と一緒にご利用になることもできます。

キャンパス	受付時間	場 所	電話番号
市ヶ谷	月～金 9:00～17:00 昼休み 11:30～12:30	富士見坂校舎4階	03-3264-9493
多 摩	月～金 9:30～16:30 昼休み 11:55～12:55	1号館(総合棟)2階	042-783-2158
小金井	月～金 9:30～16:30 昼休み 11:30～12:30	管理棟4階	042-387-6050

Q. どのような人が話を聞いてくれるのですか？

A. 臨床心理士の資格をもつカウンセラーがお話を伺います。必要な場合には、精神科医師、関係教職員などと調整して進めることもあります。

利用は無料です。原則として個人の秘密は守りますので、安心して相談してください。

障がい学生支援室

URL https://www.hosei.ac.jp/shogai_shienschitsu/

大学では、様々な障がいを持った学生が学んでいます。

障がい学生支援室では、障がいのある学生がその他の学生と同等に学べる環境の実現をめざして、「授業支援」を中心にサポート活動を行っています。

こうした支援活動のほとんどは学生サポートスタッフによって支えられており、学生サポートスタッフ

は、ノートイテック講座などの必要な講習を受けたいうえでサポートが必要な学生の授業に派遣されています。

支援室では、障がいのある学生の履修支援とともに、サポートにあたる支援学生の双方がともに成長できるコミュニティーづくりを目指しています。

なお、学生サポートスタッフへは、活動に応じた謝礼が大学から支払われています。

支援室の主な活動

支援室の主な活動は以下のとおりです。

- ・障がいのある学生との個別面談
- ・ひとりひとりの学生に合った講義保障の手配
- ・定期試験や授業内試験時の配慮
- ・教員への配慮事項の伝達
- ・進路・就職の支援(担当部局への要請)
- ・各種講習会の実施 など

キャンパス	場所	電話	開室時間	メールアドレス
市ヶ谷	外濠校舎 1階	03-3264-6718	[月～金] 9:00～17:00 (昼休み 11:30～12:30)	ishien@hosei.ac.jp
多 摩	総合棟 2階	042-783-4038	[月～金] 9:00～17:00 (昼休み 11:30～12:30)	tmshien@hosei.ac.jp
小金井	管理棟 2階	042-387-4556	[月～金] 9:00～17:00 (昼休み 11:30～12:30)	kshien@hosei.ac.jp

ハラスメント相談室

法政大学 ハラスメント相談室



本学は、キャンパス(教育・研究、修学、就労環境)におけるハラスメント防止・対策体制の整備に取り組んでいます。

ハラスメントのない環境を目指して、専門相談員が相談を受け、相談室内の複数のスタッフで協議しながら一緒に問題の改善方法を考えます。また、全学組織であるハラスメント防止・対策委員会に対する申立てのサポートもします。面談にはご本人と一緒にご家族や信頼できる友人、教職員等と来室することもできます。相談室スタッフには守秘義務が課されており、相談者にとりわりなく相談内容が相談室の外部にもれることはありませんので、安心してご相談ください。

本学のハラスメント防止・対策については、大学ホームページにて詳細を公開しております。

場所：市ヶ谷キャンパス

E-mail : stopharass@hosei.ac.jp (推奨)

TEL.03-3264-4409 FAX.03-3264-4410

【受付時間】

月～金 9:30～11:30 12:30～16:30
(11:30～12:30は応相談)

土日祝は閉室

※相談は面談を基本としています。事前予約制です。

大学ホームページの「相談申込書」をご活用いただき、メール、FAX等で送付してください。

※小金井・多摩キャンパス在籍生のご相談は市ヶ谷キャンパスでお受けする他、オンライン(ZOOM等)や出張による相談もご利用いただけます。

法政大学学生教育研究災害傷害保険(略称:学研災)について

法政大学後援会による大学への寄付金を基に始められたもので、学生の教育研究活動中の事故に備えて、学部生および大学院生を対象として上記保険に加入しています。この保険の対象となる傷害は、被保険者(学

生)が在籍する大学の教育研究活動中に生じた偶発的な事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。ただし、「病気」についてはこの保険の対象となりません。

1. 保険の対象範囲および概要

- ①正課授業中の事故：講義・実験・演習・実技などの授業を受けている間、および指導教員の指示に基づき研究活動を行っている間の傷害事故
- ②大学行事中の事故：入学式・大学祭・体育祭・学位授与式など学校行事中の傷害事故
- ③大学施設内の事故：授業間の休憩中、昼休み中など大学施設内にいる間の傷害事故
- ④課外活動中の事故：大学に登録されたクラブやサークルなど課外活動中の事故
- ⑤通学中・学校施設等相互間の移動中の事故

	正課授業中の事故 大学行事中の事故	大学施設内の事故 課外活動中の事故	通学中・学校施設等 相互間の移動中の事故
死亡	1,200万円	600万円	600万円
後遺傷害	傷害の程度により 72万円～1,800万円	傷害の程度により 36万円～900万円	傷害の程度により 36万円～900万円
医療	治療日数1日から対象、 治療日数により3,000円～30万円	治療日数14日以上が対象、 治療日数により3万円～30万円	治療日数4日以上が対象、 治療日数により6,000円～30万円
入院(日額)	4,000円	4,000円	4,000円

2. 取り扱い部局について

	法・文・経営・国際文化・人間環境・ キャリアデザイン・グローバル教養	経済・社会・ 現代福祉・スポーツ健康	情報科・ 理工・生命科	デザイン工
体育実技を除く 正課授業中の事故	各所属学部担当 (電話番号は裏表紙参照)	各学部事務課 (電話番号は裏表紙参照)	小金井 学生生活課 042-387-6010	デザイン工学部 担当 03-5228-1347
体育実技中および 体育会活動中の事故	保健体育センター			
	03-3264-9497	042-783-2732		
大学施設内および課外活動中 の事故/通学・移動中の事故	市ヶ谷学生生活課 03-3264-9478	多摩学生生活課 042-783-2152		

3. 保険金が支払われない傷害および事故

故意、闘争行為、疾病、大学施設外および課外活動中で特に危険度の高い運動等(山岳登山、スカイダイビング等)の傷害は、保険金が支払われません。

地震など天災による傷害、放射線・放射能などによる傷害についても原則として保険金は支払われません。

4. 注意事項

- ①上記の事故に該当する場合は、事故発生日から1カ月以内に取扱部局(上記参照)へ申し出が必要です。
- ②詳細は、入学時に配付の「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を参照してください。

トラブルに巻き込まれないために

トラブルが生じたときの連絡先 <各学生センター学生生活課>

市ヶ谷 TEL: 03-3264-9476 多摩 TEL: 042-783-2152 小金井 TEL: 042-387-6010

ここでは会員の皆さまや学生諸君の身近に潜むトラブルの危険について共有しておきます。

■ 18歳成人・契約 高額な買い物・無理な契約には注意!

成人になってからの契約の責任は自分自身にあります。高額な買い物や長期継続サービス(脱毛サロンや美容エステ等)の契約に際しては、即断せず、時間をかけて考え直すようにしましょう。万が一、消費者トラブルに巻き込まれてしまった際は、消費生活センターや消費者ホットライン(188)に相談するようにしてください。

■ マルチ商法 お金に関する勧誘には注意!

「FXや先物取引に関わる会員制投資ソフト(USB)を買いませんか。」等とマルチ商法の勧誘を受け、学生ローンで借金をして40～50万円という高額な金額の契約をしてしまったという相談が学生センターに多数寄せられています。しかし、そのようなソフトを購入しても投資自体がうまくいかず、さらに投資に充てる元手が無い、投資に専念できる時間が無い等の理由で、結局ソフトの購入代金そのまま損失となり、多額の借金を抱えてしまうというケースが殆どです。その結果、友人を紹介することで得られる5万円のキックバック欲しさに、大事な友人を同じ苦境に追い込んでいくことになります。

また、効率的な副業を紹介するとして、団体への参加を誘われたという相談も受けています。14万円前後という高額な入会金、友人を紹介した際のキックバック等、その仕組みはよく似ています。

法政大学ではそのような営業・勧誘行為は大学内での人間関係を破壊し、健全な大学生活を損なうものとして厳しく禁止しています。また、他大学の学生の保護者から「法政大学の学生から勧誘を受けた。」という苦情も寄せられていますので、このような行為には絶対に加担しないでください。

■ 学生証・パスワード

学生証の取り扱いについても注意してください。とくに20歳未満の学生が飲食店で年齢を詐称するため

に「学生証を偽造」していたという苦情が相次いでいます。学生証の偽造は、「私文書偽造」という刑事罰をとるような犯罪行為です。また、SNS等に学生証の画像をアップロードすることで、詐欺に利用されるという深刻なトラブルも発生しています。安易にアップロードをしないでください。

パスワードの管理にも注意してください。友人のパソコンでパスワードを入力し、のちにその友人によってパスワードが悪用されたというトラブルも発生しています。

■ 飲酒・喫煙・ギャンブル

20歳未満の飲酒・喫煙・ギャンブルはダメ!

成人年齢は18歳に引き下げられましたが、20歳未満の方の飲酒・喫煙・ギャンブル(競馬・競輪といった公営競技)については法律により禁止されています。他人から勧められても断る勇氣を持ってください。

また、20歳未満の人に飲酒を勧める行為は犯罪です。成年・未成年を問わず、毎年、飲酒によって大学生が死亡しています。泥酔し、事件・事故に巻き込まれることも少なくありません。自分の身は自分で守るしかありませんので、成人であっても節度を守るよう強く訴えます。

なお、各キャンパスともキャンパス内は原則として飲酒禁止です。また、大学周辺の公共の場での集団飲酒は迷惑行為になりますので、絶対に行わないでください。

■ 学外組織による勧誘 執拗な勧誘には注意!

「カルト宗教」と呼ばれる組織や、「過激派」と呼ばれる政治セクトなどから執拗な勧誘を受けているという相談が寄せられています。連絡先を教えてしまったため、強圧的な勧誘を繰り返し受けることになり、さらには自宅にまで構成員が押しつけてきた、といった事例も報告されています。

カルト的な宗教組織が「SDGs」「ボランティア」「国際交流」「啓発セミナー」などの名目で、学内で勧誘活動を行っている例が数多く報告されています。これらの誘いに乗り、いつのまにか宗教活動が生活の主体になり学生生活を継続できなくなったといった事例がありました。おかしいと感じたら学生センターに相談してください。

防災面での危機管理について

災害時の安否確認・連絡方法は親子で話しあって決めておきましょう

大地震発生時の対応について

法政大学は震度5弱以上の地震発生で非常体制となり、授業・イベントを中止します。東京都の条例では、救護活動の優先や二次災害防止のため、一斉帰宅を抑制する3日間の安全な建物内待機を推進しています。そのため、本学では学生が3日間、大学内で待機できるように備蓄品を用意しています。

建物について

法政大学施設の耐震化率は100%です(2024年4月1日現在)。

なお東日本大震災発生後に、本学の全校地全建物で専門業者による建物の安全性調査を実施し、「建物構造体に関して耐震上の被害はなく、耐震強度は地震被災前と同等であること」と「建築本体二次部材(天井その他の仕上げ材、配管・設備機器)の落下危険性のないこと」を全棟で確認しております。

防災訓練について

法政大学では大地震や火災、傷病者発生等を想定した防災訓練を年に2回実施し、教職員が災害発生時にとるべき行動を確認するとともに、学生に対しても啓発活動を行っています。

<大地震発生時の避難場所>

市ヶ谷：原則として建物内待機
多摩：各建物に隣接する広場
小金井：原則として建物内待機



防災用備蓄品は各キャンパスに配置しています。

<大規模災害発生時にとる三大原則>

(1) 大学にいるとき

- ①身の安全を確保
- ②周囲の火の始末・初期消火
- ③周囲のケガ人の救助・救援活動

その後の行動については、大学が情報収集に努め指揮をとります。帰宅が困難なときは大学にとどまります。

(2) 自宅または学外にいるとき

- まず、身の安全を確保。
通学・帰宅途中はただちに帰宅。
家族と連絡を取り合い安全を確保。

災害用伝言ダイヤル 電話番号 171 災害用伝言板サービス(携帯電話)

大規模災害発生時、発生地域で自分の安否情報を家族・親類・知人などに知らせるため、メッセージを登録できるサービスです。

詳しい設定・登録方法は、以下の各携帯電話会社の案内をご確認ください。

■NTT Docomo
https://www.docomo.ne.jp/info/news_release/page/20040708_2.html

■au(KDDI)
<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/>

■SoftBank
<http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/>

■Y!mobile
<http://www.ymobile.jp/service/dengon/>

毎月1日と15日は体験利用ができます。
親子で使いこなせるようにしておきましょう。

就職



就職／理系の就職活動／教職・資格／講座／公務員／学部別の主な就職先／
就職に関するQ & A

キャリアセンター

URL <http://www.hosei.ac.jp/careersien/>

スタッフによる「個別相談」をはじめとして、キャリア形成支援・就職支援のための各種講座やイベントを

実施しています。開室時間やイベントの案内は、HP等でお知らせしています。



市ヶ谷キャンパス
外濠校舎2階 TEL.03-3264-9604



多摩キャンパス
総合棟2階 TEL.042-783-2173



小金井キャンパス
管理棟1階 TEL.042-387-6045

キャリア教育科目 キャリア形成に関連する正課科目として、1年生から履修可能な次の科目を開講しています

○キャリアデザイン入門【市ヶ谷・多摩キャンパスの文系学部】

大学とはどういう場なのか、社会で働くとはどういうことなのか、といった点について学びます。社会に出て働くようになると必要とされる能力と大学での活動の関係について考え、大学で学ぶことが将来にどうつながっているのかを理解します。

○キャリアデザイン応用【市ヶ谷・多摩キャンパスの文系学部】

企業活動や広く社会に存在する仕事、あるいは働き方の多様性について学びます。社会の中にはさまざまな仕事があります。私たちの社会は、労働の連鎖で出

来上がっています。働くとは、その連鎖の一つを担うことです。具体的にどのような仕事があるのか、それぞれの仕事で求められる能力は何かといった点について事例などをもとに考えます。

○キャリアデザイン【小金井キャンパスの理工学部・生命科学部】

キャリアデザインを学び、自身の考えを構築し自ら実践できることを目標にしています。授業では働く人へのキャリアインタビューを行い、その発表も実施します。視野が広がった、自分を見つめ直すきっかけになった、コミュニケーション能力が向上したなど、受講者からも好評です。

公務員講座・法職講座・会計専門職講座 専門学校と同等の講義を安価な受講料にて法大生限定で提供します

(40ページ参照)

○公務員講座

公務員を目指す学生を支援するため、公務員講座を開講しています。学年に応じたカリキュラム編成により、効率的な試験対策を行います。本学出身の公務員による相談会、公務員内定者による座談会などの支援行事も開催しています。

○法職講座

法曹(裁判官・検察官・弁護士)を目指す学生を支援するため、法職講座を開講しています。法律基本科目を1年次から段階的に学習し、法科大学院進学・司法試験合格をサポートします。

○会計専門職講座

公認会計士、税理士等を目指す学生を支援するため、会計専門職講座を開講しています。すべての会計専門職に必要な簿記を学習し、日商簿記検定試験3級から1級に合格する力がつくまで、専門の講師がきめ細かく指導します。また、本格的に公認会計士を目指す学生のために、「公認会計士接続コース」を設置しています。

主な就職支援

○個別相談対応

経験豊富な専任職員およびキャリアアドバイザーが、業界・企業研究、エントリーシートや履歴書の書き方、面接対策等について、的確なアドバイスを展開しています。

○法政企業人コミュニティ(法政BPC)

組織的・持続的な「卒業生による学生への就職支援」と、卒業生同士の交流の場の提供を目的に、2012年7月24日に発足しました。社会の第一線で活躍している100名以上の卒業生と学生が本音で語り合う交流会を順次開催しています。

○学生サポーターによる就職支援イベント

既に進路の決まった4年生が学生サポーターとなり、自分の就職活動体験を話したり、後輩の就職活動についての質問に答えたりする支援イベントを随時企画します。

○社員座談会

実際に各企業で働く社員の方に「仕事体験談」を聞くことができます。

法大生限定のため、気になることを少人数で気軽に質問することができ、各企業のキャリアプランや「この企業で働いたらどのような仕事をするのか」を理解できます。

主なキャリア形成支援

○インターンシップ(キャリア形成支援プログラム)

インターンシップ等の選考対策として、インターンシップガイダンスをはじめ、実践的なサポートプログラムを充実させています。自己分析や業界・企業研究、エントリーシート対策、筆記試験対策、面接対策などの各種講座に気軽に参加することができます。



インターンシップガイダンス

○ゼミ別出前就職セミナー

キャリアセンタースタッフがゼミ単位で、就職活動のアドバイスを行っています。このように「少人数指導」のプログラムも用意することで、重層的なサポートを目指しています。

○就職ガイダンス

キャリアセンターの利用方法、現在の就職活動状況に対してのアドバイス、各種就職支援行事の案内、先輩の活動報告等を確認して、就職活動全般について理解を深めていきます。

○本選考に向けた対策講座

本選考に向けた各種対策講座を充実させています。エントリーシート対策や面接対策はもちろん、グループディスカッションやWEB面接・動画選考など企業の行う選考試験に合わせた実践的な講座も実施しています。

○模擬面接会

企業の担当者ならではの質問や雰囲気味わうことができ、本番さながらの面接を体験することができます。

○学内企業説明会

1年間で800社を超える企業・団体の人事担当者を招いて企業説明会を展開しています。参加した学生の企業研究がさらに深まるよう、様々な工夫を凝らしています。

○インターンシップ体験会

各企業の仕事内容や働き方をワーク形式で学べるイベントです。

今や就職活動の前哨戦と言っても過言ではないインターンシップの短縮版を法大生限定で体験することができます。



少人数制体験型講座

理系の就職活動

1. 基本的な就職活動のプロセスは文系と変わりません。

ただし、理系学生には「学校推薦」という「自由応募」とは異なる選考プロセスがあります。

2. 技術面接に対応できるようにしましょう。

学生の専門スキルについての面接です。

(1) 今後取り組んでいきたい研究内容などに答えられるようにしましょう。実際に物を作り上げた経験があればそのプロセスもヒントになります。

(2) 特に力を入れて取り組んだ授業課題

3. 自由応募と学校推薦

第1志望の企業が学校推薦を行っているのであれば活用しましょう。学校推薦は大学と企業の信頼関係に基づ

いた制度です。そのため、選考途中や内々定・内定後の辞退は絶対にできません。いろいろな企業の選考を受けつつ入社する企業を決めたい場合は自由応募が良いでしょう。

4. 工場見学や現場見学に参加しましょう。

一般的な会社説明会とは別に、生産現場や研究所といった現場を見学できる機会を設けている企業があります。自分の知識や技術がどのような現場で役立つのかを確認する良いチャンスです。

また、現場を見ておけば面接試験などの際に説得力が出てくるメリットがあります。興味ある企業で開催されている場合は、積極的に参加することで、企業の中に入っても誠実に仕事に取り組む人材であるとアピールできます。

学校推薦

企業から大学へ、学部、学科、専攻単位で学生の推薦依頼がきます。このような企業に対しては、主として選考会を行い企業ごとに推薦する学生を決定しま

す。ただし、選考途中や内々定・内定後の辞退は絶対にできません。十分に企業研究をしてから応募しましょう。

<学校推薦募集を行うおもな企業>

本田技研工業、日産自動車、SUBARU、日立製作所、パナソニック、富士通、三菱電機、NEC、KDDI、NTT東日本、キャノン、オリンパス、大和ハウス工業、日揮、YKKAP、東京電力HD、LIXLEなど

教職・資格

教員を目指すためには、教育職員免許法に定められている所定の科目・単位を取得し、さらに実際に中学・高校の教壇に立って授業を行う教育実習を行う必要が

あります。このほか、中学校教員免許状を取得するには「介護等体験」が義務づけられています。

※は受験資格

学部	学科	中学校一種免許	高校一種免許	その他資格
法学部	法律学科	社会	地理歴史・公民	
	政治学科	社会	地理歴史・公民	
	国際政治学科	社会	地理歴史・公民	
文学部	哲学科	社会	地理歴史・公民	
	日本文学科	国語	国語	
	英文学科	英語	英語	
	史学科	社会	地理歴史・公民	
	地理学科	社会	地理歴史・公民	} いずれかの組み合わせのみ
	理学科	理科	地理歴史・理科	
経済学部	心理学科	社会	公民	測定心理士
	経済学科	社会	地理歴史・公民・情報	
	国際経済学科	社会	地理歴史・公民	
社会学部	現代ビジネス学科	社会	地理歴史・公民	
	社会政策科学科	社会	地理歴史・公民	社会調査士
	社会学科	社会	地理歴史・公民	社会調査士
	メディア社会学科	社会	地理歴史・公民・情報	社会調査士
経営学部	経営学科	社会	(2017年度以前入学者)公民・情報・商業 (2018年度以降入学者)公民・商業	
	経営戦略学科	社会	(2017年度以前入学者)地理歴史・公民・情報・商業 (2018年度以降入学者)公民	
	市場経営学科	社会	(2017年度以前入学者)公民・情報・商業 (2018年度以降入学者)公民	
国際文化学部	国際文化学科	英語・中国語	(2018年度以前入学者)英語・中国語・情報 (2019年度以降入学者)英語・中国語	
人間環境学部	人間環境学科	社会	地理歴史・公民	
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	社会		※社会福祉士 ※精神保健福祉士 ※スクールソーシャルワーカー
	臨床心理学科		公民	※公認心理師 ※産業カウンセラー 認定心理士
情報科学部	コンピュータ科学科		情報	
	デジタルメディア学科		情報	
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科	社会	(2017年度以前入学者)地理歴史・公民・商業 (2018年度以降入学者)地理歴史・公民	
デザイン工学部	建築学科			※一級・二級建築士
	都市環境デザイン工学科			測量士補 ※一級・二級土木施工管理技士
	システムデザイン学科			
理工学部	機械工学科	数学	数学	
	電気電子工学科	数学	数学	電気主任技術者、第一級陸上無線技術士、第一級陸上特殊無線技士、第二級・第三級海上特殊無線技士
	応用情報工学科	数学	数学・情報	
	経営システム工学科	数学	数学	
	創生科学科	数学・理科	数学・理科	
生命科学部	生命機能学科	理科	理科	技術士補 技術士 バイオ技術者
	環境応用化学科	理科	理科	技術士補 技術士
	応用植物科学科	理科	理科	技術士補、技術士、樹木医補、樹木医、自然再生士補、自然再生士
GIS(グローバル教養学部)	グローバル教養学科	(2020年度以前入学者のみ)英語	(2020年度以前入学者のみ)英語	
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	保健体育	保健体育	コーチングアシスタント ※アスレティックトレーナー ※健康運動指導士 ※トレーニング指導者

図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事(任用資格)・社会教育士、博物館学芸員は、全学部において取得できます(学校図書館司書教諭になるには、教員免許状の取得が必要です)。詳しくは次のURLを参照ください。<https://www.hosei.ac.jp/careercenter/riyo/torikumi/sonotashikaku/>

公務人材育成センター主催講座

TEL.03-3264-6285

講座名	開講形態	内容
公務員入門講座 (1年生)	オンデマンド	教養試験の最重要科目である「数的処理」を春季休暇期間に集中して学習します。
公務員基礎講座 (2年生)	オンデマンド	公務員試験における主要な教養科目および専門科目について、基礎から体系的に学習します。
公務員技術職講座 トライアルコース (2年生)	オンデマンド	公務員教養試験の主要科目である「社会科学」を先取りして学習します。
公務員技術職講座 (3年生)	オンデマンド	技術系公務員試験に必要な教養科目を学習します。また、希望者は専攻に応じた専門科目を特別価格で受講できます。
国家・地方公務員上級 職対策講座(行政職) (3年生)	オンデマンド	国家公務員試験・地方公務員上級職試験で出題される科目の知識を習得し、それを実践力に変えていきます。公務員採用試験の面接重視傾向に対応した人物試験対策も網羅しています。
国家総合職対策講座 2年生コース(2年生)	専門学校 通学	2年次から国家公務員採用総合職試験(大卒程度)の合格に向けて準備を開始し実力をつけていきます。
国家総合職(法律区分・経済区分・政治国際区分)対策講座3年生 コース(3年生)	専門学校 通学	国家公務員採用総合職試験(大卒程度)の合格を目指すための講座です。試験合格から官庁訪問対策まで、全面的にサポートします。
直前期 市役所試験 対策講座 (4年生)	オンデマンド	市役所の採用試験時期に合わせ、主要教養科目と論作文試験の総まとめを行う講座です。
法職 講座 (1年生～)	オンデマンド	法曹(裁判官・検察官・弁護士)を目指し、「法科大学院(ロー・スクール)」進学を目標とした講座です。講座の進度に応じて履修科目を選択する形式で実施します。

高度会計人育成センター主催講座

TEL.03-3264-9330

講座名	開講形態	内容
会計専門職講座	対面+ オンライン ・ オンデマンド動画	公認会計士、税理士等の会計専門職を目指す上で必要不可欠である簿記を学びます。日商簿記検定試験3級から始め、1級に合格する力がつくまで指導します。また、公認会計士を目指す学生のための「公認会計士接続コース」も設置しています。

学生のキャリアアップ講座

講座名	開講 キャンパス	問い合わせ先	内容
(現代福祉学部生対象) 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験対策講座	多摩	現代福祉学部事務課 042-783-2806	試験に精通した専門講師による講義形式で実施致します。最新の試験傾向を踏まえながら、全学科を「基礎」から「応用」までステップアップ方式で学習し、模試で実力を確認しながら、本試験レベルまで引き上げます。
*教員採用試験 二次試験対策講座	市ヶ谷 多摩 小金井	教職・資格担当 03-3264-9425	教員採用試験二次試験対策講座として、面接官役の講師の前で、面接、模擬授業、集団討論等の練習を行います。

*本講座には法政大学後援会から助成が行われています。

その他

講座名	開講 キャンパス	問い合わせ先	内容
自主マスコミ講座	市ヶ谷	support@jishumasu.com	アナウンサー、新聞・報道記者、出版、放送、広告などコースごとに、フリートーク、論文対策、面接対策などを行う。毎年60名近くがキー局はじめマスコミに内定しています。

割引提携講座

TEL.03-3264-6243

キャリアセンターでは、学生のキャリアアップを支援するため、様々な資格講座を割引価格で受講できるよう専門学校、資格学校と提携しています。

2024年度提携講座

司法書士、行政書士、社会保険労務士、通関士、弁理士、宅地建物取引士、不動産鑑定士、税理士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナー

※キャンパス内で講座は実施しません(通学・Web・DVD等から選択)。

※講座内容や申込方法等の詳細は、キャリアセンター HPに掲載の「公務員講座・法職講座・割引提携講座パンフレット」をご覧ください。

公務員

公務員は、国の機関に勤務する国家公務員(総合職・一般職と専門職がある)と、都道府県や市町村などの地方公共団体に勤務する地方公務員とに大別することができます。公務員の採用試験改革(出題範囲の見直しや、選択科目数の変更)により受験者層が拡大したことや、採用数が減少していることもあり、ここ数年高倍率が続いています。選考方法も、筆記試験と同様に面

接にも重点がおかれるなど、厳選採用の時代に入りました。

公務員と一口に言っても、その種類や仕事内容は様々です。公務員を目指す人は、希望する公務員の研究を進めると同時に、学内公務員講座(P.40)などを利用して、早めに、かつ計画的に勉強に取り組むことが必要になります。

民間企業との併願をする場合

公務員試験と民間企業との併願は、負担がかなり大きくなります。企業が採用を行う時期は、公務員試験を受験する人にとって試験直前の重要な時期でもあります。できるだけ早く志望先企業の採用日程等を把握して、両方の活動スケジュールを立てなければなら

せん。公務員試験の日程が公示されるのは、おおむね4月上旬からになりますので、それ以前に、希望する民間企業には広くエントリーしておき、対応できるようにしておきましょう。

2023年度公務員内定状況

○国家公務員

内定先	文科系			理工系			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人事院	0	1	1	0	0	0	0	1	1
内閣府	1	0	1	0	0	0	1	0	1
総務省	1	1	2	0	0	0	1	1	2
法務省	1	5	6	0	0	0	1	5	6
外務省	0	0	0	0	1	1	0	1	1
財務省	15	6	21	0	0	0	15	6	21
厚生労働省	8	3	11	0	0	0	8	3	11
農林水産省	2	1	3	0	0	0	2	1	3
経済産業省	2	0	2	0	0	0	2	0	2
国土交通省	7	3	10	0	0	0	7	3	10
環境省	0	1	1	0	0	0	0	1	1
防衛省	7	3	10	0	0	0	7	3	10
会計検査院	0	0	0	1	0	1	1	0	1
裁判所	0	4	4	0	0	0	0	4	4
その他	2	4	6	0	0	0	2	4	6
合計	46	32	78	1	1	2	47	33	80

※省庁には分局、外局、出先機関も含む
※大学院修了者を含む

○地方公務員

内定先	文科系			理工系			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
都道府県庁	34	26	60	2	2	4	36	28	64
特別区(23区役所)	28	37	65	3	1	4	31	38	69
政令指定都市	11	13	24	2	2	4	13	15	28
市町村(政令指定都市除く)	37	30	67	0	1	1	37	31	68
警察	10	7	17	1	1	2	11	8	19
消防	7	1	8	1	0	1	8	1	9
その他	0	1	1	0	0	0	0	1	1
合計	127	115	242	9	7	16	136	122	258

※大学院修了者を含む

学部別の主な就職先(2023年度)

- 法学部**: 大林組、日本電気(NEC)、横浜ゴム、NECグループ、日立製作所、いすゞ自動車、スズキ、ニトリ、横浜銀行、日本政策金融公庫、みずほ銀行、りそなグループ、千葉銀行、あいおいニッセイ同和損害保険、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、日本生命保険、東京海上日動火災保険、三井住友信託銀行、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、大和証券、王子ホールディングス、ジェシービー、東海旅客鉄道(JR東海)、全日本空輸、TIS、富士ソフト、ソフトバンク、横浜地方裁判所、厚生労働省 神奈川労働局、国土交通省、東京国税局、法務省、防衛省陸上自衛隊、経済産業省、国土交通省 東京航空局、財務省、東京地方裁判所
- 文学部**: ロッテ 伊藤園、Meiji Seika ファルマ、TOTO、キーエンス、ファーストリテイリング、ニトリ、東京エレクトロン、みずほ銀行、明治安田生命保険、千葉銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、ジェシービー、JALスカイ、東日本旅客鉄道(JR東日本)、ANA ウイングス、全日本空輸、ソラドエア、日本放送協会(NHK)、フジテレビジョン、サイバーエージェント、リクルート、日立システムズ、TIS、富士通、NTT Docomo、KDDI、エイチ・アイ・エス、ニトリホールディングス、大阪家庭裁判所、東京国税局、環境省、気象庁、宮内庁
- 経済学部**: YKK AP、いすゞ自動車、TOPPAN ホールディングス、東芝、沖電気工業、日本電気(NEC)、IHI、本田技研工業、ファーストリテイリング、ニトリ、JFE 商事、キャノンマーケティングジャパン、横浜銀行、みずほ銀行、千葉銀行、三菱UFJ銀行、大和証券、静岡銀行、日本政策金融公庫、SBI 新生銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、ゆうちょ銀行、りそなグループ、野村證券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、アフラック生命保険、住友生命保険、第一生命保険、明治安田生命保険、あいおいニッセイ同和損害保険、東日本旅客鉄道(JR東日本)、日本放送協会(NHK)、サイバーエージェント、リクルート、NEC ソリューションズ、NTT データグループ、日立システムズ、JTB、ニトリホールディングス、有限責任あずさ監査法人、EY 新日本有限責任監査法人、有限責任監査法人トーマツ、東京税関、関東信越国税局、国土交通省 東京航空局
- 社会学部**: 東芝、日立製作所、ニトリ、バンダイ、ファーストリテイリング、静岡銀行、三井住友銀行、ゆうちょ銀行、りそな銀行、SMBC 日興証券、ジェシービー、日本通運、読売新聞東京本社、エン・ジャパン、講談社、産経経済新聞社、集英社、読売新聞大阪本社、TBS テレビ、テレビ朝日、日本放送協会(NHK)、日本テレビ放送網、一般社団法人公共施設、ADK ホールディングス、サイバーエージェント、リクルート、富士通、オービック、富士ソフト、エイチ・アイ・エス、日本中央競馬会、トランスコスモス、厚生労働省、国土交通省、東京国税局、防衛省陸上自衛隊
- 経営学部**: 積水ハウス、大日本印刷、山崎製パン、アサヒビール、キーエンス、日立製作所、日本電気(NEC)、スズキ、りそなグループ、ゆうちょ銀行、明治安田生命保険、損害保険ジャパン、千葉銀行、あいおいニッセイ同和損害保険、日本政策金融公庫、みずほフィナンシャルグループ、横浜銀行、SMBC 日興証券、大和証券、野村證券、住友生命保険、第一生命保険、三井住友海上火災保険、商工組合中央金庫、ANA ウイングス、ADK ホールディングス、富士ソフト、SCSK、TIS、NEC ソリューションズ、日本アイ・ピー・エム、日立システムズ、富士通、楽天グループ、東洋製糖グループホールディングス、エイチ・アイ・エス、有限責任あずさ監査法人、EY 新日本有限責任監査法人、PwC あらた有限責任監査法人、東京国税局、経済産業省、厚生労働省
- 国際文化学部**: 積水化学工業、大塚製薬、大正製薬、住友電気工業、富士フイルムビジネスイノベーション、リコー、キーエンス、GS ユアサ、三菱電機、アルプスアルパイン、三菱自動車工業、YKK、トヨタ自動車 東京本社、ファーストリテイリング、キャノンマーケティングジャパン、ニトリ、デル・デル・テクノロジー、美津濃、東京海上日動火災保険、みずほ銀行、三井住友銀行、横浜銀行、日本生命保険、AIG 損害保険、商工組合中央金庫、三菱UFJニコス、全日本空輸、ANA 成田エアポートサービス、JALスカイ、日本空港ビルディング、日本テレビ放送網、集英社、ADK ホールディングス、ジェイアール東日本企画、リクルート、NRI ネットコム、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、KDDI、JTB、JTBグループ、東武トップツアーズ、コナミグループ、セブンドリーム・ドットコム、トランスコスモス、マルハニチロ、防衛省航空自衛隊、東京国税局、防衛省海上自衛隊
- 人間環境学部**: 一栄工務店、大成建設、西松建設、パナソニック EWE エンジニアリング、高砂熱学工業、TOTO、アサヒビール、東レ、大塚商会、日本食研ホールディングス、長瀬産業 東京本社、日本出版販売、稲畑産業 東京本社、双日食料、日本アークス、三菱食品、JALUX、美津濃、千葉銀行、みずほ銀行、三井住友海上火災保険、ジェシービー、野村不動産、日本放送協会(NHK)、NEC ソリューションズ、NTT データグループ、日立システムズ エンジニアリング サービス、KDDI、東洋製糖グループホールディングス、JTB、アクセンチュア、東京電力ホールディングス、横浜税関、東京国税局、防衛省海上自衛隊
- 現代福祉学部**: 積水ハウス、日本たばこ産業(JT)、タカラスタンダード、東亜合成、住友電気工業、LIXIL、日本電気(NEC)、いすゞ自動車、豊田自動織機、ニトリ、良品計画、長瀬産業 東京本社、ファーストリテイリング、あいおいニッセイ同和損害保険、三井住友銀行、東京海上日動火災保険、農林中央金庫、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、日立システムズ、富士通、ウェルビー、ケアリッツ・アンド・パートナーズ、日本年金機構、社会保険診療報酬支払基金、社会福祉法人全国社会福祉協議会、東武トップツアーズ、NEC マネジメントパートナー、トランスコスモス、総務省
- キャリアデザイン学部**: 東京セキスイハイム、アサヒ飲料、川崎重工、日本電気(NEC)、日産自動車、バンダイ、大丸松坂屋百貨店、ファーストリテイリング、ニトリ、メティセオ、ジェシービー、千葉銀行、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行、日本航空、東京電力グループ、アマゾンジャパン合同会社、リクルート、博報堂、TIS、Sky 東京本社、日立システムズ、日本年金機構、スプリックス、オリックス自動車、東京ドーム、ソニーミュージックアーティスツ、ミリアルティホテルズ、関東農政局、東京高等裁判所、防衛省航空自衛隊
- GIS(グローバル教養学部)**: ブルームバーグ・エル・ピー、日本タタ・コンサルティング・サービス、レバレッジズ、東映アニメーション、Shangri-La Hotels Japan、アシックス、シャネル、ルイ・ヴィトン ジャパン、日本航空、ゼロイチ トーマツ コンサルティング、船井総合研究所、アクセンチュア、KPMG コンサルティング、ヨネックス、TEKsystems
- スポーツ健康学部**: 富士フイルム、三菱電機、キュービー、山崎製パン、アシックス、日本発条、クボタ、味の素冷凍食品、グローバルライド・ドーム、ヨネックス、美津濃、三菱食品、花王グループカスターマーマーケティング、阪和興業、ゴールドウイン、セット、ダンロップスポーツマーケティング、りそな銀行、SMBC 日興証券、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、かんぽ生命保険、大樹生命保険、あいおいニッセイ同和損害保険、三井住友海上火災保険、九州旅客鉄道(JR九州)、全日本空輸、ANA Cargo、日本放送協会(NHK)、エイベックス、日立ソリューションズ、富士ソフト、KDDI、東日本電信電話(NTT 東日本)、セコム、オリックス自動車、横浜スタジアム
- 情報科学部**: 日立製作所、本田技研工業、ソニーミュージックグループ、大塚商会、ニトリ、かんぽ生命保険、ジェシービー、NTT ノードエナジー、電源開発、サイバーエージェント、ベース、NEC ソリューションズ、TIS、富士通、KSK、富士ソフト、インテック、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、OKI クロステック、Sky 東京本社、スミセイ情報システム、日立システムズ、ソフトバンク、フェューチャーアーキテクト、みずほリサーチ&テクノロジーズ、ラクス、トランスコスモス、NTT データ先端技術、JTB、東芝 IT サービス、コーエーテクモホールディングス、ペイカレント・コンサルティング
- デザイン工学部**: 大和ハウス工業、大成建設、安藤・間、鹿島建設、清水建設、大林組、戸田建設、長谷工コーポレーション、住友林業、積水化学工業、積水ハウス、日立製作所、コクヨ、アイリスオーヤマ、タカラスタンダード、キヤノン、イトーキ、キングジム、TOPPAN、パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション、ヨネックス、良品計画、大塚商会、千葉銀行、三井住友銀行、東海旅客鉄道(JR東海)、東京電力パワーグリッド、東日本旅客鉄道(JR東日本)、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、KDDI、アクセンチュア、アビームコンサルティング、サントリーホールディングス、トランスコスモス、外務省
- 理工学部**: 日本電気(NEC)、日立製作所、三菱電機、スズキ、SUBARU、NECグループ、パナソニック、京セラ、トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、大塚商会、横浜銀行、オリックス銀行、三井住友信託銀行、りそなホールディングス、全日本空輸、日本航空、東日本旅客鉄道(JR東日本)、AIRDO、ANA ウイングス、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、SCSK、日立システムズ、Sky 東京本社、TIS、日立ソリューションズ、KDDI、アクセンチュア、東京電力ホールディングス
- 生命科学部**: 伊藤ハム、森永乳業、モランボン、ニッスイ、山崎製パン、カゴメ、TOTO、日立製作所、日本電気(NEC)、味の素冷凍食品、昭和産業、コーセーインダストリーズ、大塚商会、キャノンマーケティングジャパン、バンダイ、青山商事、伊藤忠丸紅鉄鋼、りそなグループ、東京電力グループ、インテック、NEC ソリューションズ、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、NTT データグループ、日鉄ソリューションズ、日立システムズ、日立ソリューションズ、富士ソフト、富士通、NTT 東日本、TOKAI ホールディングス、全国農業協同組合連合会(JA 全農)

Q&A

Q Uターン就職をするにはどうしたらいい？

A まず、Uターン就職に絞るのか、それとも首都圏の企業と並行して進めるのか、早めに進路についての優先順位を決めることが重要です。次に、東京都内にある各県の就職情報提供施設の利用、それから自治体・団体が支援する雇用促進情報の確認をお勧めします。自治体によってはオンラインでUターン就職イベントを開催する場合がありますので、積極的な情報収集が必要です。そして、長期休暇を利用してOB・OG訪問をしたり、インターンシップに参加したりすると、地元企業で働くイメージが深まり、今後の就職活動に大いに役立ちます。

Q 公務員と民間企業の併願は可能？

A 可能ですが、公務員の志望度と公務員試験対策の進捗状況によって判断することが重要です。民間企業の選考は、公務員試験対策総仕上げの時期と重なりがちです。志望度の高い団体の試験対策がおろそかにならないよう、受ける民間企業を厳選する、公務員試験の終了後に民間企業の選考を考える等、優先順位を考えて行動する必要があります。

Q 子供が就職活動で苦戦している。どのように対応すれば？

A ぜひ、ひとりで悩まず、キャリアセンターの個別相談を利用するよう促していただければと思います。企業の採用活動は8・9月以降も続きます。秋、冬に就職先が決まる学生も多くいます。納得のいく結果を得られない原因を一緒に探り、新たな求人に向けて踏み出せるようキャリアセンターでは、卒業間際まできめ細かい支援を行っていきます。

Q 親としてどのようなことができる？

A 就職活動に取り組む学生への精神的、経済的な支援をお願いします。就職活動の選考で不合格になってしまったとき、自身を否定されたように感じてしまいます。そんな時、保護者の方からの励ましや、ただ話を聞くことが、就活生にとって大きな支えとなります。

また、スーツの購入など、就職活動のための費用に経済的な支援があれば助かるでしょう。

他方、保護者の方ご自身が、代わって行動することは推奨できません。社会人への一歩としてお子様ご自身が動き出すことができるようなご支援をお願いいたします。

大学情報



法政大学の歴史・草創期の功労者／著名出身者／校旗・校章／校歌・応援歌・学生歌・法政大学行進曲／市ヶ谷キャンパス Map／多摩キャンパス Map／小金井キャンパス Map／オレンジネットワーク事業／定期刊行物案内／国際教育交流／海外交流大学／一般社団法人法政大学校友会（卒業生組織）／学校法人法政大学データ一覧／大学院／図書館／2024年度年間スケジュール／法政オリジナルグッズ／法政スポーツコミュニティ『HSC』

歴史

- 1880(明治13)年 東京法学社(講法局・代言局)設立。在野の法律家・金丸鉄と伊藤修らによって東京駿河台に創られた
- 1881(明治14)年 東京法学社の講法局を独立させ、東京法学校(主幹・薩埵正邦)となる
- 1883(明治16)年 政府の法律顧問としてフランスから招かれていたパリ大学のポアソナード博士が教頭に就任
- 1886(明治19)年 日仏協会の前身である仏学会(会長・辻新次)によって東京仏学校設立
- 1889(明治22)年 東京法学校と東京仏学校とが合併して、和仏法律学校と改称。箕作麟祥博士が校長となり、自由、清新な学風をさらに発展させた
- 1903(明治36)年 専門学校令により法政大学と名称を改め、予科、大学部、専門部、高等研究科を設置/初代総理(現在の総長)に、わが国「民法の父」といわれる梅謙次郎博士が就任
- 1904(明治37)年 清国留学生法政速成科開講
- 1920(大正 9)年 大学令により初めて私立大学の設置が認可され、財団法人法政大学となる
法学部、経済学部を設置
- 1921(大正10)年 麹町区富士見町4丁目(現在地)に校舎を新築し移転
- 1922(大正11)年 法学部に文学科、哲学科を新設して法文学部となる
- 1944(昭和19)年 工学部の前身の法政大学設立航空工業専門学校を設置
- 1947(昭和22)年 法文学部が法学部、文学部に改編され、経済学部と合わせて3学部となる。同年7月に通信教育部を設置
- 1949(昭和24)年 学校教育法により新制大学として発足
- 1950(昭和25)年 工学部を設置
- 1951(昭和26)年 私立学校法により学校法人法政大学となる
新制大学院(人文科学研究科・社会科学研究科)を設置
- 1952(昭和27)年 社会学部を設置
- 1959(昭和34)年 経営学部を設置
- 1964(昭和39)年 小金井校舎竣工
- 1965(昭和40)年 大学院工学研究科を設置
- 1980(昭和55)年 創立100周年
- 1984(昭和59)年 多摩校舎竣工。経済学部第一部と社会学部第一部の1年次生、多摩キャンパスで授業開始
- 1999(平成11)年 国際文化学部、人間環境学部を設置
- 2000(平成12)年 現代福祉学部、情報科学部を設置/市ヶ谷キャンパスに「ポアソナード・タワー」竣工
- 2002(平成14)年 大学院人間社会研究科、情報科学研究科を設置
- 2003(平成15)年 キャリアデザイン学部を設置/国際日本学インスティテュートを設置
- 2004(平成16)年 大学院社会科学研究科7専攻を改組、7研究科編成となる/大学院法務研究科(法科大学院)を設置/大学院イノベーション・マネジメント研究科を設置/国際日本学インスティテュートに博士課程を設置
- 2005(平成17)年 スポーツ・サイエンス・インスティテュート(SSI)を設置/大学院システムデザイン研究科を設置
- 2006(平成18)年 大学院国際文化研究科を設置
- 2007(平成19)年 デザイン工学部を設置
- 2008(平成20)年 理工学部、生命科学部、GIS(グローバル教養学部)を設置/大学院政策創造研究科を設置
- 2009(平成21)年 スポーツ健康学部を設置
- 2010(平成22)年 現代福祉学部を福祉コミュニティ学科、臨床心理学科に改組/大学院デザイン工学研究科を設置
- 2011(平成23)年 小金井キャンパス「北館」(管理棟)竣工
- 2012(平成24)年 大学院公共政策研究科を設置
- 2013(平成25)年 大学院キャリアデザイン学研究所、理工学研究科を設置/小金井キャンパスに「中央館」竣工
- 2014(平成26)年 生命科学部を生命機能学科、応用植物科学科、環境応用化学科に改組/市ヶ谷キャンパスに「一口坂校舎」竣工
- 2015(平成27)年 大学院連帯社会インスティテュートを設置
- 2016(平成28)年 大学院スポーツ健康学研究科を設置/市ヶ谷キャンパスに「富士見ゲート」竣工
英語学位プログラム(GBP・SCOPE・IIST)を設置
- 2018(平成30)年 英語学位プログラム(IGESS)を設置
- 2019(令和 元)年 市ヶ谷キャンパスに「大内山校舎」竣工
- 2020(令和 2)年 市ヶ谷キャンパスに「HOSEIミュージアム」開設
- 2021(令和 3)年 市ヶ谷キャンパス55・58年館建替工事の竣工



草創期の功労者

■東京法学社の設立者たち

法政大学の歴史は、1880(明治13)年4月に設立された「東京法学社」に始まります。この年は、わが国憲政史上に重要な地位を占める国会期成同盟が結成され、国会開設上願書が太政官に提出されるなど、自由民権運動の全国的な高揚期に当たっていました。法制史上でも、代言人(現在の弁護士にあたる)規則の改正や刑法・治罪法の公布など、近代的法制の整備が緒につきはじめた年でした。東京法学社は、このような時代背景の中で、にわかには高まりはじめた代言業務と法学教育の必要に応えるため、金丸鉄、伊藤修、薩埵正邦らの若い法律家によって、東京神田・駿河台北甲賀町に設立されました。金丸鉄は1852(嘉永5)年、豊後国杵築藩士の子として生まれ、19歳で上京。独力で出版社時習社を興し、日本最初の法律専門誌「法律雑誌」を創刊した人物です。伊藤修は1855(安政2)年、金丸と同じく豊後国杵築藩士の子として生まれ、1877(明治10)年、代言人免許を得て訴訟業務に従事。また薩埵正邦は、1856(安政3)年、京都の石門心学の家に生まれ、上京。法律を独学中、ポアソナード博士の知遇を得て司法省雇、民法編纂局兼務時に直接指導を受けました。



かなまる せいがね
金丸 鉄
(1852~1909)



いとう おさむ
伊藤 修
(1855~1920)



さだえ まさくに
薩埵 正邦
(1856~1897)

■G.E.ポアソナード博士(1825~1910)

フランス・ヴァンセンヌ市生まれ。パリ大学を卒業し、博士号を取得した後、1873(明治6)年、政府の法律顧問としてわが国に招かれ、太政官、司法省、外務省などの顧問として、20年間にわたり刑法典、治罪法典、民法典などの法典編纂や、司法省法学校の教授、政府の外交政策への助言などに尽力した人物です。1883(明治16)年9月、大学の前身である東京法学校(後に和仏法律学校と改称)の教頭に就任した博士は、以後最終帰国まで10年以上にわたり、無報酬で門弟の教育に情熱を注ぎ、大学の基礎固めに精魂を傾けました。東京法学校は校長を置かず、主幹・薩埵正邦が経営していたので、実質的に本学は「ポアソナードの法学校」であったといわれています。ポアソナードにより培われたフランス自然法的近代法の基本理念は、本学の「自由と進歩」の学風をつくりあげる基盤となりました。2000(平成12)年3月に竣工した「ポアソナード・タワー」は、本学草創期に大きな功績を残されたポアソナード博士にちなんで命名されました。



■梅 謙次郎博士(1860~1910)

1903(明治36)年、専門学校令の公布に伴い、本学は法政大学と校名を改めます。この時、大学部、専門部、高等研究科および予科が設置され、総理(現在の総長)に就任したのが、梅謙次郎博士です。「空前絶後の立法家」「先天的な法律家」と称された博士は1860(万延元)年、出雲松平侯の侍医の子として生まれました。東京外国語学校仏語科および司法省法学校を首席で卒業。フランス留学では、リヨン大学から法学博士の学位を授与、さらにリヨン市からヴェルメイユ賞碑が贈られ、論文「和解論」は市費出版されるという名誉も受けました。1890(明治23)年、ドイツ留学から帰国後、和仏法律学校の学監に就任。以来、51歳で急逝するまでの20年余、帝国大学教授、法制局長官、文部省総務長官などの要職を次々と歴任する多忙な中、本学の運営に身を挺されました。学生の試験答案にいちいち目を通したばかりでなく、学生の就職にまで奔走しました。文部省総務長官の時、ドアに「面会日火曜日」と書いてあるその脇に「但し法政大学並びに校友会員はこの限りにあらず」とあり、さらに本学在任中、給与などは一切受け取らなかったといわれています。校長、総理時代、本学の諸事業には必ず梅博士の姿が見られました。



著名出身者

政界：青山周平／朝日健太郎／上田清司／越智俊之／金子恵美／川崎秀人／串田誠一／菅義偉(第99代内閣総理大臣)／鈴木直道(北海道知事)／田中和徳(元復興大臣)／徳永エリ／松下新平／山田勝彦 ほか

財界：青木貴博(radiko社長)／浅田昌弘(タムラ製作所社長)／味志謙司(赤ちゃん本舗社長)／磯部任(アマダ会長)／伊藤秀二(カルビー相談役)／井上貴功(クロスキャット会長)／大内昭彦(リンテック会長)／長倉統己(カーチスホールディングス社長)／兼井雅史(飯田グループホールディングス社長)／菊地崇仁(ボイ探社長)／黒本淳之介(栃木銀行頭取)／小島信夫(京葉銀行相談役)／佐々木徳久(ロイヤルホールディングス専務執行役員)／潮崎敏彦(文化シヤッター会長)／清水彰(AOKIホールディングス顧問)／清水健一(リオン会長)／鈴木和夫(ライト工業会長)／高橋清(パイロットコーポレーション相談役)／瀧澤利一(バルカー会長)／瀧澤豊(日本アンテナ会長)／土谷忠彦(イチケン相談役)／中平雅彦(高知新聞社社長)／永谷明(永谷園相談役)／兵部行遠(ミライアル会長)／松丸美佐保(神田通信機顧問)／宗国旨英(本田技研工業特別顧問)／山内英靖(やまや会長)／山本宏輔(寺岡精工社長)／吉田謙次(オリエンタルランド社長) ほか

マスコミ：石原正康(幻冬舎取締役)／小玉圭太(幻冬舎最高顧問)／小根山克雄(信越放送相談役)／竹石松次(新潟放送顧問)／中村卓朗(西日本放送社長)／大嶋貴志・小松宏司・是永千恵・佐々木智一・佐藤俊吉・鈴木奈穂子・瀬田宙大・千葉美乃梨・森田哲意・吉田真人(NHKアナウンサー)／平松修造(日本テレビアナウンサー)／宇賀神メグ・小沢光葵・蓮見孝之・渡部峻(TBSアナウンサー)／川野良子・木村拓也・黒潮翔生・竹下陽平・谷岡慎一・原田葵(フジテレビアナウンサー)／菅原知弘・三谷紬・森山みなみ(テレビ朝日アナウンサー)／島田弘久(テレビ東京アナウンサー)／染谷恵二・羽佐間正雄(スポーツアナウンサー)／赤平大・大村正樹・久野静香・小島奈津子・登坂淳一・原田修佑・堀井美香・八塩圭子(フリーアナウンサー)／生島ヒロシ(司会者)／板橋洋佳(朝日新聞記者・新聞協会賞受賞)／鈴木健司(フジテレビジョン・新聞協会賞受賞) ほか
※アナウンサー職としてはこのほか多くの卒業生がNHK、民放キー局、準キー局、地方局、フリーランスで活躍しています。

文芸・芸術界：飯嶋和一・大沼紀子・温又柔・竹田真砂子・乗代雄介・初野晴・藤沢周・吉田修一(文芸作家)／池田雄一(評論家)／沢野ひとし(イラストレーター)／糸井重里・勝浦雅彦(コピーライター)／稲垣徳文・岩合光昭・鈴木一雄(写真家)／上原ひろみ(ジャズピアニスト)／金子達仁・戸塚啓(スポーツライター)／鈴木裕輔・増田明美(スポーツジャーナリスト)／高山文彦(ノンフィクションライター)／小沢かな・久住昌之・ひぐちアサ・ほりのぶゆき・ミサコ・ロックス！(マンガ家)／杉本信昭・中江功・堤幸彦・真利子哲也(映画監督)／高松信司(アニメ監督)／青島千穂(アーティスト)／はままさのり・吉田玲子(脚本家)／虎澤英雄(陶芸家) ほか

芸能界：伊藤淳史・菊池桃子・杉野遥亮・高畑充希・中江有里・星野知子・前田亜季・誠直也・真家瑠美子・美木良介・村上弘明(俳優)／小川貴之(sumika)・甲本ヒロト・小林直己(EXILE)・庄野真代・田中星児・秦基博・みなみらんぼう(音楽)／安座間美優(モデル)／菊田竜大(ハナコ)・コージ・トクダ(元プリリアン)・村上(マヂカルラブリー)(お笑い芸人)／澤登翠(活弁士) ほか

スポーツ界：新井宏昌・石井文裕・石川達也・石田健大・稲葉篤紀・宇草孔基・江川卓・江本孟紀・大島公一・葛西稔・木下拓哉・後藤武敏・小早川毅彦・G.G.佐藤・鈴木昭汰・高田孝一・高村祐・田淵幸一・西浦直亨・秦真司・廣瀬純・福田光輝・三嶋一輝・森田駿哉・山中正竹・山本浩二(野球)／丸鬼潤(テニス)／青山繁・大竹秀之・葛和伸元・熊田康則・古田史郎・南克幸・諸隈直樹(バレーボール)／三宅宏実・三宅義信・三宅義行(重量挙げ)／上田綺世・川勝良一・紺野和也・清水秀彦・高木友也・中野小次郎・永戸勝也・長谷川元希・水沼貴史・宮澤ひなた(サッカー)／青木涼真・磯松大輔・金丸祐三・黒川和樹・為末大・徳本一善・内藤真人(陸上)／伊藤剛臣・坂田正彰・桜庭吉彦・苑田右二・中村知春・日和佐篤(ラグビー)／青木智美・内田翔・末永雄太・柳澤明希(水泳)／西藤俊哉・敷根崇裕・見延和靖・吉田健人(フェンシング)／佐藤有香・竹内洋輔・本田武史(スケート)／鈴木世奈・床亜矢可・床泰留可(アイスホッケー)／高野あかり・水巻善典・森彩乃(ゴルフ)／板倉令奈・落合知也・鈴木貴美一・澤岬直人(バスケットボール)／竹鼻建・三星マナミ(スキー)／高橋侑子(トリアスロン)／井原慶子(カーレース)／篠宮龍三(フリーダイブ) ほか

(主な著名出身者を掲載。敬称略・五十音順。役職等は2024年4月現在調べ。5月以降の役職変更等は反映していませんので、ご了承ください)

校旗・校章

校旗

■校旗

法政大学の校旗は、松室致学長の時代、大学令の施行によって名実ともに大学に昇格した1921(大正10)年4月、現在の千代田区富士見に第一校舎が新築された時に初めて作られました。しかし、この校旗は1945(昭和20)年5月25日の空襲で、本学校舎とともに焼失。二代目の校旗は1947(昭和22)年に学生からの募金(きょきん)で高島屋に依頼して制作しました。三代目となる現在の校旗は二代目のデザインを踏襲し、2008年1月に作られたものです。



■略旗

校旗が学位授与式・入学式で使用されるのに対し、略旗はその他の大学主催の行事および校友の会合において、大学のシンボル旗として使用されています。略旗のデザインの起源については、元々応援団の「団旗」によるものと考えられますが、寸法などが不明確であったため、1990(平成2)年、正式に縦180cm、横270cmとし、また中央の「H」の位置をはじめとする細かな寸法も定められました。



校章

■法政大学

法政大学の最初の校章は、「大学」の文字の左右に「法政」の文字を記したものでした。その後、1921(大正10)年頃には「大」と「学」との間に法政の欧文イニシャル「H」を挿入したものが用いられました。1922(大正11)年、予科の山崎静太郎教授(楽堂と号して能楽の研究者・批評家でもあった)の創案で、「H」の文字を王冠で囲んだ金モールの予科の校章ができました。現在の校章は、1930(昭和5)年に制定されたもので、これも山崎教授の考案です。
大学の二字を亀の子型に図案化したもので、長い伝統と永遠の真理を表しています。



■法政大学高等学校 法政大学第二中・高等学校

この校章は法政大学予科の校章として制定されたもので、現在は法政大学高等学校、第二中・高等学校の校章になっています。
校章の中心に「Hosei」の頭文字の「H」、下は「University」の頭文字の「U」を表し、上に王冠をいただいています。この王冠はフランス型の王冠で、法政大学の前身東京法学校が1890(明治13)年に設立され、自由民権と人類普遍の自然法を謳歌したフランス法思想を命脈として、教学の指導者にフランス人法学者ボアソナド博士があたったことから、フランス型の王冠にしたと伝えられています。また、中心の「H」は「Hope」の意味を含ませ、純情で潔白な青年の希望を表します。



■法政大学中学校

法政大学中学校の校章は、旧制の法政中学校そして新制の第一中学校へと引き継がれてきました。これは学制が旧制から新制に変わるなかで、本来なら新制の高校へと引き継がれるところですが、当時は新旧学制の変更や旧制の法政大学商業学校との再編の狭間で、前身を問うのではなく、同じ「中学」としての校章が引き継がれました。



■法政大学国際高等学校

付属校として誕生した翌年の1950(昭和25)年4月に制定されました。全体の形は盾で、Chastity(清純)を表します。HOSEI UNIV. の地の水色は清らかさを、文字のオレンジは情熱を表しています。左上はクラウンHで、法政大学の伝統ある紋章です。右下のSは高等学校(Senior)を表します。



襟章(バッジ)

1958(昭和33)年、それまで学部ごとに作っていたバッジを統一しようと、学生から図案を募集しました。数多くのアイデアの中から、経済学部第二部3年生(当時の宇津木牧男さんの作品を原案として、のちに東京オリンピックのシンボルマークをデザインした亀倉雄策氏にデザインを委嘱、現在のバッジができました。法政大学のスクールカラーである紺色とオレンジ色を使い、紺色の地にオレンジ色の「H」の文字をあしらっています。



■ブランドマークとエンブレム

「自由と進歩」の学風をより分かりやすく伝えるため、2013年にブランドマークとエンブレムを策定しました。
ブランドマーク：さまざまな方面でエネルギーに躍動する法政大学の姿を、Hの文字でシンボリックに表現しました。
エンブレム：ブランドマークと同様の考えに基づき、法政大学の伝統ある校章とその頭文字H、そしてシンボルモチーフを組み合わせてエンブレムとして表現しました。



スクールカラーの由来：法政大学のスクールカラーは、オレンジと紺(法政ブルー)です。古い応援歌の歌詞によると2つの色は「暁(あかつき)の太陽」と「青空」を表しています。ただし、ブルーの色合いは、紫より濃い青紫です。印刷番号は、オレンジがDIC161(4色分解/Y100%+M60%)、ブルーはPANTONE280(4色分解/C100%+M90%)。

校歌

法政大学校歌

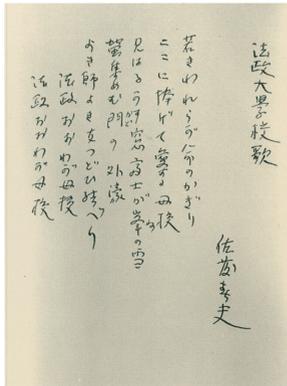
一、若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて(ああ)愛する母校
見はるかす窓(の)富士が峯の雪
蜚集めむ門の外濠
よき師よき友つどひ結び
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校

二、若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて(ああ)愛する母校
われひと共にみとめたらずや
進取の気象質実の風
青年日本の代表者
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校

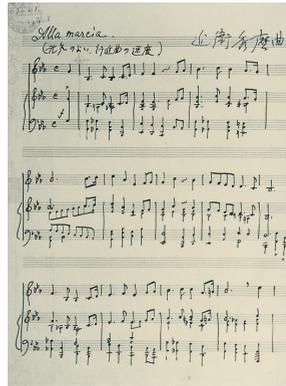
作詞・佐藤春夫
作曲・近衛秀磨



佐藤春夫
▼ 佐藤春夫筆の母校校歌詞



近衛秀磨
▼ 近衛秀磨筆の母校校楽譜



校歌の由来

1929(昭和4)年、学生の中に校歌作成委員会が結成され、同時に経費の募金運動が始まりました。「学生委員が、帽子を持って学生の間を回ると、すぐ帽子は銀貨でいっぱいになった」といわれています。無論、当時校歌がなかったわけではなく、現在行進曲として歌われている「名大いなれ法政」が校歌だったのです。しかし、「我等が法政の意気を示すべく」新しい時代にふさわしい校歌が待望されたのでしよう。

応援歌

若き日の誇り

法政 法政 法政
燃ゆる陽の生命こそ
沸る我等が血潮
征覇を誓いて鍛えし腕
見よこの振興の気概
恐れどなき力持て
征け闘え破れ堅塁を
我らが勝利の凱歌
おお高らかに叫ばん
若き日の誇りぞ
法政 法政 法政

法政大学応援団 作詞
岡村雅雄 作曲

若き獅子

オレンジの旗 爽やかに
世紀を超えて 伝統の
自由の風に ひらめけば
おお 法政 栄光の
前衛になふ 若き獅子
見よ 激突のたたかひに
汗血淋漓 うるはしく
勝利の星を つねに呼ぶ
法政 法政 たぐひなき
われらの母校 おお 法政

清岡卓行 作詞
佐藤勝 作曲

暁の勇者

一、昇る朝日を 仰ぎ見て
我らは誓う 勝利の二文字
いざ行け いざ行け 暁の勇者
栄えある我らの その呼び名
響け天下に 法政 法政

二、猛き強者 集う時
たぎる闘志で 大地が燃える
いざ行け いざ行け 暁の勇者
栄えある我らの その呼び名
響け天下に 法政 法政

高橋俊夫 作詞・作曲
鈴木厚司 編曲

学生歌

青春の烽火

一、青春の烽火は高く
燃え立つよ吾等が胸に
ああ法政 不滅の生命
洗滌とここにあふる
法政 法政 吾等が母校
二、オレンジのその情熱と
その香り吾等が胸に
ああ法政 希望のひかり
学舎に今ぞそそぐ
法政 法政 吾等が母校
三、新しき文化の理想
花開く吾等が胸に
ああ法政 スクラム堅き
躍進の若き力
法政 法政 吾等が母校

勝 承夫 作詞
平井康三郎 作曲

オレンジの園に

一、若い心の情熱こめて
句うオレンジ輝やく希望
さあ歌おうよ自由の朝を
さあ歌おうよ二度ない春を
吾等学徒ラララ法政の華
二、風も薫るよ外濠越えて
仰ぐ青空世界に続く
さあ歌おうよ光の朝を
さあ歌おうよ栄ある未来
吾等学徒ラララ法政の華
三、丘をはるかに富士ヶ嶺映えて
夢もあふれる母校の窓よ
さあ歌おうよ理想の園に
さあ歌おうよ真理の春を
吾等学徒ラララ法政の華

勝 承夫 作詞
平井康三郎 作曲

法政大学行進曲

名大いなれ法政

一、お濠に影うつして
いや妙にも花咲く
丘の桜眺めて吾が魂声あぐ
日の出ずるところより 日の入るところまで
名大いなれ法政 名大いなれ法政
二、千代田の城巡りて
いや繁くも伸び行く
緑の松仰ぎて吾が魂声あぐ
日の出ずるところより 日の入るところまで
名大いなれ法政 名大いなれ法政
三、朝の光うけて
いや白雲輝やく
真白の富士仰ぎて吾が魂声あぐ
日の出ずるところより 日の入るところまで
名大いなれ法政 名大いなれ法政

為光 直経 作詞
瀬戸口藤吉 作曲

※応援歌・学生歌・法政大学行進曲の歌詞の表記は、法政大学応援団七十年の歩み『命の限り』を元に掲載。

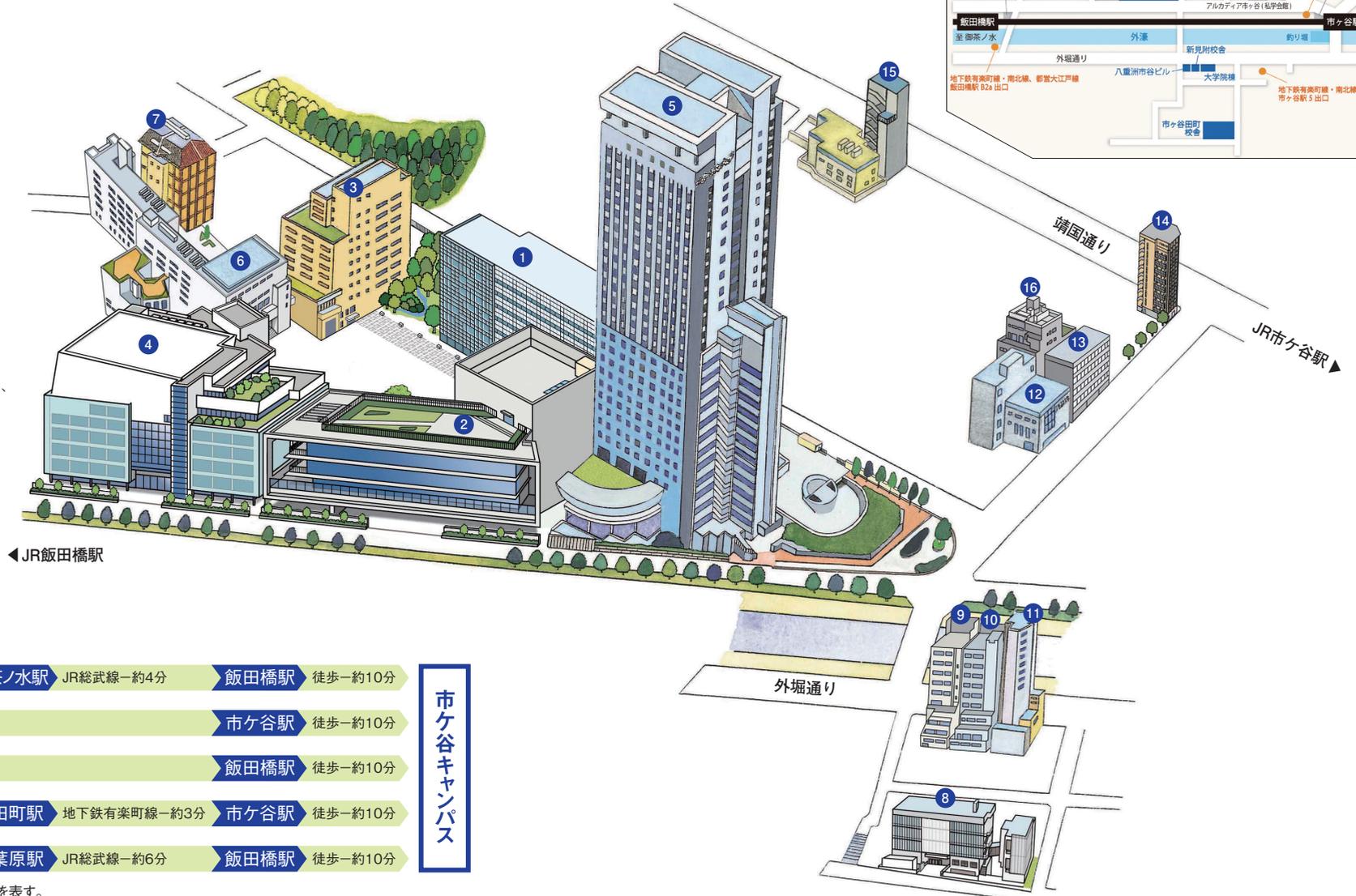
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 TEL 03-3264-9240

●大学院 人文科学研究科(国際日本学インスティテュート含む)、国際文化研究科、経済学研究科、法学研究科、政治学研究科(※)、社会学研究科、経営学研究科、人間社会研究科、政策創造研究科、公共政策研究科(※)、キャリアデザイン学研究科、デザイン工学研究科 ※連帯社会インスティテュート含む

●専門職大学院 法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科

- 法学部
- 文学部
- 経営学部
- 国際文化学部
- 人間環境学部
- キャリアデザイン学部
- GIS(グローバル教養学部)
- デザイン工学部
- 通信教育部

- ① 大内山校舎
- ② 富士見ゲート
- ③ 80年館
- ④ 外濠校舎
- ⑤ ポアソナード・タワー
- ⑥ 富士見坂校舎
- ⑦ 市ヶ谷総合体育館
- ⑧ 市ヶ谷田町校舎
- ⑨ 連帯社会研究交流センター(八重洲市谷ビル5階)、
連帯社会インスティテュート(同5・7階)
- ⑩ 新見附校舎
- ⑪ 大学院棟
- ⑫ 法科大学院棟
- ⑬ 新一口坂校舎
- ⑭ 一口坂校舎
- ⑮ 九段校舎・九段校舎別館
- ⑯ 九段北校舎



●主なターミナルからの交通アクセス

18 東京駅	JR中央線快速—約4分	御茶ノ水駅	JR総武線—約4分	飯田橋駅	徒歩—約10分
20 新宿駅	JR総武線—約10分	市ヶ谷駅	徒歩—約10分		
20 池袋駅	地下鉄有楽町線—約10分	飯田橋駅	徒歩—約10分		
19 渋谷駅	地下鉄半蔵門線—約6分	永田町駅	地下鉄有楽町線—約3分	市ヶ谷駅	徒歩—約10分
20 上野駅	JR山手線—約4分	秋葉原駅	JR総武線—約6分	飯田橋駅	徒歩—約10分

※ 内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。

■大内山校舎

キャンパス中央広場に面した一際目を引く外観の大内山校舎は地上8階・地下1階建ての施設です。校舎内は50～200人の小・中教室やグローバルラウンジのほか、学部事務課やグローバル教育センター、通信教育部などの事務室が入り、学生の学びを広くサポートします。外観はもちろん、校舎内にも55・58年館を継承したデザインが散りばめられています。



ラウンジ(1階)

55年館1階511教室前に掲げられていた大内兵衛元総長の筆による「論語」の一節「学びて思わざれば則ち罔し、思いて学ばざれば則ち殆し」がそのまま移設され、かつての校舎の面影を偲べます。

■富士見ゲート

地上6階・地下2階建ての、大きな開口部が特徴的な市ケ谷キャンパスの玄関口。250～500人の中・大教室のほか、市ケ谷キャンパス最大となる約500席を有したカフェテリア「つどひ」、学生ホール、売店、オレンジホール(多目的ホール)など、授業以外にも活用できる施設が充実しています。



学生ホール(1階)

約330㎡の学生ホールは、落ち着いた空間にレイアウト変更が可能な机・椅子176席を配置。壁面にはかつて58年館の学生ホールに掲げられていた「論語」の一節「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」のレリーフが掲げられています。



カフェテリア つどひ (3階)

市ケ谷キャンパス最大の飲食施設である「つどひ」は、約500席が明るい外濠側・中庭側2つのエリアに設けられ、外濠側には春になると桜並木が一望できるテラス席があります。

■ボアソナード・タワー

地上27階、地下4階建て、高さ122.43mの市ケ谷キャンパスのランドマーク。ゼミ室や、学部資料室、研究室、実習・実験室、附属研究施設のほか、多目的ホールであるスカイホール、学生ホール、マルチメディアスタジオ、入学センター、食堂などが設置されています。また、学習ステーションでは先輩スタッフによる新入生へのサポートなど、さまざまな学習に関する企画を実施し、学びの機会を提供しています。



スタッフクラブ(25階)

卒業生の方もご利用いただける施設です。パーティー利用等、ご利用については、お問い合わせください。

お問い合わせ先
TEL 03-3264-5078



ラウンジ(26階)

卒業生の同窓会などパーティーでのご利用が可能です。
※ご利用にあたっては使用料がかかります。

ご予約・お問い合わせ先
TEL 03-3264-9396

スカイホール(多目的ホール)(26階)

同時通訳システムやAVシステムなどの設備をもち、国際会議や各種のイベントに利用できる多機能スペース。



■外濠校舎

870人収容の^{きつた}薩埵ホールをはじめ、大中小の教室、メディアラウンジ、スタディールーム(自習室)、学生用の会議室、音楽練習室・アトリエなどの多目的な機能を備えた複合施設です。環境配慮型建物として省エネルギー ESCO事業も積極的に導入しています。



薩埵ホール(6～7階)

870人収容の大ホール。講演やコンサート、また可動式の椅子席を収納し、オープンスペースとしても活用しています。

■富士見坂校舎

教室やサークル向けスペース、学生ホール、情報カフェテリアなどを備えた校舎。ダンスや演劇の練習に最適な、壁面に鏡を張ったホワイエなどを備えています。



〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042-783-2091

- 大学院 経済学研究科、社会学研究科、人間社会研究科、スポーツ健康学研究科
- 経済学部 ●社会学部 ●現代福祉学部 ●スポーツ健康学部



●主なターミナルからの交通アクセス

92 大宮駅	JR埼京線快速—約32分	新宿駅	京王線特急—約50分	めじろ台駅	バス—約10分
114 千葉駅	JR総武線快速—約39分	東京駅	JR中央線中央特別快速—約53分	西八王子駅	バス—約22分
25 八王子駅	JR中央線—約3分			西八王子駅	バス—約22分
28 町田駅	JR横浜線—約15分			相原駅	バス—約13分
62 横浜駅	JR横浜線—約13分	*新横浜駅	JR横浜線—約36分	相原駅	バス—約13分

多摩キャンパス

※ 内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。★新横浜駅は経由で、乗り換えではありません。

- ① 1号館<総合棟>
- ② 2号館<大教室A棟>
- ③ 3号館<図書館・研究所棟>
- ④ 4号館<社会学部A棟>
- ⑤ 5号館<社会学部B棟>
- ⑥ 6号館<食堂A棟>
- ⑦ 7号館<大教室B棟>
- ⑧ 8号館<経済学部A棟>
- ⑨ 9号館<経済学部B棟>
- ⑩ 10号館<経済学部C棟>
- ⑪ 11号館<食堂B棟>
- ⑫ 12号館<研究・実験棟>
- ⑬ 13号館<百周年記念館>
- ⑭ 14号館<総合体育館>
- ⑮ 15号館<体育棟>
- ⑯ 16号館<学生文化厚生棟(EGG DOME)、バスターミナル(1階)>
- ⑰ 17号館<現代福祉学部棟>
- ⑱ 18号館<スポーツ健康学部棟>
- ⑲ 総合案内所
- ⑳ 法政Vブリッジ
- ㉑ 法政大橋
- ㉒ 法政トンネル
- ㉓ 城山校地(サッカー場、馬場、多目的グラウンド)
- ㉔ グラウンド門守衛所
- ㉕ 駐輪場(自転車、バイク)

■総合棟 図書館・研究所棟

正門を入ると、目に飛び込んでくるのが整然と並ぶ2棟の中層の校舎。向かって左の総合棟には、ソーシャル・イノベーションセンター、キャリアセンター、総合情報センター、大学院人間社会研究科の教育・研究施設、臨床心理相談室などがあります。右の図書館・研究所棟には、多摩図書館および大原社会問題研究所などの研究所が置かれています。



■経済学部棟

正門から入って法政Vブリッジを渡ると、シンボリックな半透明のドーム屋根が見えてきます。ここが経済学部のエリア。中庭を囲むように中低層の校舎群が落ち着いた佇まいを見せています。一般の教室のほか、十分な数のゼミ室を完備しているのが大きな特色。経済学部棟エリアには学生食堂や売店も用意されていて、学びやすく生活しやすい空間となっています。



■社会学部棟

キャンパスの右奥にそびえる高層の4号館を中心とした社会学部エリア。4号館および隣接の5号館には、さまざまな広さの教室やゼミ室、多目的スタジオ、教員の研究室などが配置されています。また、社会学部エリアには食堂棟が設けられ、学生食堂や売店があります。4号館の上層階からは丹沢大山の山並みが眺望でき、四季折々の彩りを楽しむことができます。



■現代福祉学部棟

現代福祉学部棟は「福祉」を体感できるようバリアフリーの設計になっています。建物内にはプレイセラピー室や心理学実験室など臨床心理に関する施設が充実していることも特徴です。また、ボランティア体験や福祉現場での実習をスムーズに行えるよう、実習指導室では個別相談を行うなど、ソフト面でも人にやさしいエリアです。



■スポーツ健康学部棟

学部開設に合わせて2009年に大幅な改修をし、誕生したスポーツ健康学部棟。2011年には学年進行に伴い開放的な食堂ラウンジを増築しました。ダイナミックな湾曲のガラス壁をはじめ、内装には法政オレンジ・ブルーの壁面やペンダント照明といった特徴を有し、食堂利用時間以外は学生ラウンジとして利用されています。

■EGG DOME

バスターミナルと直結したEGG DOMEは学生のための多目的の共用施設。クラブ・サークル活動など課外活動の拠点として利用できるほか、多目的ホールでは映画会やコンサートなどのイベントが行われます。食堂やラウンジは、友人と食事をしながらくつろぐ学生でにぎわっています。



▲陸上競技場

■体育施設

広大な敷地の中に、総合体育館をはじめ、野球場、陸上競技場400mトラック、ラグビー場、ホッケー場、テニスコート、多目的コート、サッカー場などがあり、体育の授業や体育会の練習場として活用されています。



多摩総合体育館▶
地下1階には競泳用の公認プールがあり、2階のアリーナは、バレーボールコートが4面とれる広さです。そのほかトレーニングセンター、卓球場など各種室内競技場があります。

■法政Vブリッジ

総合棟から経済学部棟へと続く橋。これにより図書館・研究所棟から経済学部棟への移動時間が短くなります。Vブリッジという名前は公募により決定したものです。



■円形芝生

総合棟前の大教室A棟屋上部分にある円形芝生。昼食や青年会議など、特に天気の良い日は格別な学生の憩いの場になっています。

■キャンパス循環バス

スポーツ健康学部棟から総合体育館までの間を循環バスが随時運行しています。これにより、広い多摩キャンパス内もスムーズに移動することができます。



〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 TEL 042-387-6008

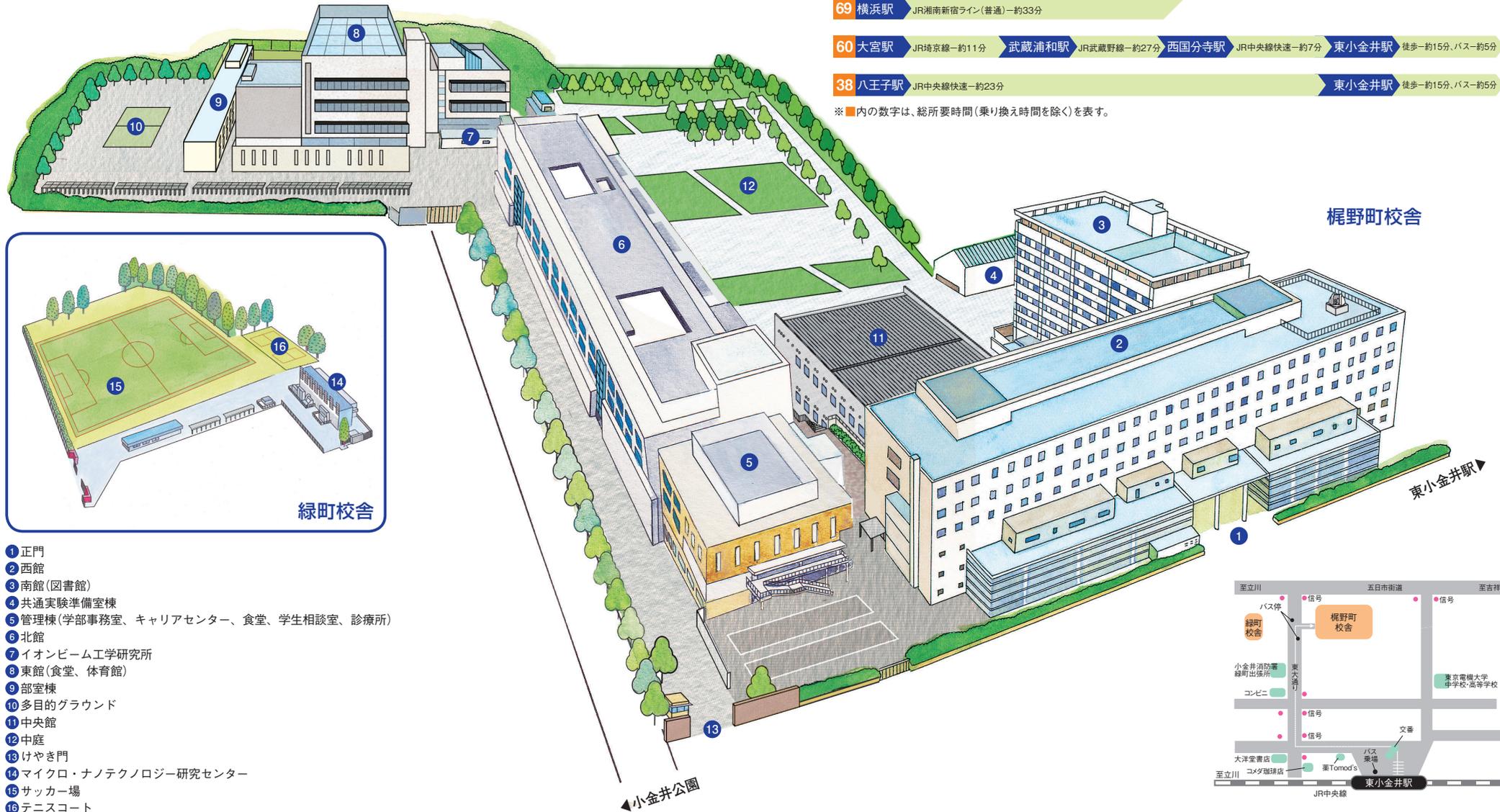
- 大学院 情報科学研究科(※)、理工学研究科(※) ※総合理工学インスティテュート含む
- 情報科学部
- 理工学部
- 生命科学部

●主なターミナルからの交通アクセス

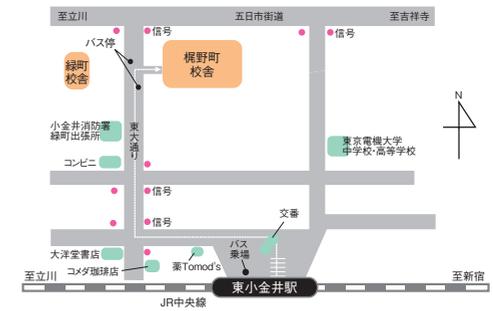
- 89 千葉駅** JR総武線快速—約39分 **東京駅** JR中央線快速—約35分 **東小金井駅** 徒歩—約15分、バス—約5分
- 39 渋谷駅** 京王井の頭線急行—約17分 **吉祥寺駅** JR中央線快速—約7分 **東小金井駅** 徒歩—約15分、バス—約5分
- 44 池袋駅** JR山手線—約8分 **新宿駅** JR中央線快速—約21分 **東小金井駅** 徒歩—約15分、バス—約5分
- 69 横浜駅** JR湘南新宿ライン(普通)—約33分
- 60 大宮駅** JR埼京線—約11分 **武蔵浦和駅** JR武蔵野線—約27分 **西国分寺駅** JR中央線快速—約7分 **東小金井駅** 徒歩—約15分、バス—約5分
- 38 八王子駅** JR中央線快速—約23分 **東小金井駅** 徒歩—約15分、バス—約5分

※ 内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。

小金井キャンパス



- 1 正門
- 2 西館
- 3 南館(図書館)
- 4 共通実験準備室棟
- 5 管理棟(学部事務室、キャリアセンター、食堂、学生相談室、診療所)
- 6 北館
- 7 イオンビーム工学研究所
- 8 東館(食堂、体育館)
- 9 部室棟
- 10 多目的グラウンド
- 11 中央館
- 12 中庭
- 13 けやき門
- 14 マイクロ・ナノテクノロジー研究センター
- 15 サッカー場
- 16 テニスコート



■西館

正門の正面に建つ西館。1階部分は通り抜けができて、キャンパスへのメインアプローチとなっています。一般教室、情報科学部、理工学部経営システム工学科の研究実験室、1階にはHOSEIミュージアム小金井サテライト、GBC(情報科学部のオフィスアワーセンター)、地下1階に130人収容のマルチメディアホールが配置されています。



▲マルチメディアホール



▲図書館

■南館

西館をくぐりぬけて、右手に見えてくるのが南館です(入口が2階となります)。アクティブラーニング教室やゼミ室、理工学部応用情報工学科の研究実験室、1階には蔵書数12万冊の小金井図書館が配置されています。



■中央館

西館をくぐりぬけて、左手に見えてくるのが中央館です(入口が2階となります)。理工学部創生科学科の研究実験室が配置されています。



▲創生科学科事務室窓口



▲学生実験室

■管理棟・北館

中央館を右手に見ながら進むと、管理棟に入ります(入口が2階となります)。2階には各学部・大学院・学生生活課の窓口、キャリアセンター、障がい学生支援室、3階には食堂、売店、国際交流支援室、グローバルラウンジ、4階には診療所、学生相談室といった学生生活をサポートする施設が配置されています。管理棟に入り廊下を進むと、渡り廊下を渡って北館へ進むことができます。

ゼミ室、スタディールームの他、理工学部機械工学科、電気電子工学科の研究実験室、1階には2層吹抜けの大型実験室が並びます。



▲キャリアセンター



■東館

管理棟～北館の廊下をそのまま進むと、東館に入ります。小金井キャンパスで最も大きな建物で、一般教室、ゼミ室、講堂兼体育館、生命科学部の研究実験室や温室、工作機械や作業スペースを完備したワークショップ、地下1階には座席数500席の食堂や売店が配置されています。



▲温室

■緑町校舎

主に授業が行われる梶野町校舎から徒歩約10分に位置する緑町校舎。サッカー場とテニスコートがあり体育の授業や、部活動で使用されています。また、地球環境保全に貢献する「グリーンソサエティー」を実現するための研究に取り組むマイクロ・ナノテクノロジー研究センターも位置しています。



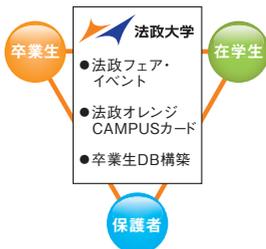
オレンジネットワークについて

オレンジネットワークとは、卒業生・在学生・保護者・教職員という、大学関係者を結ぶネットワークのことです。このネットワーク強化のため、現在以下の事業を行っています。

- (1) 「法政フェア」の実施
- (2) 「法政オレンジCAMPUSカード」の加入促進
- (3) 「卒業生データベース」の構築

その他にも保護者の皆さまを対象とした説明会なども開催し、さらなるネットワーク強化に注力いたします。

HOSEI Orange Network



法政フェア

法政フェアは、卒業生をはじめとするすべての“法政ファン”の皆様に向けて、法政大学を深く知ってもらい、継続的に大学と関わる・利用するきっかけとなることを目的に、毎年様々な企画を開催しています。開催日程や企画の詳細については、決定次第ホームページにてお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。



法政フェア

URL <https://www.hosei.ac.jp/hosei/renkei/orangenet/fair/>



法政オレンジCAMPUSカード

法政オレンジCAMPUSカードとは、本学が三井住友カード株式会社ならびに法政大学生協同組合と提携して発行する本学のオフィシャル・クレジットカードです。卒業生・保護者・教職員に向けた「ゴールドカード」および「一般カード」、学生に向けた「学生カード」を発行しています。

卒業生・保護者・教職員の方がカードをご利用いただくことでカード会社から本学に支払われる還元金を活用し、学生の就学支援やキャンパスライフの向上に役立てています(カードのポイントは個人に貯まります)。ご入会方法など詳細はウェブサイトをご確認ください。

●ご連絡先

法政大学卒業生・後援会連携室

TEL 03-3264-4924

E-mail koyu@hosei.ac.jp

URL <https://www.hosei.ac.jp/campuslife/support/card/>



学生カード



一般カード



ゴールドカード

卒業生データベース構築

学校法人法政大学と卒業生との連絡を密にする目的で、データ整備を進めています。

転居や改姓、転職をされた際には、下記の要領で大学までご連絡をお願いします。

●インターネットによるご連絡

- ①大学ウェブサイト「卒業生の方へ」をクリック
- ②「卒業生の連絡先の変更」をクリック
- ③入力ページにアクセス

URL https://www.hosei.ac.jp/hosei/renkei/orangenet/sotsugyo_db/



卒業生の個人情報の取り扱いについては、以下URLのページをご参照ください。

<https://www.hosei.ac.jp/privacy/sotsugyo/>

●お問い合わせ先

法政大学卒業生・後援会連携室

E-mail koyu@hosei.ac.jp TEL 03-3264-9230

注1)大学へ登録されたデータは各種卒業生組織が管理するデータとはリンクしていません。卒業生組織(各学部同窓会など)へ加入している方は、大学とは別に、それぞれの事務局へも各種変更のご連絡をお願いします。

注2)卒業生の個人情報の取扱いについて(<https://www.hosei.ac.jp/privacy/sotsugyo/>)の内容をご確認の上、個人情報の登録をお願いいたします。

PR

広報課からの情報発信

●広報誌『HOSEI』

広報誌『HOSEI』は、在学生とその父母・保護者の方々を対象に、年6回発行している広報誌です。2023年度より記事内容やデザインを大幅に刷新しました。各キャンパスで学生に配布するとともに、学生の保証人または学費振込用紙を送付している住所宛に郵送でお届けするほか、デジタルブックを大学ウェブサイトでも毎月公開しています。



なお、広報誌『HOSEI』8・9月号および12・1月号は、それぞれ8月上旬、12月末頃に卒業生へ無料でお届けしています。

●お問い合わせ

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学総長室広報課 広報誌『HOSEI』編集部

TEL 03-3264-9240 E-mail pr@adm.hosei.ac.jp

届けしています。

URL https://www.hosei.ac.jp/koho/01_zasshi/



●公式SNS・動画

法政大学総長室広報課は、公式SNSとして2011年にTwitter(現:X)、2012年にFacebook、2016年にInstagram、2023年にTikTokを開設しました。キャンパスの季節の風景や各種イベントなど、法政大学の「今」がわかるさまざまな情報をお届けしています。各SNS・動画は、上記二次元バーコードよりアクセスできますので、ぜひご覧ください。



●在学生向け情報発信ページ「集まれ!法大生!」

大学ウェブサイト内の「集まれ!法大生!」ページでは、在学生を対象としたイベント情報を発信しています。身近なテーマを扱った課外講座から海外大学との交流会などグローバルなものまで、学内で実施されるさまざまなイベント情報を掲載しています。



■ 法政大学派遣留学制度

2・3年生の応募者の中から選考の上、3・4年次に奨学金を支給し、海外協定校に派遣する制度です。派遣先で取得した単位は、帰国後、教授会審査を経て本学の単位として認められます。奨学金は70万円または100万円(派遣先で異なる。半期留学の場合、半額)が支

給されます(この奨学金の一部20万円は法政大学後援会から助成されています)。派遣先大学の授業料は学生交換協定により免除されます。
※詳細は「派遣留学生募集要項」、またはホームページで確認してください。

海外協定校24ヶ国70大学



■ 認定海外留学制度

希望する留学先大学(学位授与権を有する正規の4年制高等教育機関)から入学許可を得て本学に申請し、所属学部の審査を経て留学する制度です。

留学先で取得した単位は帰国後、教授会の審査を経て本学の単位に認められます。

認定海外留学を対象とした奨学金制度としては「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」(応募選考制)、「法政大学後援会認定海外留学奨学金」、「グローバルキャリア

■ 短期語学研修制度

夏休みと春休みに、語学力向上のため、マレーシア・アメリカ・カナダ(英語)、中国・台湾(中国語)、韓国(朝鮮語)、オーストリア(ドイツ語)、フランス(フランス語)の各協定大学で2~4週間程度実施する留学制度です。全学部の学生が、語学レベルや成績に関係なく応募することが可能です。

留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っており、初級者から上級者までを対象としており、

支援基金による海外留学支援奨励金」があります。

2年次からの申請および語学プログラムを受講の上、正規課程を履修する条件付き入学での申請も可能です。

また、米国の2大学、オーストラリアの2大学への本制度を利用した新たなプログラムを実施しています。

※申請資格および条件などの詳細はグローバル教育センター発行の募集要項、またはホームページで確認してください。

初めて海外に行く方や将来長期留学を考えている方にも推奨しています。

また、課外活動や文化体験を通じて留学先の社会や文化に触れることができるのも魅力です。学部によっては単位認定も可能です。

※詳細は、募集要項、またはホームページで確認してください。

■ 学部独自の留学制度

詳細は大学 Web サイトでご確認ください

学部・制度名	形態	定員	留学先(1つを選択)	期間	目的
文学部英文学科 SAプログラム	英文学科1~4年次の希望者(学科内選考あり)	25名	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン [®] (アイルランド)	夏休み3週間	英語と英語文化・英米文学を海外で学ぶ
	英文学科2~4年次の希望者(学科内選考あり)	10名		秋学期約4カ月間	
	英文学科2~4年次の希望者(学科内選考あり)	8名	フォントボン大学(アメリカ)	秋学期約7カ月間	
	英文学科2~4年次の希望者(学科内選考あり)	10名	ヴィクトリア大学 [®] (カナダ)	秋学期約4カ月間	
経済学部 SAプログラム	2年次の希望者(学部内選考あり)	60~100名	カリフォルニア大学デイヴィス校 [®] (アメリカ)、シェフィールド大学 [®] (イギリス)、ブロック大学 [®] (カナダ)	2年次春学期約4カ月間	英語力を磨くとともに、留学先の文化、社会、経済、ビジネスなどを英語で学ぶ
社会学部 SAプログラム	1~2年次の希望者(学部内選考あり)	定員なし(例年15名程度)	ボストン大学 [®] ・カリフォルニア大学サンディエゴ校 [®] (アメリカ)、トロント大学 [®] (カナダ)、北京師範大学 [®] (中国)	2年次または3年次秋学期約2~5カ月間	語学能力を磨き、異文化社会に対する理解を深める
		定員なし(例年5名程度)	アルバータ大学(カナダ)	3年次の約8カ月間	1学期目に集中英語講座を受講し、2学期目は学部の正規授業を履修する
経営学部 SAプログラム	希望者(学部内選考あり)	未定	未定	未定	ビジネスに必要な英語コミュニケーション能力を高め、異文化理解を深める
国際文化学部 SAプログラム	2年次必修(ただしSSI参加者は選択制、外国人留学生は構外参照)		シェフィールド大学 [®] ・リーズ大学 [®] (イギリス)、カリフォルニア大学デイヴィス校 [®] ・ミシガン州立大学 [®] ・ボストン大学 [®] (アメリカ)、ヨーク大学 [®] ・トロント大学 [®] ・ブロック大学 [®] (カナダ)、ロイヤル・リユニオン大学 [®] (ドイツ)、西部カリフォルニア大学 [®] (フランス)、パテル大学 [®] (国立交通工科大学 [®] (ロシア)、上海外国語大学 [®] (中国)、ハルセロナ大学 [®] (スペイン)、韓国外国語大学 [®] (韓国)、ディーン大学 [®] (オーストラリア)	2年次秋学期約3~6カ月間	外国語運用能力を磨き、異文化への共感力とコミュニケーション能力を高める
人間環境学部 SAプログラム	2~4年次の希望者(学部内選考あり)	10名	ボンド大学 [®] (オーストラリア)	秋学期約3カ月半	英語によるコミュニケーション能力を向上させながら、アカデミックイングリッシュを身に付けることを目指す
キャリアデザイン学部 SAプログラム	2~4年次の希望者(学部内選考あり)	約10名	オーランド大学 [®] (ニュージーランド)、アデレード大学 [®] (オーストラリア)	秋学期約3カ月間	英語コミュニケーション能力を高めるとともに、異文化への理解と交流を深めることを通じて、自らのキャリア形成の基礎を築く
GIS(グローバル教養学部) Overseas Academic Study Program	希望者(派遣先の条件を満たすこと)	希望者全員	サンホセ州立大学(アメリカ)、サセクス大学(イギリス)、プリンスエドワードアイランド大学(カナダ)	4~5カ月間	学部課程の正規授業を受講
			マッセイ大学(ニュージーランド)	約4カ月間もしくは約10カ月間	
情報科学部 SAプログラム	1~4年次の希望者(学部内選考あり)	8名	ブラマレーシア大学(マレーシア)	夏休み4週間半	語学能力を磨くと同時に、世界トップクラスの授業に参加することで、多文化共生を感じる同時に、世界に目を向け、世界トップクラスの研究への意欲を高める
理工学部 SAプログラム	1~4年次の希望者(学部内選考あり)	60名	未定	夏休み4週間	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めるなど
生命科学部 SAプログラム	1~4年次の希望者(学部内選考あり)	50名	未定	夏休み4週間	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めるなど

1. ※印の留学先は、大学付属の語学センターとなります。2. 年度により留学先が変更となる場合があります。3. 外国人留学生入試、海外指定校推薦入試、日本語学校指定校推薦入試、韓国済州特別自治道教育庁からの推薦入試等により入学した国際文化学部の外国人留学生は、SAプログラムでなく、スタディ・ジャパン(SJ)プログラムへの参加となります。

■ 学部独自の海外研修制度

学部・制度名	形態	定員	留学先(1つを選択)	期間	目的
法学部 Overseas Study Program (OSP)	希望者(希望者が定員を超えた場合は国際政治学科の学生を優先する)	約70名	フィリピン、韓国、台湾など	夏休み10~15日程度	語学力を磨き、国際的な視野を広げる
文学部哲学科 国際哲学特講	哲学科2~4年次の希望者(応募者多数の場合、学科内選考あり)	約20名	フランス、ドイツ	2月の約1週間	哲学の諸問題を海外の風土・文化の中で、海外の学生との合同ゼミを通して学ぶ
社会学部 単位認定海外短期留学制度	希望者(ドイツ語初級A・B、フランス語初級A・Bを履修した者)	定員なし(例年2名程度)	学部の認定した外国語研修機関(ドイツ、フランス)	1~3年次の春休み期間 2~4年次の夏休み期間	社会学部が認定した外国語研修機関に留学し、語学能力を磨く
国際文化学部 海外フィールドスクール	3~4年次の希望者(参加要件・学部内選考あり)	各コース5~10名	フィリピン、タイ、ミャンマー、ラオス(年度により変わります)	夏休み1週間~10日程度	SAまたはSJで修得した異文化コミュニケーション能力を生かしながら多角的に学ぶ
人間環境学部 海外フィールドスタディ	1~4年次の希望者(学部内選考あり)	約55名	オーストラリア、東南アジア、中国、ヨーロッパなど(年度により変わります)	夏休みまたは春休みに10日~14日間程度	現地で環境問題の見聞を深める
現代福祉学部 海外研修制度	2~4年次の希望者(学部内選考あり)	30名	スウェーデン	2~4年次の夏休み8日間程度	海外において社会福祉や地域づくり、心理の現場を学ぶ
キャリアデザイン学部 キャリア体験学習(国際)	2~4年次の希望者(学部内選考あり)	ベトナム10名 台湾10名	ベトナム、台湾	夏休み10日間~2週間程度	現地研修を行う上で必要な知識、言語等について学び、異文化に直接触れることで国際性を身に付ける
スポーツ健康学部 スポーツ健康学海外演習(夏季)	2~4年次の希望者(希望者多数の場合、学部内選考あり)	22名	ボイシー州立大学(アメリカ)	2・3年次の夏休み2週間	英語能力を磨き、スポーツ健康学の知識を深める
スポーツ健康学部 スポーツ健康学海外演習(冬季)	2~4年次の希望者(希望者多数の場合、学部内選考あり)	約20名	フランス等ヨーロッパ	春休み1週間~10日間程度	海外のトップスポーツクラブの現地研修を行い、コーチングの視点を持ちながら多角的に学ぶ
※右記内容を隔年で実施	2~4年次の希望者(希望者多数の場合、学部内選考あり)	約20名	ニューヨーク(アメリカ)	春休みの1週間程度	海外においてスポーツビジネスの基礎を学ぶとともに、国際感覚を養うことを目的とする

1. 年度により留学先が変更となる場合があります。2. キャリアデザイン学部では2024年度以降カリキュラムの変更を予定しており、プログラムの名称や内容が変更になる場合があります。変更内容の詳細は決定後、学部ホームページで周知します。3. 現代福祉学部海外研修制度は募集対象者が変更になる場合があります。変更内容の詳細は決定後、学部ホームページで周知します。

海外交流大学

■国際化する法政大学

●10年間の推移



●国際教育交流や海外協定校についての詳細はウェブサイトをご覧ください。URL <https://www.global.hosei.ac.jp/>

■グローバル化を推進する新たな取り組み

コロナにより影響を受けていた海外留学・国際交流に関して、コロナの収束と共に活発になってきています。また、コロナ禍で得た知見を活かし、オンラインを活用した取り組みも引き続き推進してまいります。

海外留学ファーストチャレンジ奨励金

本学への寄付金である「リーディング・ユニバーシティ法政基金」を原資とし、入学後早期からの主体的な海外留学・海外研修活動への参加を奨励し、その後の更なる国際交流活動を動機づけることを目的とした

奨励金を2021年度より開始しました。本奨励金受給後に長期留学へ挑戦する学生が出るなど、更なる国際交流活動の動機づけに繋がることができました。

Language Buddy Project

海外協定校の学生と1対1のペアになり6週間以上にわたりオンラインで英語・日本語双方でコミュニケーションを楽しむプログラムを開始しました。2023年度は245名の海外協定校の学生から応募があり、本学学生199名とマッチングしました。

■国際交流関係情報の収集先

キャンパス	形態	場所	電話
市ヶ谷	グローバル教育センター国際交流課	大内山校舎2階	03-3264-9662
	Gラウンジ	大内山校舎2階	03-3264-4502
	国際交流課掲示板	大内山校舎2階	
	奨学金	外濠校舎1階	学生センター厚生課 03-3264-9486
多摩	多摩グローバル担当	総合棟地下1階	042-783-2130
	奨学金		多摩学生生活課 042-783-2152
	多摩のSAについては		各学部事務課 参照 裏表紙*印
小金井	小金井国際交流支援室	管理棟2階	042-387-7018
	奨学金		小金井学生生活課 042-387-6011
	小金井のSAについては		各学部事務課 参照 裏表紙*印

一般社団法人法政大学校友会（卒業生組織）

卒業生の会員で構成される法政大学校友会は、世代・地域を超えて卒業生が集い、「卒業後も法政の一員であり続けること」が実感できる場所です。さらに、校友会には、地域・学部・付属校・卒業生団体(職域・体育会・サークル等)、海外拠点といった単位でパートナー組織があります。

2014年3月以降の学部卒業生は、卒業と同時に校友会の終身会員(※)となります。卒業後5年間は、卒業年度ごとの組織である「年度同期会」へ所属となりますが、上述のパートナー組織への活動にも参加が可能です。※校友会の終身会費(3万円)は、4年次春学期の学費と共に徴収いたします。

さらに、近年では、「すべての世代・地域がつながる校友会」をスローガンに、下記の通り、新たな取り組みを展開し、法政ネットワークの拡大に力をいれております。

【校友会の事業】

校友会は、例年、下記の事業を行い、卒業生との交流を図っております。

【イベント事業】 (校友会三大イベント)	【CCS 事業】 (キャリア支援・カルチャー活動・スポーツ交流)
<ul style="list-style-type: none"> ・オール法政新年を祝う会 ・法政大学全国卒業生の集い ・オール法政ゴルフ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画公開講演会 ・音楽団体派遣 ・スポーツイベント後援 <small>※上記取り組みは一例です</small>
【広報事業】	【寄付金事業】
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイトおよび SNS を活用した情報発信 ・校友会報「ORANGE JOURNAL」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人法政大学校友会奨学金 ・校友会箱根駅伝応援募金

①優待サービス「校友会クラブオフ」



校友会の会員に対して全国各地 20 万以上の施設・サービス等で割引や優待が受けられる「校友会クラブオフ」を提供しています。家族や友人、同伴者と一緒に優待が受けられるため、大変お得です。

～優待の一部をご紹介します～

- ・レストラン：ランチ割引
- ・カフェ：ドリンクサービス
- ・スーツ：10% オフ
- ・資格 / 語学：入会金・受講料割引
- ・スポーツジム：利用優待券
- ・家具：5～10% オフ

②法政オレンジ MAP の公開

卒業生が経営するお店(グルメ、宿泊施設、その他サービス、オンラインショップ等)を全国約 440 店舗、ウェブサイト・アプリに掲載しています。校友会員証の提示で卒業生特典が受けられるお店もありますので、ぜひご覧ください。



③公式アプリ

校友会デジタル会員証の表示や優待サービスの利用だけではなく、法政オレンジ MAP、各種イベント情報、卒業生情報を掲載しています。手軽にお楽しみいただける法政大学校友会公式アプリのダウンロードはこちら。



④法政オレンジコミュニティ

20～30代の若手卒業生をメインターゲットとしたコミュニティで、少しでも校友会活動に興味を持って参加していただけるよう、仕事や趣味に活かせる情報を発信しています。

<実施したイベント>

- ・アパレルブランド代表による講演
- ・資格 / 語学の基礎を学べる無料オンラインセミナー

<情報発信した卒業生の勤務先>

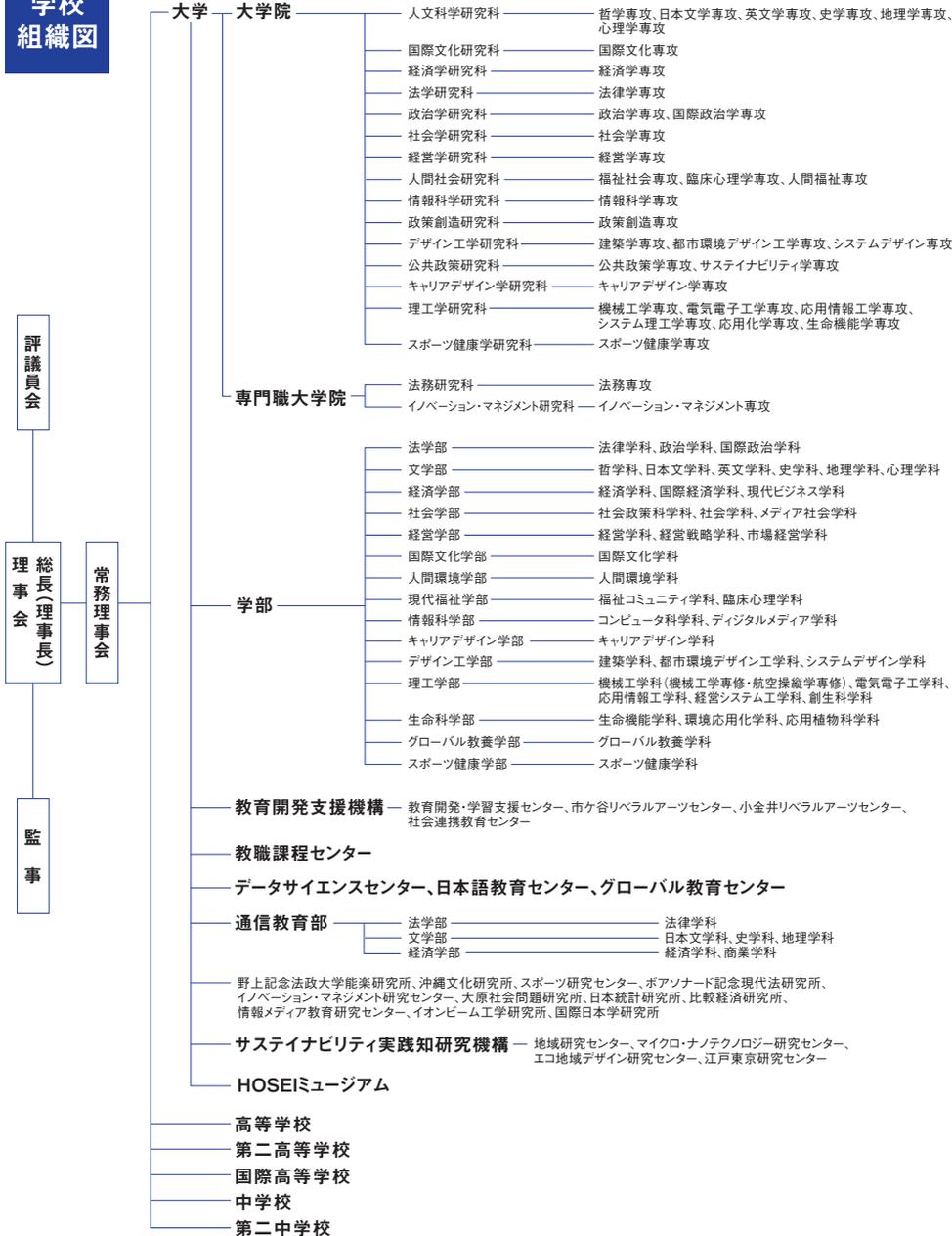
- ・全日本空輸株式会社 (ANA)
- ・アクセンチュア株式会社
- ・東日本電信電話株式会社 (NTT 東日本) など



一般社団法人法政大学校友会 (会長：竹中宣雄)
 事務局連絡先 TEL：03-3264-1831 / Eメール：info@hoseinet.or.jp
 校友会ウェブサイト：https://www.hoseinet.or.jp/

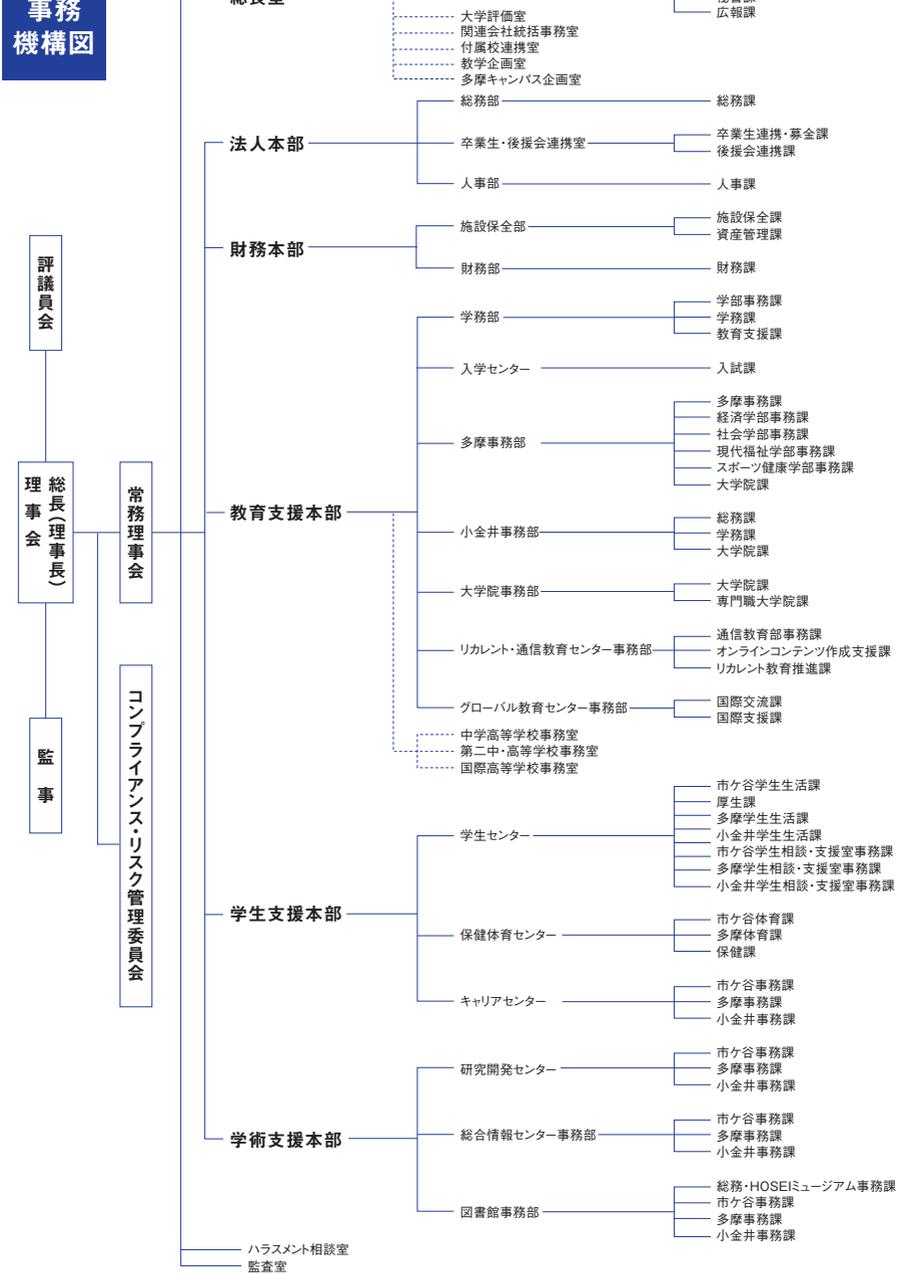


学校組織図



※上記は2024年4月現在、学生を募集している大学・大学院・付属校の関連部署局を表示。

事務機構図



※点線は外局を示す(2024年6月現在)。

学生数

(2024年5月1日現在)

総計

男	女	計
23,638	17,952	41,590

大学院			専門職大学院		
男	女	計	男	女	計
1,067	516	1,583	125	68	193

大学			通信教育部			高等学校			中学校		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16,774	11,846	28,620	3,478	3,090	6,568	1,609	1,909	3,518	585	523	1,108

市ヶ谷キャンパス

学部

	法学部	文学部	経営学部	国際文化学部	人間環境学部	キャリアデザイン学部	グローバル教養学部	デザイン工学部	計
男	2,039	1,390	2,085	324	683	524	151	815	8,011
女	1,581	1,540	1,281	833	795	848	256	437	7,571
計	3,620	2,930	3,366	1,157	1,478	1,372	407	1,252	15,582

大学院(修士・博士前期課程)

	人文科学研究科	国際文化研究科	経済学研究科	法学研究科	政治学研究科	社会学研究科	経営学研究科	政策創造研究科	公共政策研究科	キャリアデザイン学研究科	デザイン工学研究科	計
男	68	4	15	5	12	2	39	41	44	18	166	414
女	74	13	8	5	12	7	28	45	26	19	66	303
計	142	17	23	10	24	9	67	86	70	37	232	717

大学院(博士後期課程)

	人文科学研究科	国際文化研究科	経済学研究科	法学研究科	政治学研究科	社会学研究科	経営学研究科	政策創造研究科	公共政策研究科	デザイン工学研究科	計
男	45	2	11	6	5	9	10	14	48	14	164
女	32	5	1	5	0	2	4	7	17	5	78
計	77	7	12	11	5	11	14	21	65	19	242

大学院(専門職学位課程)

	法務研究科	イノベーション・マネジメント研究科	計
男	55	70	125
女	32	36	68
計	87	106	193

通信教育部

	法学部	文学部	経営学部	計
男	800	1,001	1,677	3,478
女	623	1,095	1,371	3,089
計	1,423	2,096	3,048	6,567

多摩キャンパス

学部

	経済学部	社会学部	現代福祉学部	スポーツ健康学部	計
男	2,886	1,813	391	528	5,618
女	969	1,527	615	233	3,344
計	3,855	3,340	1,006	761	8,962

大学院

	修士・博士前期課程		博士後期課程		計
	人間社会研究科	スポーツ健康学研究科	人間社会研究科	スポーツ健康学研究科	
男	14	8	5	13	40
女	30	8	6	1	45
計	44	16	11	14	85

小金井キャンパス

学部

	情報科学部	理工学部	生命科学部	計
男	546	2,018	580	3,144
女	146	355	430	931
計	692	2,373	1,010	4,075

大学院

	修士・博士前期課程		博士後期課程		計
	情報科学研究科	理工学研究科	情報科学研究科	理工学研究科	
男	54	362	4	29	449
女	8	78	0	4	90
計	62	440	4	33	539

中学・高等学校生徒数

	中学校		高等学校			計
	法政中	二中	法政高	二高	国際高	
男	182	403	301	1,082	226	2,194
女	235	288	392	797	720	2,432
計	417	691	693	1,879	946	4,626

留学生数

(2024年5月1日把握分)

総計

男	女	計
619	514	1,133

学部

	法	文	経済	社会	経営	国際文化	人間環境	現代福祉	キャリアデザイン	グローバル教養	スポーツ健康	情報科学	デザイン工	理工	生命科	計
男	46	33	115	45	73	7	31	8	26	4	7	7	15	23	6	446
女	51	36	54	32	52	15	26	21	34	8	1	3	7	5	6	351
計	97	69	169	77	125	22	57	29	60	12	8	10	22	28	12	797

大学院(修士・博士前期課程)

	人文科学研究科	国際文化研究科	経済学	法学	政治学	社会学	経営学	人間社会	政策創造	公共政策	キャリアデザイン学	スポーツ健康学	情報科学	デザイン工学	理工学	計
男	32	2	5	1	4	2	5	3	5	4	0	1	17	16	37	134
女	35	7	3	3	7	1	15	2	6	7	0	3	4	9	8	110
計	67	9	8	4	11	3	20	5	11	11	0	4	21	25	45	244

大学院(博士後期課程)

	人文科学研究科	国際文化研究科	経済学	法学	政治学	社会学	経営学	人間社会	政策創造	公共政策	スポーツ健康学	情報科学	デザイン工学	理工学	計
男	7	1	1	1	0	1	0	1	2	0	0	3	3	9	29
女	11	2	1	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0	4	24
計	18	3	2	4	0	2	1	1	3	0	0	3	3	13	53

大学院(専門職学位課程)

	法務	イノベーション・マネジメント	計
男	0	4	4
女	2	10	12
計	2	14	16

大学院(特別学生)

男	女	計
6	17	23

国・地域別留学生数

	中国	韓国	台湾	ベトナム	フランス	アメリカ	イタリア	インドネシア	タイ	ドイツ	マレーシア	その他
男	353	174	13	7	5	11	3	4	3	5	3	38
女	326	101	13	9	3	10	5	5	0	5	0	37
計	679	275	26	16	8	21	8	9	3	10	3	75

■教職員数(2024年5月1日現在)

●大学教員 762名(兼任講師除く)

- 教授 573
- 准教授 114
- 講師 32
- 助教 14
- 助手 29

学部別内訳

法学部64/文学部73/経済学部70/社会学部63/経営学部61/国際文化学部47/人間環境学部34/現代福祉学部32/キャリアデザイン学部27/グローバル教養学部15/スポーツ健康学部17/情報科学部24/デザイン工学部40/理工学部81/生命科学部47/大学院44/研究所・その他23

●専任職員 465名

専任職員(技術現業含む)

●付属校教員 232名

学校別内訳

- 法政大学中学高等学校 62
- 法政大学第二中・高等学校 127
- 法政大学国際高等学校 43

■学位記(博士)授与者数(1963年~2024年5月1日現在)

●課程博士 613名

●論文博士 259名

■卒業生累計(2024年5月1日現在)

()は別科で外数

1885~1922年度 第一回~専門学校令	1,567
1888~1889年度 東京仏学校	20
1905~1908年度 速成科	1,134
1907~1951年度 専門部	22,065(613)
1923~1951年度 学部(旧制大学)	11,276
1952~1983年度 短期大学部	9,128
1951~2023年度 学部(新制大学)	428,383
1952~2023年度 通信教育課程	23,860
1953~2023年度 大学院	21,367
総計	518,800(613)

■役職者氏名(2024年5月1日現在)

●理事

- 総長・理事長 廣瀬 克哉
 常務理事 小秋元 段/佐野 哲/奥山 利幸
 小澤 雄司/金井 敦/和仁 達郎
 コー ダイアナ/岩崎 晋也
 平山 喜雄

- 理事 小林 清宣/岡本 眞司
 菊池 由美子/長 裕章

●監事

- 監事(常勤) 近藤 清之
 監事 太田 莊一/関 幸子/大塚 孝子

●副学長

- 副学長 金井 敦/コー ダイアナ
 岩崎 晋也/奥山 利幸/佐野 哲
 小秋元 段

●学部長

- 法学部長 細井 保
 文学部長 小倉 淳一
 経済学部長 竹口 圭輔
 社会学部長 澤柿 教伸
 経営学部長 筒井 知彦
 国際文化学部長 稲垣 立男
 人間環境学部長 松本 倫明
 現代福祉学部長 久保田幹子
 キャリアデザイン学部長 荒川 裕子
 グローバル教養学部長 福岡 賢昌
 スポーツ健康学部長 永木 耕介
 情報科学部長 尾花 賢
 デザイン工学部長 岩月 正見
 理工学部長 安田 彰
 生命科学部長 濱本 宏

●学校長

- 法政大学中学高等学校長 松浦麻紀子
 法政大学第二中・高等学校長 五十嵐 聡
 法政大学国際高等学校長 和仁 達郎

■2024年度予算書

資金収支予算書(総括表)

(収入の部) (単位:千円)

科目	2024年度 予算	
	金額	構成率
学生生徒等納付金収入	41,568,322	63.5%
手数料収入	2,885,169	4.4%
寄付金収入	389,445	0.6%
補助金収入	5,641,886	8.6%
資産売却収入	12,400,000	19.0%
付随事業・収益事業収入	379,675	0.6%
受取利息・配当金収入	750,455	1.1%
雑収入	973,117	1.5%
借入金等収入	2,500	0.0%
前受金収入	7,350,110	11.2%
その他の収入	968,681	1.5%
資金収入調整勘定	△7,879,161	△12.0%
当年度資金収入合計	65,430,199	100.0%
前年度繰越支払資金	19,068,218	
収入の部合計	84,498,417	

(支出の部) (単位:千円)

科目	2024年度 予算	
	金額	構成率
人件費支出	26,333,820	39.3%
(教・職員人件費、役員報酬)	(24,982,970)	37.3%
(退職金支出)	(1,350,850)	2.0%
教育研究経費支出	15,989,207	23.8%
管理経費支出	2,421,133	3.6%
借入金等利息支出	17,918	0.0%
借入金等返済支出	377,470	0.6%
施設関係支出	2,497,058	3.7%
設備関係支出	1,392,980	2.1%
資産運用支出	16,415,000	24.5%
その他の支出	4,133,992	6.2%
[予備費]	600,000	0.9%
資金支出調勘定	△3,120,771	△4.7%
当年度資金支出合計	67,057,807	100.0%
翌年度繰越支払資金	17,440,610	
支出の部合計	84,498,417	

当年度資金収支差額	△1,627,608
-----------	------------

事業活動収支予算書(総括表)

(単位:千円)

科目	2024年度 予算			
	金額	構成率		
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	41,568,322	80.3%	
	手数料	2,885,169	5.6%	
	寄付金	387,865	0.7%	
	経常費等補助金	5,591,886	10.8%	
	付随事業収入	329,677	0.6%	
	雑収入	973,117	1.9%	
	教育活動収入計	51,736,036	100.0%	
	事業活動支出の部	人件費	26,287,556	53.0%
		(教・職員人件費、役員報酬)	(24,982,970)	50.4%
		(退職給与引当金繰入額)	(1,304,586)	2.6%
教育研究経費		20,492,968	41.3%	
(資金収支額)		(15,989,207)	32.2%	
(減価償却額)		(4,503,761)	9.1%	
管理経費		2,807,494	5.7%	
(資金収支額)		(2,421,133)	4.9%	
(減価償却額)		(386,361)	0.8%	
徴収不能額等		0	0.0%	
教育活動支出計	49,588,018	100.0%		
教育活動収支差額	2,148,018			
取入の部の活動	受取利息・配当金	750,455	93.8%	
	その他の教育活動外収入	49,998	6.2%	
	教育活動外収入計	800,453	100.0%	
	支事業活動	借入金等利息	17,918	100.0%
		その他の教育活動外支出	0	0.0%
教育活動外支出計	17,918	100.0%		
教育活動外収支差額	782,535			
経常収支差額	2,930,553			
取入の部の活動	資産売却差額	0	0.0%	
	その他の特別収入	51,580	100.0%	
	特別収入計	51,580	100.0%	
	支事業活動	資産処分差額	160,997	100.0%
		その他の特別支出	0	0.0%
特別支出計	160,997	100.0%		
特別収支差額	△109,417			
[予備費]	600,000			
基本金組入前当年度収支差額	2,221,136			
基本金組入額合計	△178,000			
当年度収支差額	2,043,136			
前年度繰越収支差額	△27,002,383			
基本金取崩額	271,796			
翌年度繰越収支差額	△24,687,451			

(参考)

事業活動収入計	52,588,069
事業活動支出計	50,366,933

※予算、決算に関する詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

URL <https://www.hosei.ac.jp/hosei/disclosure/hokoku/>

■ 2024年度一般選抜志願者数(前年比)

● 学部別

学部	2024年度 募集人員	2024年度 志願者数	2023年度 志願者数	前年度比 増減	前年度比 増減(%)
法学部	493	9,809	8,742	1,067	112%
文学部	449	8,778	8,712	66	101%
経済学部	547	11,604	11,270	334	103%
社会学部	465	9,775	10,842	-1,067	90%
経営学部	517	15,292	14,205	1,087	108%
国際文化学部	144	3,635	3,419	216	106%
人間環境学部	188	5,127	4,660	467	110%
現代福祉学部	147	2,526	2,385	141	106%
キャリアデザイン学部	165	4,720	4,033	687	117%
GIS(グローバル教養学部)	30	657	444	213	148%
スポーツ健康学部	119	3,037	2,448	589	124%
情報科学部	114	3,547	3,978	-431	89%
デザイン工学部	232	6,796	7,244	-448	94%
理工学部	421	10,590	11,092	-502	95%
生命科学部	178	6,276	5,577	699	113%
総合計	4,209	102,169	99,051	3,118	103%

● 入試方式別

方式	2024年度 募集人員	2024年度 志願者数	2023年度 志願者数	前年度比 増減	前年度比 増減(%)
T日程入試(統一日程)	599	16,507	15,578	929	106%
英語外部試験利用入試	117	6,992	5,460	1,532	128%
A方式入試(個別日程)	2,798	47,168	47,924	-756	98%
大学入学共通テスト 利用入試B方式	509	22,139	21,182	957	105%
大学入学共通テスト 利用入試C方式	161	9,273	8,813	460	105%
航空操縦学専修 (一般選抜)	25	90	94	-4	96%
総合計	4,209	102,169	99,051	3,118	103%

2023年度の大学入学共通テスト利用入試B方式は、新型コロナウイルス感染症に罹患等し、受験できなかった受験者の特別措置(振替受験)者数を含んだ人数

■ 施設・土地面積

2024年3月31日現在

● 学校法人法政大学合計

土地面積：1,003,548.03m²
建物面積：429,767.75m²

■ 蔵書冊数

2024年3月31日現在

● 市ヶ谷図書館……………748,429冊

和 漢 書：548,526冊
洋 書：199,903冊

● 多摩図書館……………844,182冊

和 漢 書：492,921冊
洋 書：351,261冊

● 小金井図書館……………122,675冊

和 漢 書：116,661冊
洋 書：6,014冊

■ 情報機器数(教育研究用PC台数)

2024年3月31日現在

市ヶ谷	1,130
多 摩	1,242
小金井	6,738
合 計	9,110

大学院

法政大学大学院は、1951年の開設以来、時代とともに発展拡充してきています。夜間・昼夜開講の研究科の設置、研究科横断型のインスティテュートの設置、ロースクールをはじめとする高度職業人養成課程の専門職大学院の設置がそれらを代表しています。

○ 修士課程・博士後期課程

2024年4月現在

研究科名	専攻名	修士課程(入学定員)	博士後期課程(入学定員)	問い合わせ	
人文科学	哲学	修士(哲学)	15	博士(哲学)	2
	日本文学	修士(文学)	20	博士(文学)	3
	英文学	修士(文学)	20	博士(文学)	2
	史学	修士(歴史学)	15	博士(歴史学)	2
	地理学	修士(地理学)	15	博士(地理学)	2
	心理学	修士(心理学)	10	博士(心理学)	3
	国際日本学インスティテュート	修士(学術)		博士(学術)	
国際文化	国際文化	修士(国際文化)	15	博士(国際文化)	3
経済学	経済学	修士(経済学)	50	博士(経済学)	10
法学	法学	修士(法学)	20	博士(法学)	5
政治学	政治学	修士(政治学)	10	博士(政治学)	5
	国際政治学	修士(国際政治学)	10		
社会学	社会学	修士(社会学)	20	博士(社会学)	5
経営学	経営学	修士(経営学)	60	博士(経営学)	10
キャリアデザイン学	キャリアデザイン学	修士(キャリアデザイン学)	20		
公共政策	公共政策学	修士(公共政策学)	25	博士(公共政策学)	10
	サステイナビリティ学	修士(サステイナビリティ学)	15	博士(サステイナビリティ学)	5
政治学/公共政策	連帯社会インスティテュート	修士(学術)			
政策創造	政策創造	修士(政策学)	50	博士(政策学)	10
人間社会	福祉社会	修士(福祉社会)	15		
		修士(学術)			
	臨床心理学	修士(臨床心理学)	15		
	人間福祉			博士(人間福祉)	5
				博士(学術)	
スポーツ健康学	スポーツ健康学	修士(スポーツ健康学)	10	博士(スポーツ健康学)	4
情報科学	情報科学	修士(理学)	30	博士(理学)	5
理工学	機械工学	修士(工学)	50	博士(工学)	2
	電気電子工学	同上	50	同上	5
	応用情報工学	同上	50	同上	4
	システム理工学	同上	75	同上	4
	応用化学	修士(理工学)	30	博士(理工学)	3
生命機能学	修士(生命科学)	40	博士(生命科学)	4	
総合理工学 インスティテュート	総合理工学 インスティテュート	修士(所属専攻による)		博士(所属専攻による)	
デザイン工学	建築学	修士(工学)	55	博士(工学)	2
	都市環境デザイン工学	修士(工学)	25	博士(工学)	2
	システムデザイン	修士(工学)	30	博士(工学)	3

○ 専門職学位課程

研究科名	専攻名	専門職学位(入学定員)	問い合わせ
法務	法務	法務博士(専門職)	30
			大学院事務部専門職大学院課 法科大学院担当 03-3264-9039
イノベーション・ マネジメント	イノベーション・マネジメント	経営管理修士(専門職)	60
			大学院事務部専門職大学院課イノベーション・ マネジメント研究科担当 03-3264-4341

入学試験も学内(学部内)入試、一般入試、外国人入試、社会人入試など様々な形式で実施しています。詳細は本学ホームページ、下記各キャンパス大学院担当へお問い合わせください。

大学院事務部大学院課
03-5228-0550・0551

大学院事務部大学院課政策創
造研究科担当 03-3264-6630

多摩事務部大学院課
人間社会研究科担当
042-783-4047

多摩事務部大学院課
スポーツ健康学研究科担当
042-783-3003

小金井事務部大学院課
042-387-6014

デザイン工学研究科担当
03-5228-1347

図書館

法政大学図書館は、市ヶ谷・多摩・小金井の各キャンパスにあり、和・洋の各種資料の合計で約172万冊所蔵しています。1899(明治32)年に設置され、100年以上の長きにわたり、本学の教育・研究を支えてきました。現在も法政大学図書館は、多くの学生や教員に利用されています。

所蔵されている膨大な資料の中には、本学初代総理(総長の旧称)梅謙次郎博士の自筆原稿をはじめ、俳人の正岡子規、W.A.クレイギー、D.V.グラスといった海外の学者、本学教授であった三木清、和辻哲郎、戸坂潤など多数の個人文庫があり、学術的に高く評価されています。



市ヶ谷図書館

市ヶ谷キャンパスの80年館にあり、地下4階から地上2階までの6フロアで構成されています。2階は閲覧スペースとなっており、地下は閉架書庫となっています。また、市ヶ谷田町校舎に閲覧室、富士見坂校舎に「ラーニングcommons」を設置しています。



多摩図書館

多摩キャンパス3号館にあり、地下2階から地上4階までの6フロアで構成されています。3階には160台以上のPCが利用できるPCルームの他、グループ学習が可能な「ラーニングcommons」や「グループ学習室」および「クリエイティブルーム」を設置しています。



小金井図書館

小金井キャンパス南館にあり、地下1階・1階と3階の3フロアで構成されています。1階には「ラーニングcommons」や屋外で読書ができる「サンクンガーデン」、3階にはより静かな「スタディールーム」とDVD視聴専用の「メディアライブラリー」を設置しています。

デジタルアーカイブ

図書館が所蔵する貴重書、個人文庫の一部を電子化し、公開しています。

正岡子規の俳諧関係資料、梅謙次郎の民法草案、狂言研究家・古川久が所蔵していた近世文学などをオンラインでどなたでも閲覧することができます。中には

世界で3部しか現存していないといわれている稀覯本『古今小説』も収められています。

URL <https://archive.library.hosei.ac.jp/>



法政大学図書館
デジタルアーカイブ
Hosei University Library / Digital Archives

<p>正岡子規文庫 解説と一覧</p> <p>俳人、歌人の正岡子規 (1867-1902) の旧蔵書</p> 	<p>梅謙次郎文庫 解説と一覧</p> <p>法政大学初代総理梅謙次郎 (1860-1910) の関係文庫</p> 	<p>古川久文庫 解説と一覧</p> <p>野上記念法政大学能楽研究所で兼任所員を務めた狂言研究家古川久 (1909-1994) の旧蔵書</p> 
--	---	---

2024年度年間スケジュール

4月	1日	学年開始
	3日	入学式
	上旬	春学期授業開始
5月	11日	法政グローバルデー
	中旬	派遣留学生(春学期)の募集・選考
6月	中旬	派遣留学生(春学期)の募集・選考
	下旬	春学期授業終了、春学期試験期間
7月	下旬	春学期授業終了、春学期試験期間
	上旬	夏季休業開始、サマーセッション
	3日	夏季短期語学研修出発
	3日・11日	オープンキャンパス(小金井)
	3日・11日	オープンキャンパス(多摩)
8月	3日	オープンキャンパス(小金井)
	3日・11日	オープンキャンパス(多摩)
	9日・10日	オープンキャンパス(市ヶ谷)
	中旬	派遣留学生(秋学期)出発(～9月下旬)
9月	14日	9月卒業学位記交付式、秋学期入学式
	中旬	夏季休業終了、オースタムセッション 交換留学生受入れプログラム(秋学期)、秋学期授業開始
	下旬	留学説明会
10月	上旬	派遣留学生(秋学期)の募集・選考(～10月下旬)
	19日・20日	多摩祭
11月	1～3日	小金井祭
	1～4日	自主法政祭(市ヶ谷地区)
12月	上旬	多摩キャンパスコンサート(予定)
	中旬	自由を生き抜く実践知大賞表彰式(予定)
	下旬	冬季休業開始
1月	上旬	冬季休業終了
	中旬	秋学期授業終了
	下旬	秋学期試験期間(～2月上旬)
2月	中旬	派遣留学生(春学期)出発、春季短期語学研修出発
	中旬	スプリングセッション
3月	24日	学位授与式
	31日	学年終了

※補講は、補講日および授業期間内補講日を設けています。
 ※通信教育部では春・夏・秋・冬・地方・ゴールデンウィーク・週末・メディアなどのスクーリングを実施しています。
 ※年間スケジュールは予定となりますので、変更になる場合もあります。



法政大学オリジナルグッズ



▲えびよんマスコット

▶Tシャツ▶



▲エンブレムブルパーカー

▼菓子・コーヒー

◀応援グッズ

▼革小物



▼文具・雑貨 ▲ネクタイ

法政大学オリジナルグッズを幅広いジャンルで豊富に取り揃えております。ぜひ一度通販サイトをご覧ください。ラッピングや熨斗掛けも無料でいきますので、ぜひお気軽にお申し付けください。

ご購入・お問合せ

法政大学オリジナルグッズショップ
<https://hosei-goods.com/>



〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-8 一口坂校舎1F
 ☎03-3264-5086(株式会社エイチ・ユー)

▲スウェットパンツ

法政スポーツコミュニティー 『HSC』

■活動目的

法政スポーツコミュニティー(HSC)は、法政大学体育会本部と法政大学後援会会員およびその出身者、卒業生、教職員で運営されるスポーツコミュニティーです。「法政を応援する喜び」や「法政ファミリーの一員である喜び」を、スポーツ応援を通じて分かち合いたしましょう!

■参加資格

法政大学スポーツを共に応援されたい方ならどなたでもご参加いただけます。



■法政スポーツインフォメーションのお知らせ

法政スポーツインフォメーションは法政大学体育会本部とHSCが運営するスポーツ情報サイトです。体育会各部の試合情報や応援イベント、各部の取材記事など法政大学の様々なスポーツ情報をお伝えいたします。
<http://hosei-sports.jp/>

■無料メールマガジンのお申込み(学生スポーツ応援情報配信中)

東京六大学野球を始め、学生スポーツ応援に関する情報をメルマガ形式で配信しています。二次元バーコードもしくは、法政スポーツインフォメーションのサイトより「メールマガジン登録」にアクセスしてご登録下さい。皆さんで子どもたちの頑張りを応援しましょう!



法政大学後援会クラブについて

本会は法政大学後援会の活動を通じて知り合えた仲間が、1966年に、法政大学をキーワードとする法政ファンの集まる、後援会OB会として創設した会です。本会の会員は後援会活動でのより良い思い出や仲間との繋がりを、子供が大学を卒業した後も継続して持ち続け、無理をすることなく、法政大学を愛し続けるための活動をしていく気持ちをもった有志で構成され

ています。現在は約160名の会員で活動をしています。主な活動としては、新春を祝う会・総会・親睦旅行や関係団体の行事に参加して、交流を図っています。大学の諸先生方との交流の場も設けておりますので、**卒業後**、是非ご入会くださるようお願い申し上げます。



【問い合わせ先】後援会クラブ事務局

電話：03-3264-9915

Eメール：hosei.k.club@gmail.com

WEBサイト：https://koenkai-club.jimdofree.com/